

尼崎市
介護予防・日常生活支援総合事業実施に向けた
アンケート調査報告書

平成 28 年 3 月

尼 崎 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査種類と調査方法など	1
3. 調査時期	1
4. 回収状況	2
5. 報告書の留意点・見方	2
第2章 「①要支援者調査」の結果	3
1. 回答者の属性	3
2. 健康づくり・介護予防の活動について	9
3. ホームヘルプサービス（訪問介護）の利用状況について.....	14
4. デイサービス（通所介護）の利用状況について.....	31
5. 身近な活動への参加について	48
第3章 「②訪問介護事業所調査」の結果	51
1. 事業所の状況について	51
2. 訪問介護・介護予防訪問介護のサービス提供状況について.....	56
3. 介護予防訪問介護について	62
4. 介護予防・日常生活支援総合事業について	64
第4章 「③通所介護事業所調査」の結果	73
1. 事業所の状況について	73
2. 介護予防通所介護（デイサービス）について.....	80
3. 介護予防・日常生活支援総合事業について	90

第1章 調査の概要

1. 調査目的

平成 26 年の介護保険制度の改正により、従来の介護予防訪問介護と介護予防通所介護はこれまでのサービス提供事業者も含め、地域住民や団体、NPO など、多様な主体によるサービス提供が可能となる介護予防・日常生活支援総合事業として、市町村が実施することになりました。

この介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けた検討にあたり、介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を利用している要支援認定者のサービス利用状況や今後の意向を把握するとともに、サービスを提供している訪問介護事業所・通所介護事業所の現在のサービス提供状況や介護予防・日常生活支援総合事業に対する考え等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査種類と調査方法など

調査種類	調査の対象者	配布数	抽出方法	配布・回収方法
①要支援者調査	平成 27 年 11 月に介護予防訪問介護または介護予防通所介護を利用された人で、平成 28 年 1 月 1 日時点で尼崎市の被保険者資格を有する人	700 件	無作為抽出	郵送による 配布・回収
②訪問介護事業所調査	平成 28 年 1 月 1 日時点で、尼崎市内で介護予防訪問介護を提供している事業所	290 件	全数	
③通所介護事業所調査	平成 28 年 1 月 1 日時点で、尼崎市内で介護予防通所介護を提供している事業所	179 件	全数	

3. 調査時期

平成 28 年 2 月 5 日から平成 28 年 2 月 19 日まで

4. 回収状況

	配布数	回収数	回収率
①要支援者調査	700 件	453 件	64.7%
②訪問介護事業所調査	290 件	176 件	60.7%
③通所介護事業所調査	179 件	113 件	63.1%

5. 報告書の留意点・見方

○表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。

○結果数値(%)は、小数点第2位を四捨五入しており、内訳の合計が100%にならないことがあります。

○複数の回答を求める場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。

○表・グラフ中の「不明・無回答」の表記については、無記入または回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。また、「不明・無回答」については、以下の内容も含めています。

●訪問介護事業所調査における「問7 平成28年1月の訪問介護の提供状況」の集計にあたり、
→「問2 サービス提供責任者」の配置状況に対し、「問7 平成28年1月の訪問介護の提供状況」が提供可能な利用者数を超えているもの

については、問7を「不明・無回答」として処理しています。

●通所介護事業所調査における「問10 平成28年1月の通所介護の提供状況」と「問12 直近1年間の利用者の要支援度の改善状況」の集計にあたり、

→「問3 利用定員数」から考えられる最大の利用者数（定員×午前・午後の2回×週6日間運営＝週6日午前・午後で毎回人が入れ替わる）を「問10 実利用者」が超えているもの

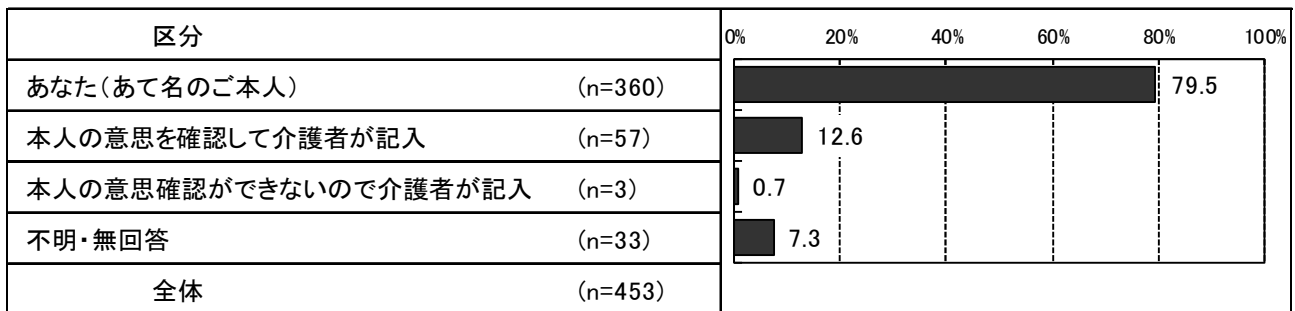
→「問10 平成28年1月の実利用者」を「問12 直近1年間の実利用者」を下回っているもの

については、問10と問12を「不明・無回答」として処理しています。

第2章 「①要支援者調査」の結果

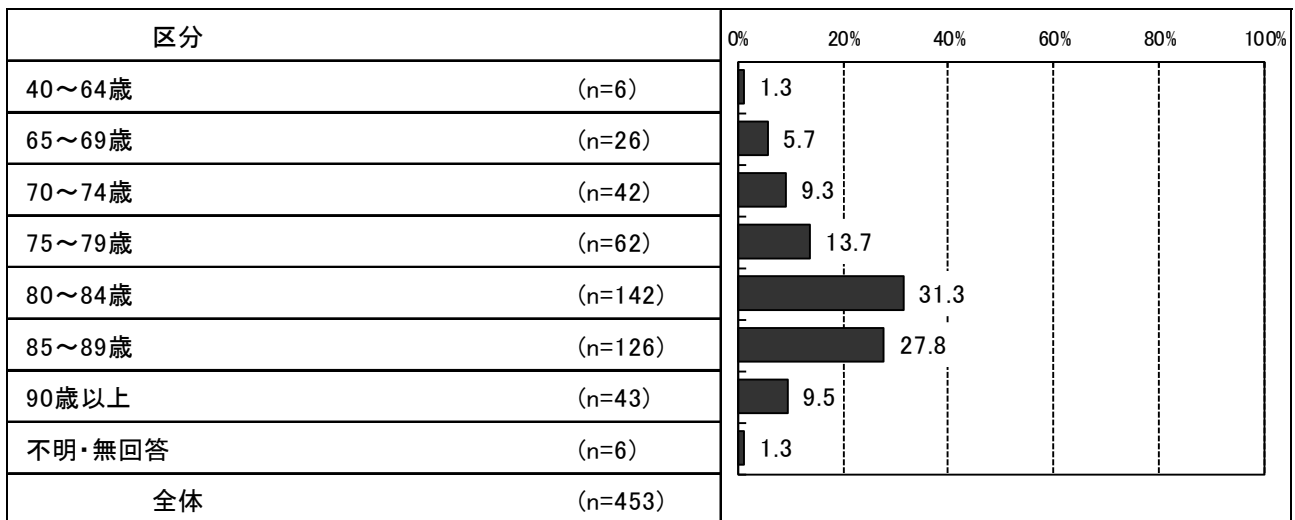
1. 回答者の属性

問1 この調査票に回答しておられる方はどなたですか。(1つに〇)



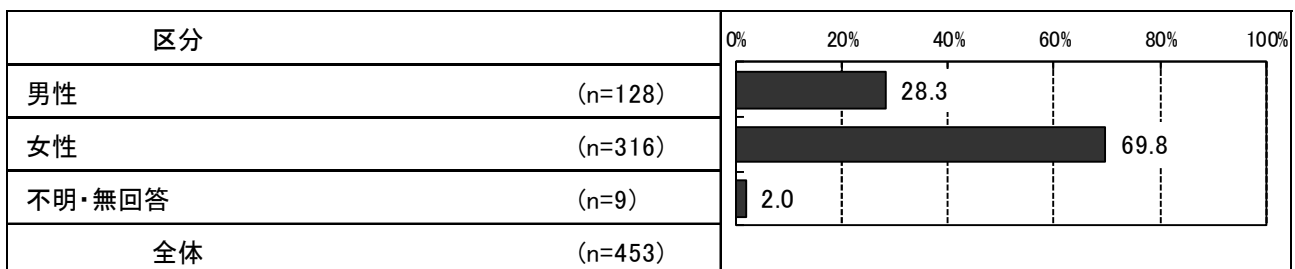
「あなた(あて名のご本人)」が79.5%で最も多く、次いで「本人の意思を確認して介護者が記入」が12.6%、「本人の意思確認ができないので介護者が記入」が0.7%となっています。

問2 あなた(あて名のご本人：以下同じ)の年齢をお答えください。(1つに〇)



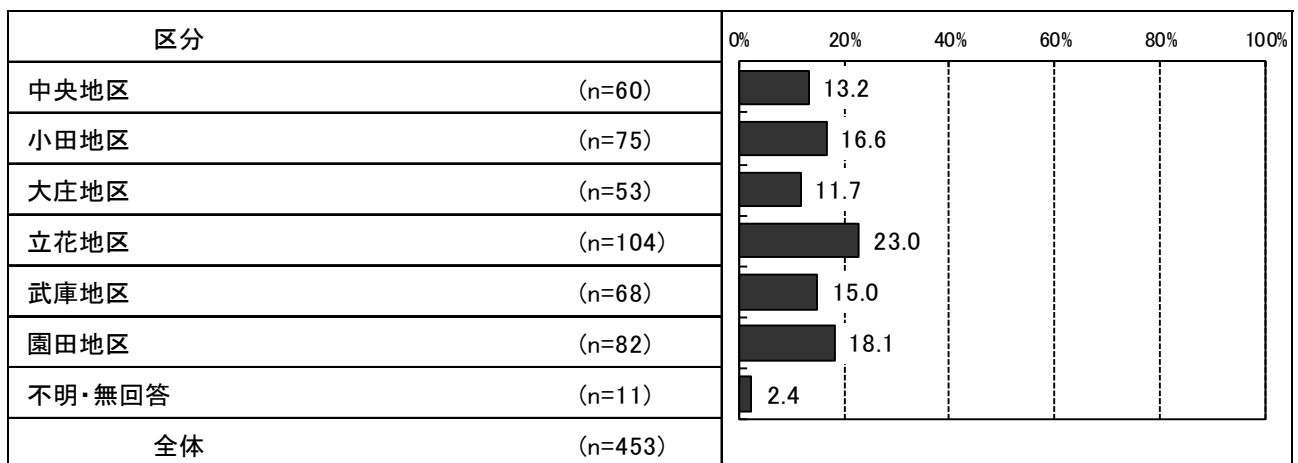
「80～84歳」が31.3%で最も多く、次いで「85～89歳」が27.8%、「75～79歳」が13.7%となっています。

問3 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)



「女性」が69.8%、「男性」が28.3%となっています。

問4 あなたの現在のお住まいはどこですか。(1つに○)



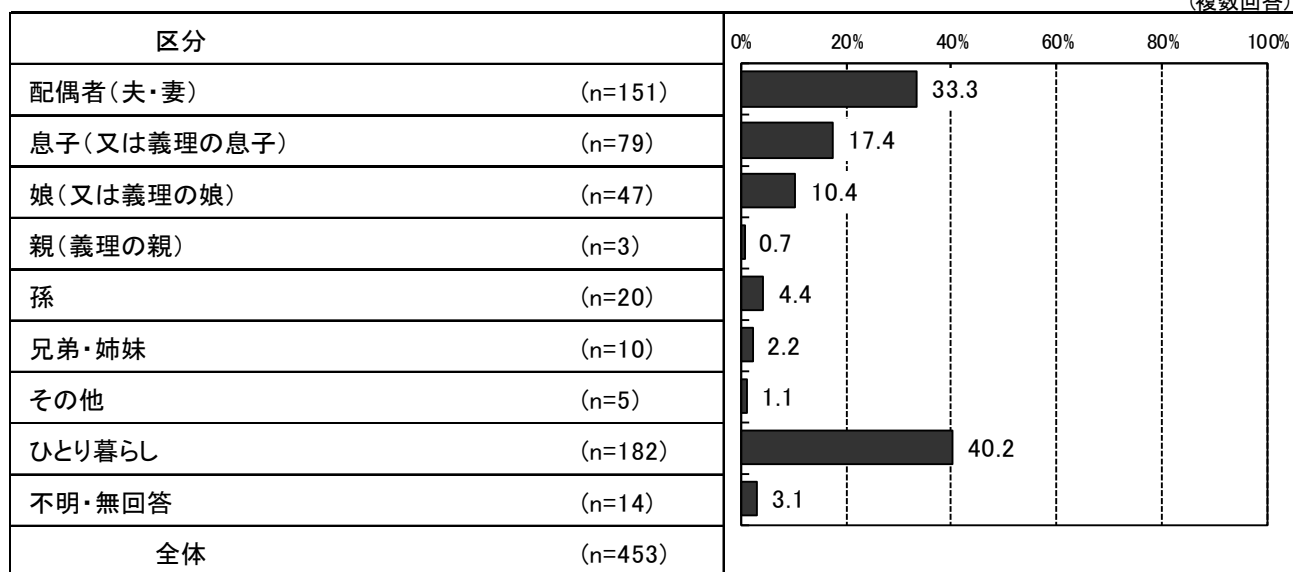
「立花地区」が23.0%で最も多く、次いで「園田地区」が18.1%、「小田地区」が16.6%となっています。

【回答者の属性別割合】

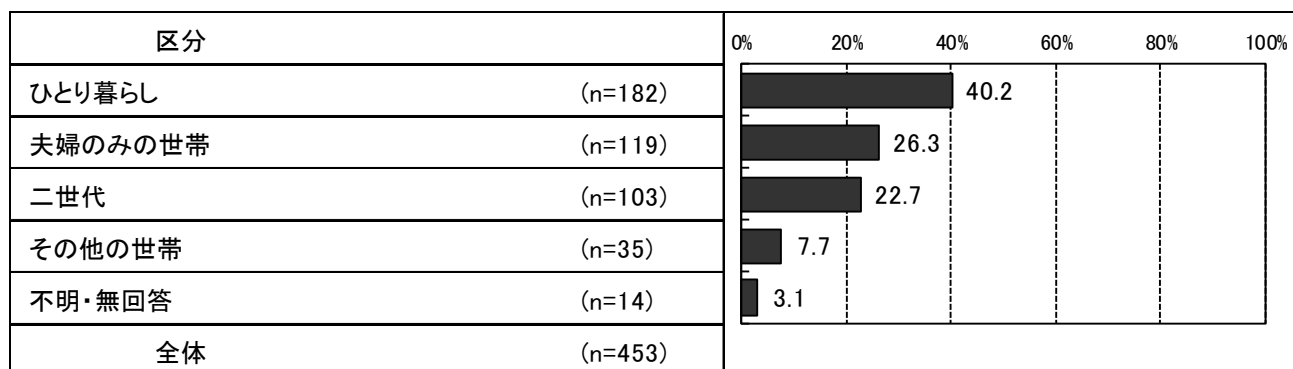
		(n)	40～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90歳以 上	不明・無 回答
全体		453	1.3	5.7	9.3	13.7	31.3	27.8	9.5	1.3
性別	男性	128	3.9	8.6	15.6	12.5	23.4	21.9	14.1	0.0
	女性	316	0.3	4.7	7.0	14.6	34.5	30.7	7.9	0.3
居住地区	中央地区	60	1.7	5.0	5.0	15.0	38.3	26.7	8.3	0.0
	小田地区	75	1.3	2.7	8.0	17.3	25.3	34.7	9.3	1.3
	大庄地区	53	1.9	1.9	9.4	17.0	39.6	17.0	13.2	0.0
	立花地区	104	1.9	8.7	12.5	8.7	28.8	33.7	5.8	0.0
	武庫地区	68	1.5	4.4	10.3	13.2	30.9	29.4	10.3	0.0
	園田地区	82	0.0	8.5	7.3	15.9	31.7	23.2	13.4	0.0

問5 あなたの同居している家族についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



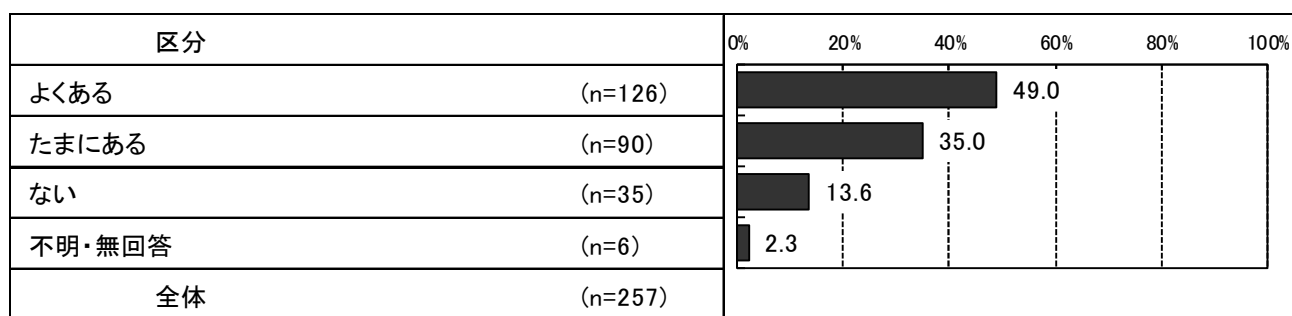
「ひとり暮らし」が40.2%で最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が33.3%、「息子(又は義理の息子)」が17.4%となっています。



同居している家族から世帯構成を算出すると、「ひとり暮らし」が40.2%、「夫婦のみの世帯」が26.3%、「二世帯」が22.7%となっています。

※問5で「ひとり暮らし」以外を回答した方

問6 あなたは、日中一人になることがありますか。(1つに○)



「よくある」が49.0%で最も多く、次いで「たまにある」が35.0%、「ない」が13.6%となっています。

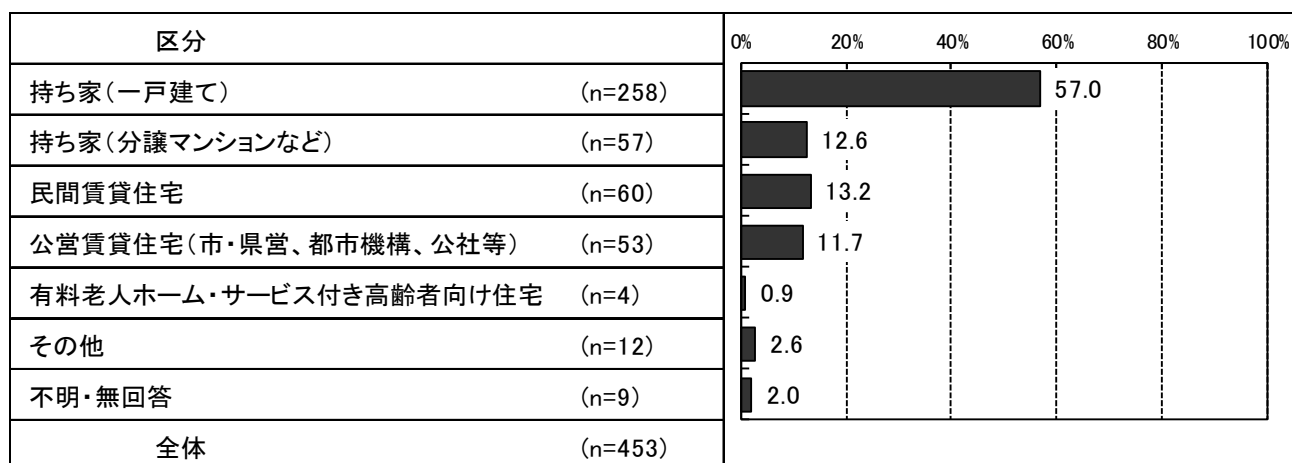
	(n)	よくある	たまにある	ない	不明・無回答	
全体	257	49.0	35.0	13.6	2.3	
年齢	40～64歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	前期高齢者	39	51.3	28.2	12.8	7.7
	後期高齢者	214	48.6	36.0	14.0	1.4
性別	男性	80	41.3	43.8	11.3	3.8
	女性	176	52.8	31.3	14.2	1.7
居住地区	中央地区	33	42.4	36.4	18.2	3.0
	小田地区	36	47.2	41.7	11.1	0.0
	大庄地区	31	41.9	41.9	12.9	3.2
	立花地区	56	48.2	39.3	7.1	5.4
	武庫地区	46	56.5	26.1	15.2	2.2
	園田地区	52	51.9	30.8	17.3	0.0

年齢別にみると、「よくある」は前期高齢者において半数を超えています。

性別にみると、「よくある」は男性が41.3%に対し、女性は52.8%と半数を超えています。

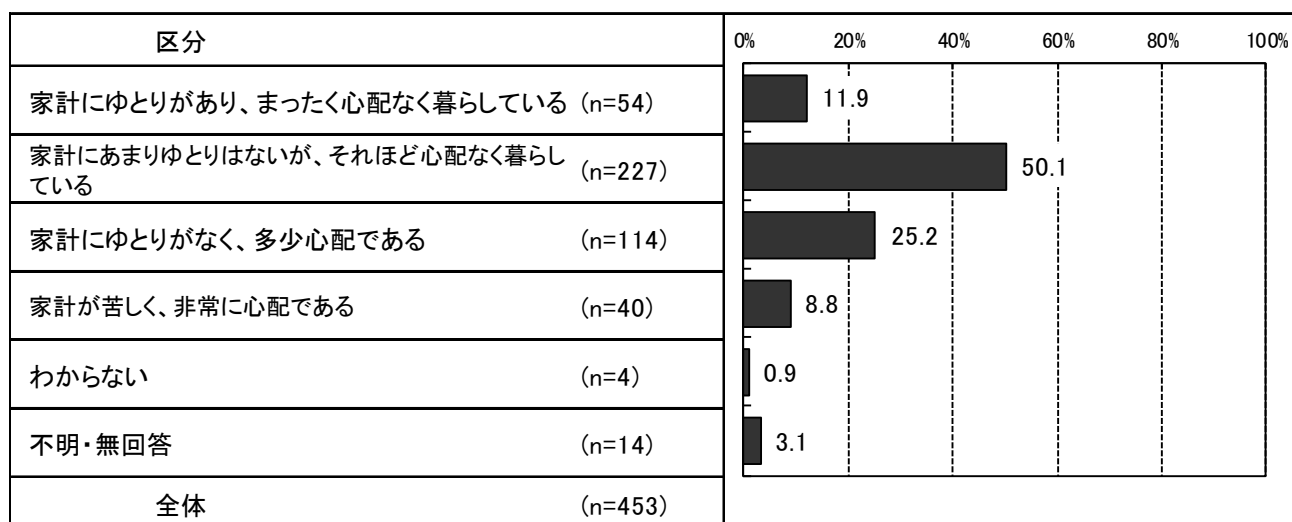
居住地区別にみると、「よくある」は武庫地区・園田地区で半数を超えています。

問7 あなたのお住まいについて、お答えください。(1つに○)



「持ち家(一戸建て)」が57.0%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅」が13.2%、「持ち家(分譲マンションなど)」が12.6%となっています。

問8 あなたはご自分の現在の経済的な暮らし向きについて、どのようにお考えですか。(1つに○)



「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が50.1%で最も多く、次いで「家計にゆとりがなく、多少心配である」が25.2%、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」が11.9%となっています。

		(n)	家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	家計にゆとりがなく、多少心配である	家計が苦しく、非常に心配である	わからない	不明・無回答
全体		453	11.9	50.1	25.2	8.8	0.9	3.1
年齢	40～64歳	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
	前期高齢者	68	5.9	47.1	26.5	19.1	0.0	1.5
	後期高齢者	373	13.4	51.7	24.7	7.0	1.1	2.1
性別	男性	128	10.2	44.5	28.1	14.1	0.8	2.3
	女性	316	12.7	53.5	24.4	6.6	0.9	1.9
居住地区	中央地区	60	10.0	55.0	18.3	15.0	1.7	0.0
	小田地区	75	16.0	45.3	28.0	8.0	0.0	2.7
	大庄地区	53	18.9	54.7	18.9	5.7	0.0	1.9
	立花地区	104	6.7	57.7	23.1	10.6	0.0	1.9
	武庫地区	68	10.3	52.9	29.4	2.9	1.5	2.9
	園田地区	82	14.6	37.8	32.9	11.0	2.4	1.2

年齢別にみると、後期高齢者は「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」が前期高齢者よりも多く、また、前期高齢者は「家計が苦しく、非常に心配である」が10%台と後期高齢者よりも多くなっています。

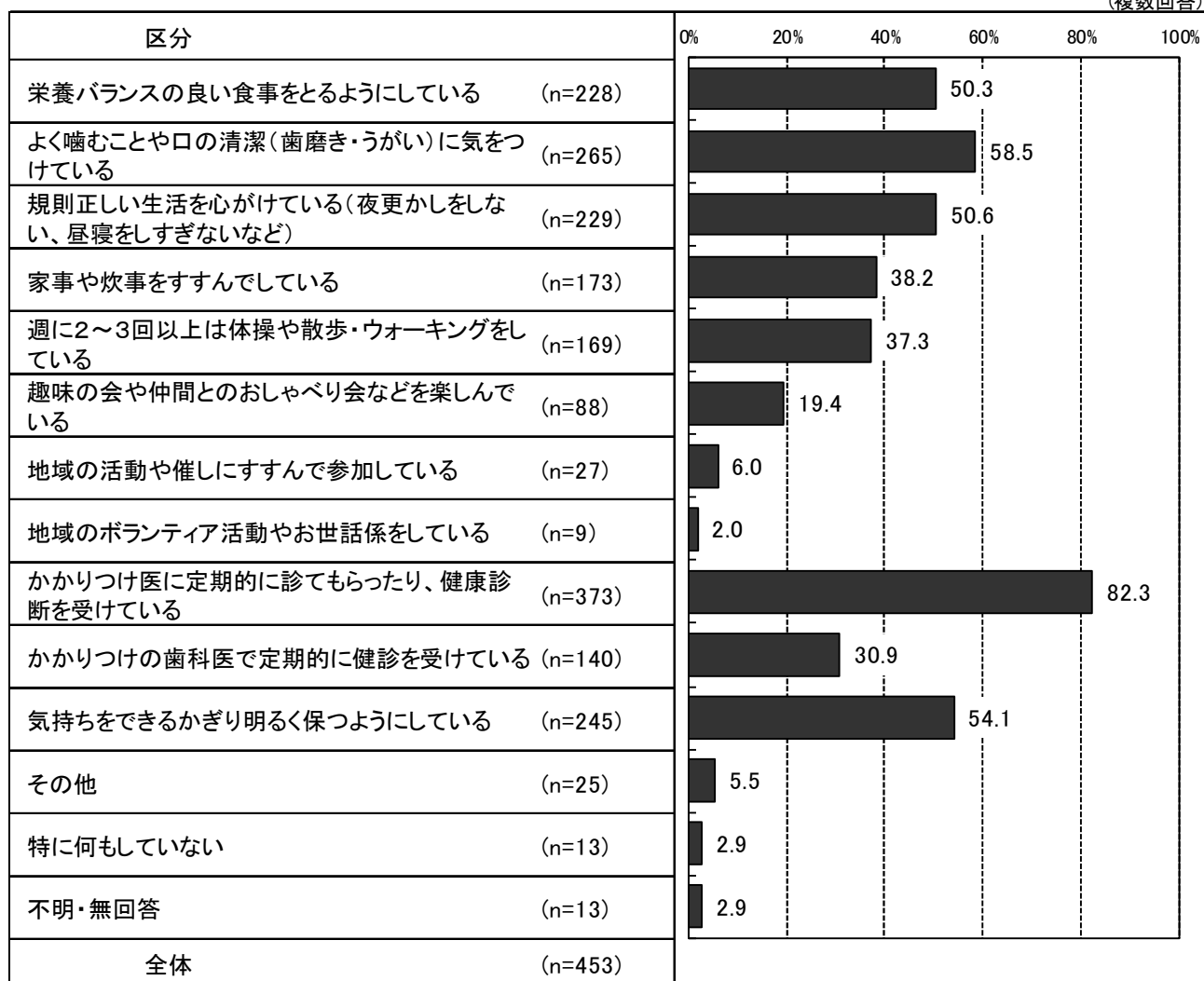
性別にみると、「家計が苦しく、非常に心配である」は男性で10%台に対し、女性は10%未満となっています。

居住地区別にみると、「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」は立花地区のみ10%未満となっています。また、「家計が苦しく、非常に心配である」は中央地区・立花地区・園田地区で10%台となっています。

2. 健康づくり・介護予防の活動について

問9 あなたは普段健康のために心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「かかりつけ医に定期的に診てもらったり、健康診断を受けている」が82.3%で最も多く、次いで「よく噛むことや口の清潔(歯磨き・うがい)に気をつけている」が58.5%、「気持ちをできるかぎり明るく保つようにしている」が54.1%となっています。

	(n)	栄養バランスの良い食事をとるようにしている	よく噛むことや口の清潔(歯磨き・うがい)に気をつけている	規則正しい生活を心がけている(夜更かしをしない、昼寝をしすぎないなど)	家事や炊事をすすんでしている	週に2〜3回以上は体操や散歩・ウォーキングをしている	趣味の会や仲間とおしゃべり会などを楽しんでいる	地域の活動や催しにすすんで参加している	地域のボランティア活動やお世話係をしている	かかりつけ医に定期的に診てもらったり、健康診断を受けている	かかりつけの歯科医で定期的に健診を受けている	気持ちをできるかぎり明るく保つようにしている	その他	特に何もしていない	不明・無回答
全体	453	50.3	58.5	50.6	38.2	37.3	19.4	6.0	2.0	82.3	30.9	54.1	5.5	2.9	2.9
年齢	40～64歳	6	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	16.7	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	前期高齢者	68	51.5	48.5	44.1	29.4	51.5	19.1	2.9	2.9	77.9	39.7	44.1	2.9	1.5
	後期高齢者	373	50.7	60.9	52.0	40.2	34.9	20.1	6.2	1.6	83.9	30.0	56.6	6.2	3.2
性別	男性	128	42.2	44.5	48.4	24.2	43.8	8.6	3.9	2.3	79.7	25.8	43.8	3.1	4.7
	女性	316	54.1	64.9	52.2	43.7	35.1	24.1	7.0	1.9	84.5	33.2	58.5	6.6	2.2
世帯構成	ひとり暮らし	182	49.5	59.9	56.0	40.1	35.2	24.7	7.1	1.6	81.3	32.4	56.6	6.0	2.7
	夫婦のみ	119	50.4	56.3	46.2	38.7	42.0	9.2	3.4	1.7	84.9	30.3	49.6	5.0	3.4
	二世帯	103	54.4	61.2	49.5	35.0	39.8	22.3	7.8	2.9	83.5	32.0	55.3	4.9	3.9
	その他	35	54.3	62.9	51.4	42.9	34.3	22.9	5.7	2.9	91.4	22.9	60.0	8.6	0.0

年齢別にみると、前期・後期高齢者ともに「かかりつけ医に定期的に診てもらったり、健康診断を受けている」が最も多くなっています。また、50%を超えているものは前期高齢者で「栄養バランスの良い食事をとるようにしている」「週に2〜3回以上は体操や散歩・ウォーキングをしている」の2項目で、後期高齢者は「栄養バランスの良い食事をとるようにしている」「よく噛むことや口の清潔(歯磨き・うがい)に気をつけている」「規則正しい生活を心がけている(夜更かしをしない、昼寝をしすぎないなど)」「気持ちをできるかぎり明るく保つようにしている」の4項目となっています。

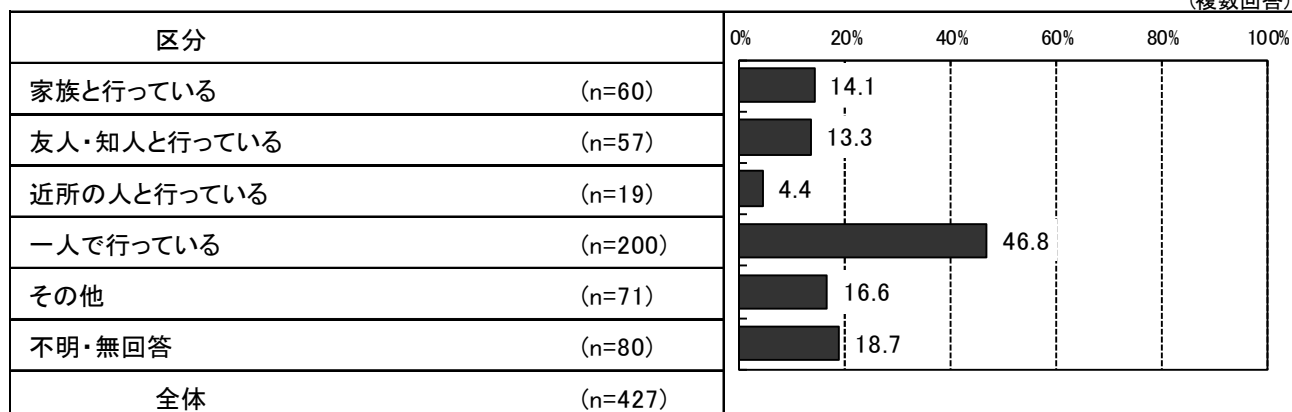
性別にみると、「週に2〜3回以上は体操や散歩・ウォーキングをしている」「地域のボランティア活動やお世話係をしている」は女性より男性のほうが多くなっていますが、そのほかの項目は男性より女性のほうが多くなっています。

世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯は「趣味の会や仲間とおしゃべり会などを楽しんでいる」が9.2%とほかの世帯よりも低くなっています。

※問9で「特に何もしていない」以外を回答した方

問10 健康のために行っている活動は、誰と行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「一人で行っている」が46.8%で最も多く、次いで「家族と行っている」が14.1%、「友人・知人と行っている」が13.3%となっています。

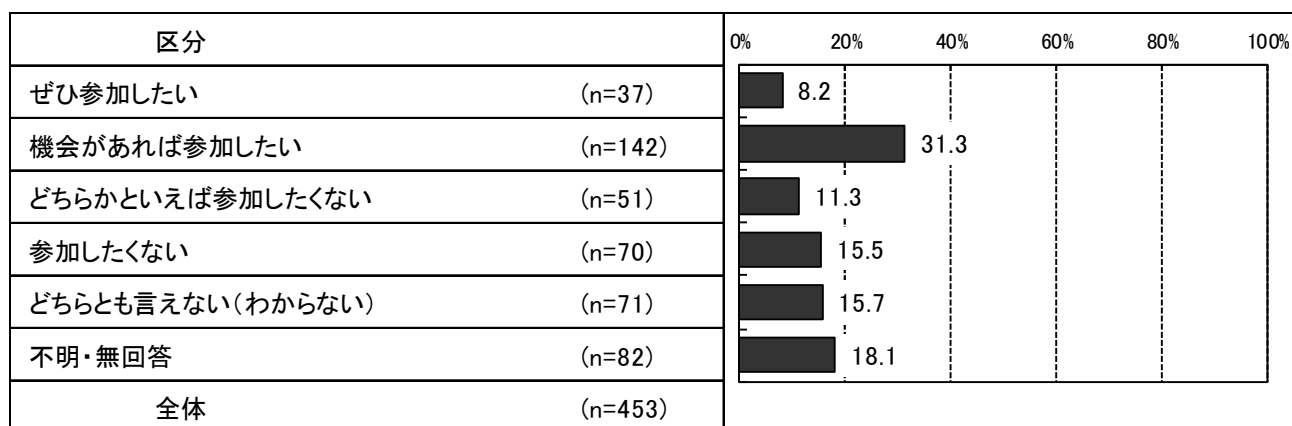
		(n)	家族と行っている	友人・知人と行っている	近所の人と行っている	一人で行っている	その他	不明・無回答
全体		427	14.1	13.3	4.4	46.8	16.6	18.7
年齢	40～64歳	6	16.7	33.3	16.7	66.7	0.0	0.0
	前期高齢者	66	10.6	19.7	0.0	65.2	18.2	10.6
	後期高齢者	353	14.7	11.9	5.1	43.1	16.7	20.4
性別	男性	119	11.8	9.2	1.7	62.2	14.3	15.1
	女性	303	15.2	14.9	5.6	40.6	17.8	20.1
居住地区	中央地区	53	9.4	15.1	5.7	45.3	15.1	17.0
	小田地区	73	20.5	12.3	6.8	57.5	15.1	11.0
	大庄地区	51	11.8	11.8	3.9	35.3	13.7	29.4
	立花地区	100	11.0	14.0	3.0	49.0	23.0	17.0
	武庫地区	66	18.2	10.6	3.0	53.0	12.1	16.7
	園田地区	77	13.0	13.0	5.2	36.4	18.2	26.0

年齢別にみると、年齢にかかわらず「一人で行っている」が最も多くなっていますが、前期高齢者は65.2%に対し、後期高齢者は43.1%と22.1ポイントの差がみられます。

性別にみると、男女ともに「一人で行っている」が最も多くなっていますが、男性は62.2%に対し、女性は40.6%と21.6ポイントの差がみられます。

居住地区別にみると、「一人で行っている」は小田地区・武庫地区は半数を超えています。また、「家族と行っている」は小田地区のみ20%台となっており、中央地区は10%未満と、ほかの地区よりも低くなっています。

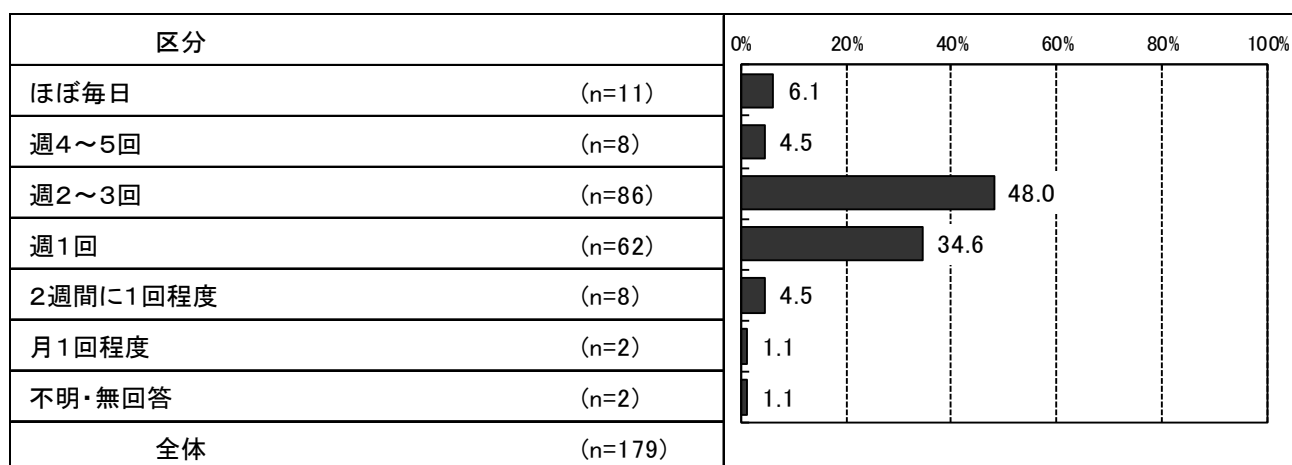
問 11 身近な場所で、簡単な体操を行う場があれば参加したいと思いますか。(1つに〇)



「機会があれば参加したい」が 31.3%で最も多く、次いで「どちらとも言えない(わからない)」が 15.7%、「参加したくない」が 15.5%となっています。

※問 11 で「ぜひ参加したい」もしくは「機会があれば参加したい」を回答した方

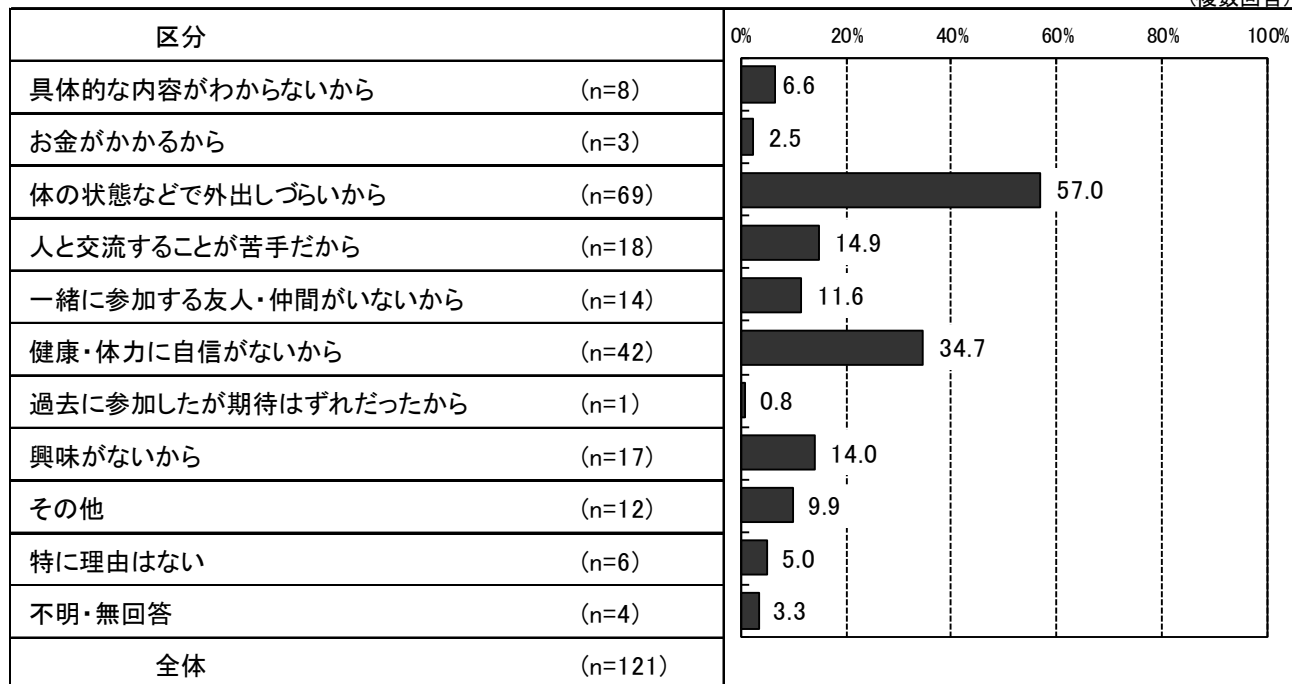
問 12 身近な場所で簡単な体操を行う場について、どれぐらいの頻度で参加したいと思いますか。(1つに〇)



「週2~3回」が 48.0%で最も多く、次いで「週1回」が 34.6%、「ほぼ毎日」が 6.1%となっています。

※問 11 で「どちらかといえば参加したくない」もしくは「参加したくない」を回答した方
 問 13 参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

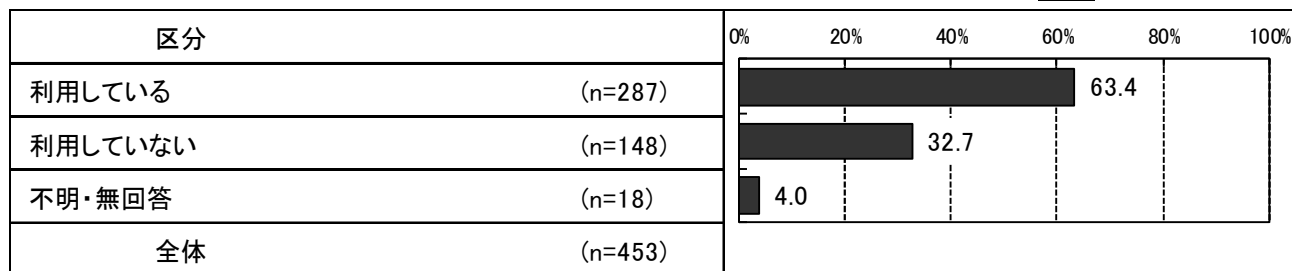
(複数回答)



「体の状態などで外出しづらいから」が 57.0%で最も多く、次いで「健康・体力に自信がないから」が 34.7%、「人と交流することが苦手だから」が 14.9%となっています。

3. ホームヘルプサービス（訪問介護）の利用状況について

問 14 あなたは現在、ホームヘルプサービス（訪問介護）を利用していますか。（1つに○）



「利用している」が 63.4%、「利用していない」が 32.7%となっています。

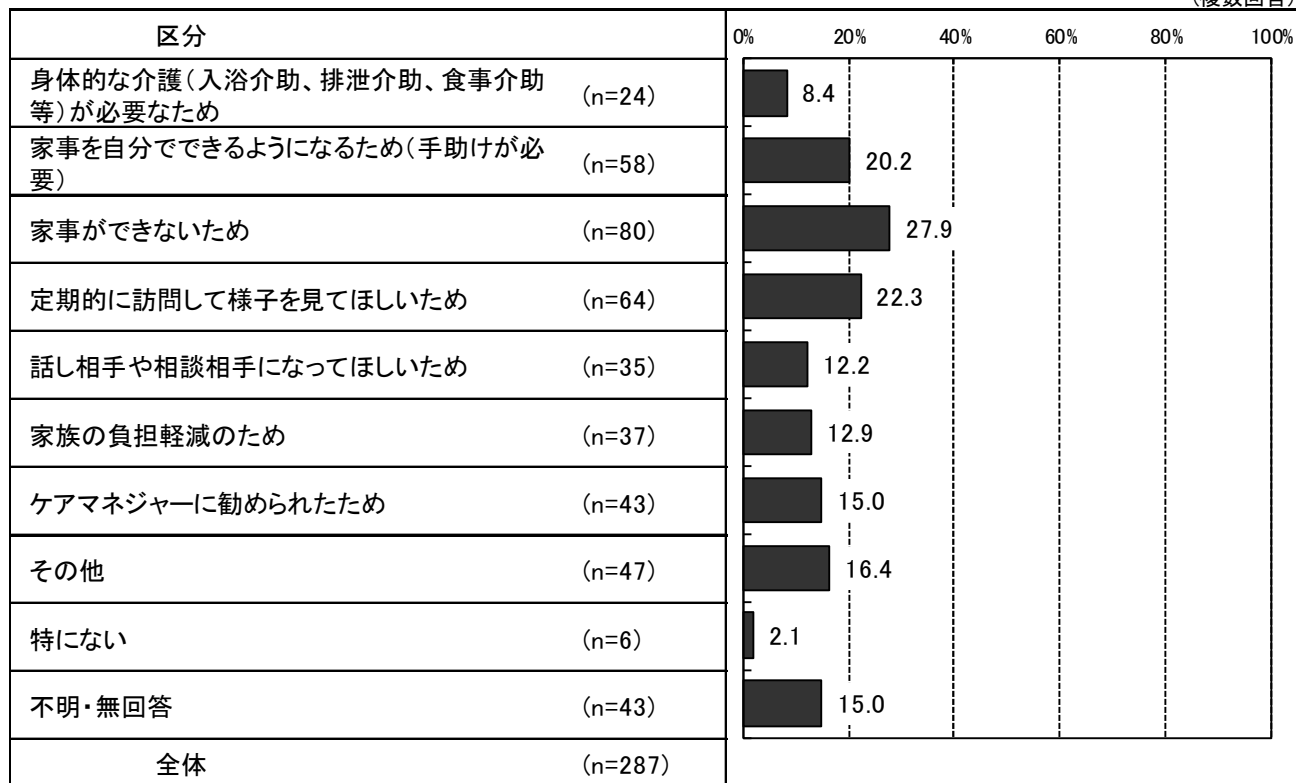
	(n)	利用して いる	利用して いない	不明・無 回答	
全体	453	63.4	32.7	4.0	
世帯 構成	ひとり暮らし	182	81.9	17.6	0.5
	夫婦のみ	119	60.5	33.6	5.9
	二世帯	103	36.9	57.3	5.8
	その他	35	51.4	42.9	5.7

世帯構成別にみると、二世帯のみ「利用していない」が最も多くなっています。また、「利用している」はひとり暮らしが 81.9%とほかの世帯よりも多くなっています。

※問 15 から問 24 は問 14 で「利用している」を回答した方

問 15 ホームヘルプサービスを利用している目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「家事ができないため」が 27.9%で最も多く、次いで「定期的に訪問して様子を見てほしいため」が 22.3%、「家事を自分でできるようになるため（手助けが必要）」が 20.2%となっています。

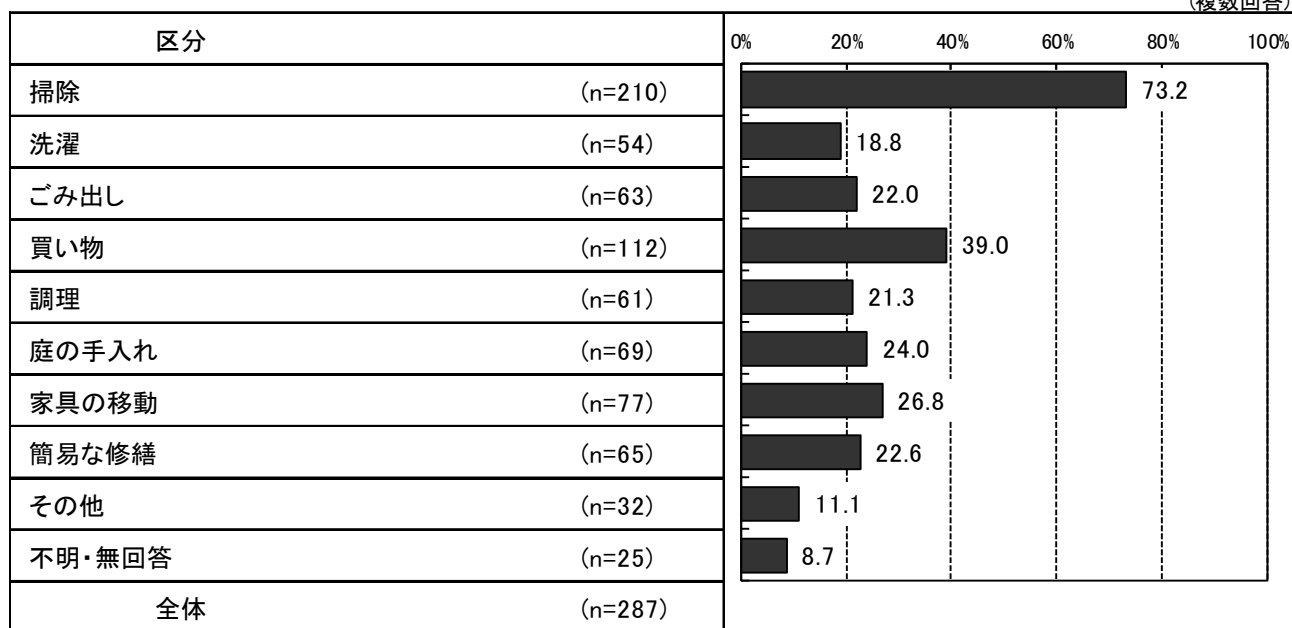
	(n)	身体的な介護（入浴介助、排泄介助、食事介助等）が必要なため	家事を自分でできるようになるため（手助けが必要）	家事ができないため	定期的な訪問して様子を見てほしいため	話し相手や相談相手になってほしいため	家族の負担軽減のため	ケアマネジャーに勧められたため	その他	特になし	不明・無回答	
全体	287	8.4	20.2	27.9	22.3	12.2	12.9	15.0	16.4	2.1	15.0	
性別	男性	78	6.4	16.7	30.8	29.5	11.5	14.1	23.1	12.8	2.6	11.5
	女性	202	9.4	22.3	27.7	19.3	12.4	12.4	12.4	18.3	2.0	14.9
世帯構成	ひとり暮らし	149	7.4	25.5	32.2	30.2	17.4	9.4	12.1	18.1	1.3	10.7
	夫婦のみ	72	8.3	18.1	19.4	19.4	2.8	22.2	20.8	13.9	1.4	18.1
	二世帯	38	15.8	13.2	34.2	2.6	13.2	13.2	18.4	15.8	5.3	15.8
	その他	18	5.6	0.0	22.2	16.7	0.0	11.1	16.7	22.2	5.6	16.7

性別にみると、男女ともに「家事ができないため」が最も多くなっています。また、男性は「定期的に訪問して様子を見てほしいため」「ケアマネジャーに勧められたため」が女性より 10 ポイント以上多くなっています。

世帯構成別にみると、夫婦のみ世帯は「家族の負担軽減のため」、そのほかの世帯は「家事ができないため」がそれぞれ最も多くなっています。また、ひとり暮らし世帯は「家事を自分でできるようになるため（手助けが必要）」「定期的に訪問して様子を見てほしいため」がほかの世帯よりも多くなっています。

問 16 家事で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「掃除」が73.2%で最も多く、次いで「買い物」が39.0%、「家具の移動」が26.8%となっています。

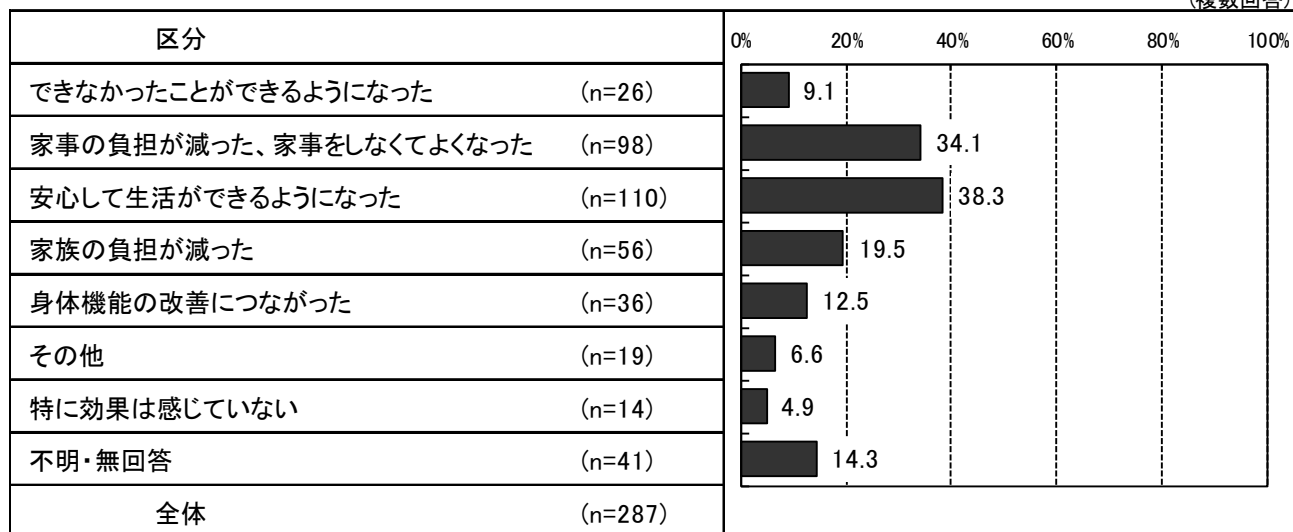
		(n)	掃除	洗濯	ごみ出し	買い物	調理	庭の手入れ	家具の移動	簡易な修繕	その他	不明・無回答
全体		287	73.2	18.8	22.0	39.0	21.3	24.0	26.8	22.6	11.1	8.7
性別	男性	78	67.9	26.9	28.2	43.6	32.1	12.8	20.5	17.9	11.5	7.7
	女性	202	76.2	16.3	20.3	38.1	17.3	29.2	29.7	25.2	11.4	7.9
居住地区	中央地区	38	71.1	13.2	21.1	39.5	15.8	13.2	21.1	23.7	21.1	10.5
	小田地区	46	65.2	26.1	21.7	41.3	21.7	19.6	23.9	23.9	10.9	10.9
	大庄地区	34	88.2	14.7	23.5	41.2	20.6	32.4	26.5	17.6	11.8	5.9
	立花地区	68	79.4	19.1	17.6	41.2	17.6	22.1	22.1	13.2	5.9	5.9
	武庫地区	38	71.1	23.7	23.7	44.7	28.9	31.6	31.6	23.7	13.2	7.9
	園田地区	56	71.4	17.9	26.8	32.1	25.0	28.6	33.9	33.9	10.7	5.4

性別にみると、男女ともに「掃除」が最も多くなっています。また、男性は「洗濯」と「調理」が女性よりも10ポイント以上多く、女性は「庭の手入れ」が男性よりも10ポイント以上多くなっています。

居住地区別にみると、どの地区も「掃除」が最も多くなっていますが、大庄地区は88.2%とほかの地区よりも多く、小田地区は65.2%とほかの地区よりも低くなっています。

問 17 ホームヘルプサービスを利用して、どのような効果を実感していますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「安心して生活ができるようになった」が38.3%で最も多く、次いで「家事の負担が減った、家事をしなくてよかった」が34.1%、「家族の負担が減った」が19.5%となっています。

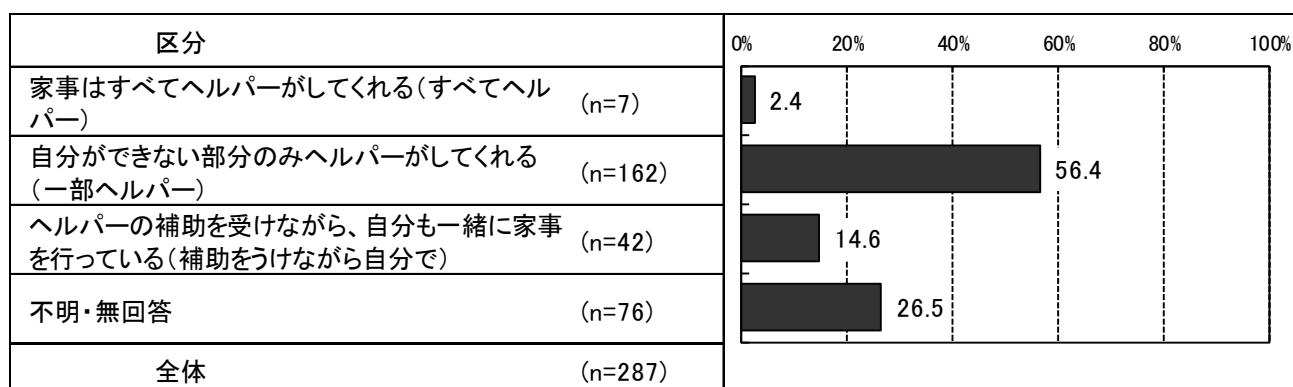
		(n)	できなかつたことができるようになった	家事の負担が減った、家事をしなくてよくなった	安心して生活ができるようになった	家族の負担が減った	身体機能の改善につながった	その他	特に効果は感じていない	不明・無回答
全体		287	9.1	34.1	38.3	19.5	12.5	6.6	4.9	14.3
性別	男性	78	3.8	34.6	39.7	20.5	12.8	7.7	7.7	1.3
	女性	202	11.4	35.1	38.1	19.8	12.4	6.4	4.0	17.3
居住地区	中央地区	38	13.2	31.6	44.7	13.2	13.2	7.9	7.9	15.8
	小田地区	46	17.4	23.9	39.1	30.4	13.0	6.5	6.5	13.0
	大庄地区	34	14.7	26.5	32.4	32.4	23.5	2.9	2.9	14.7
	立花地区	68	2.9	41.2	50.0	14.7	10.3	5.9	1.5	11.8
	武庫地区	38	5.3	44.7	31.6	23.7	2.6	10.5	5.3	13.2
	園田地区	56	7.1	37.5	28.6	10.7	14.3	7.1	7.1	12.5
世帯構成	ひとり暮らし	149	12.8	39.6	50.3	11.4	13.4	5.4	4.7	12.1
	夫婦のみ	72	4.2	33.3	20.8	36.1	9.7	6.9	5.6	13.9
	二世帯	38	7.9	31.6	31.6	21.1	13.2	10.5	5.3	10.5
	その他	18	5.6	16.7	16.7	27.8	16.7	11.1	5.6	22.2

性別にみると、男女ともに「安心して生活ができるようになった」が最も多くなっています。また、「できなかつたことができるようになった」は女性で10%台に対し、男性は5%未満となっています。

居住地区別にみると、大庄地区は「安心して生活ができるようになった」と「家族の負担が減った」、武庫地区・園田地区は「家事の負担が減った、家事をしなくてよくなった」、そのほかの地区は「安心して生活ができるようになった」がそれぞれ最も多くなっています。「できなかつたことができるようになった」は中央地区・小田地区・大庄地区で10%台となっています。「身体機能の改善につながった」は大庄地区のみ20%台と多くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「安心して生活ができるようになった」、夫婦のみの世帯・その他の世帯は「家族の負担が減った」、二世帯は「家事の負担が減った、家事をしなくてよくなった」がそれぞれ最も多くなっています。また、ひとり暮らし世帯のみ「できなかつたことができるようになった」が10%台となっています。

問 18 家事支援におけるヘルパーとあなたとの関係はどのようなものですか。(1つに〇)



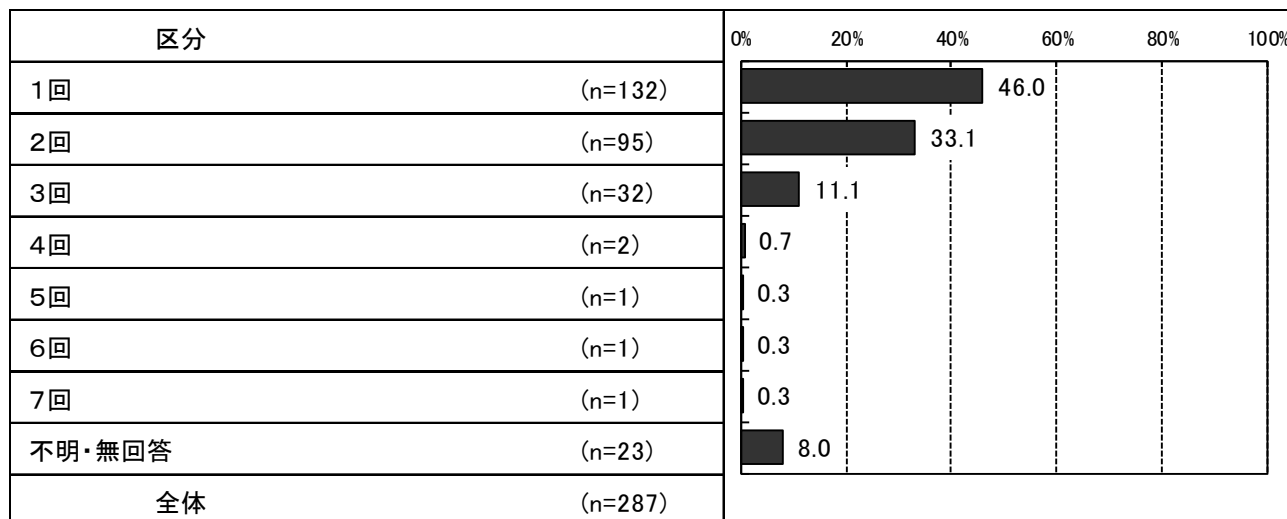
「自分ができない部分のみヘルパーがしてくれる(一部ヘルパー)」が56.4%で最も多く、次いで「ヘルパーの補助を受けながら、自分も一緒に家事を行っている(補助を受けながら自分で)」が14.6%、「家事はすべてヘルパーがしてくれる(すべてヘルパー)」が2.4%となっています。

	(n)	家事はすべてヘルパーがしてくれる(すべてヘルパー)	自分ができない部分のみヘルパーがしてくれる(一部ヘルパー)	ヘルパーの補助を受けながら、自分も一緒に家事を行っている(補助を受けながら自分で)	不明・無回答	
全体	287	2.4	56.4	14.6	26.5	
居住地区	中央地区	38	0.0	57.9	13.2	28.9
	小田地区	46	4.3	56.5	19.6	19.6
	大庄地区	34	0.0	55.9	14.7	29.4
	立花地区	68	4.4	60.3	5.9	29.4
	武庫地区	38	2.6	65.8	10.5	21.1
	園田地区	56	1.8	50.0	25.0	23.2

居住地区別にみると、どの地区も「自分ができない部分のみヘルパーがしてくれる」が最も多くなっていますが、立花地区・武庫地区は60%台に対し、園田地区は50.0%と10ポイント以上の差がみられます。また、「ヘルパーの補助を受けながら、自分も一緒に家事を行っている(補助を受けながら自分で)」は、園田地区で25.0%とほかの地区よりも多いのに対し、立花地区は5.9%とほかの地区よりも低くなっています。

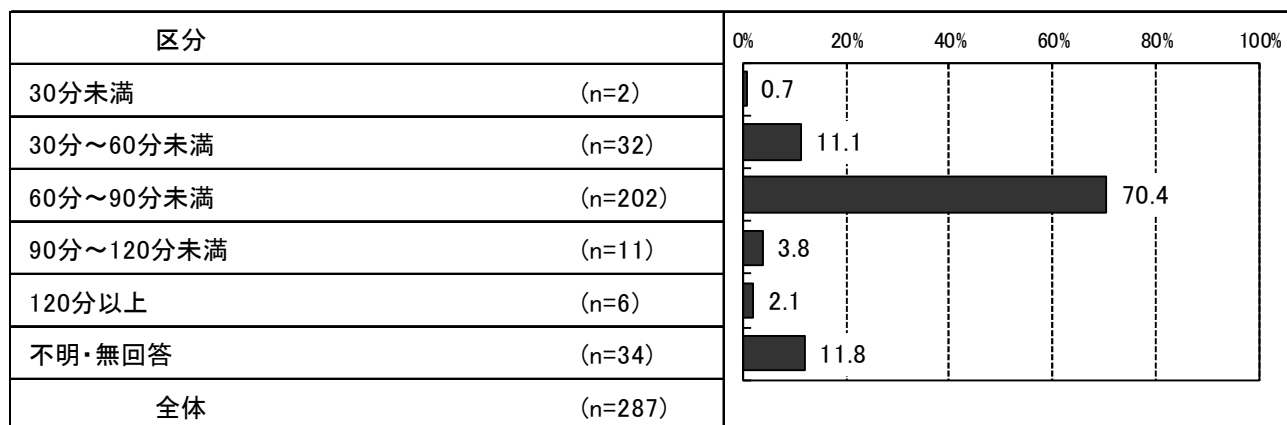
問 19 現在のホームヘルプサービスの1週間当たりの利用回数、1回当たりの利用時間をお答えください。（数字を記入）

■ 1週間当たりの回数



「1回」が46.0%で最も多く、次いで「2回」が33.1%、「3回」が11.1%となっています。

■ 1回当たりの利用時間

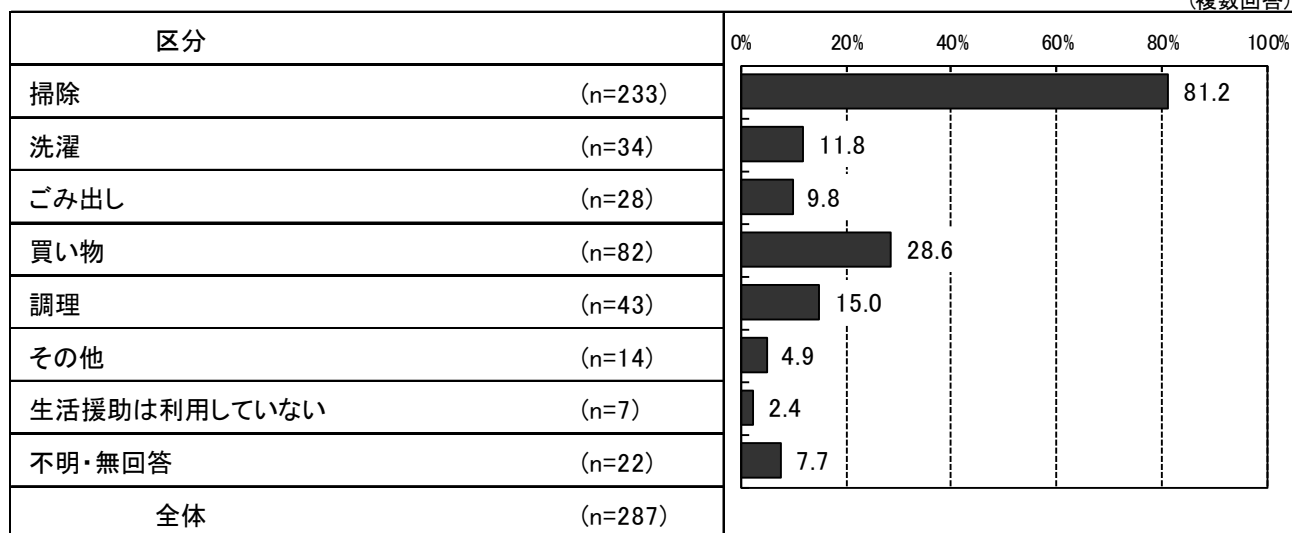


「60分～90分未満」が70.4%で最も多く、次いで「30分～60分未満」が11.1%、「90分～120分未満」が3.8%となっています。

問 20 ホームヘルプサービスのうち、生活援助（家事援助）のサービスを利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。また、利用しているサービスの中で主に利用している内容1つに○をつけてください。

■利用しているサービス（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



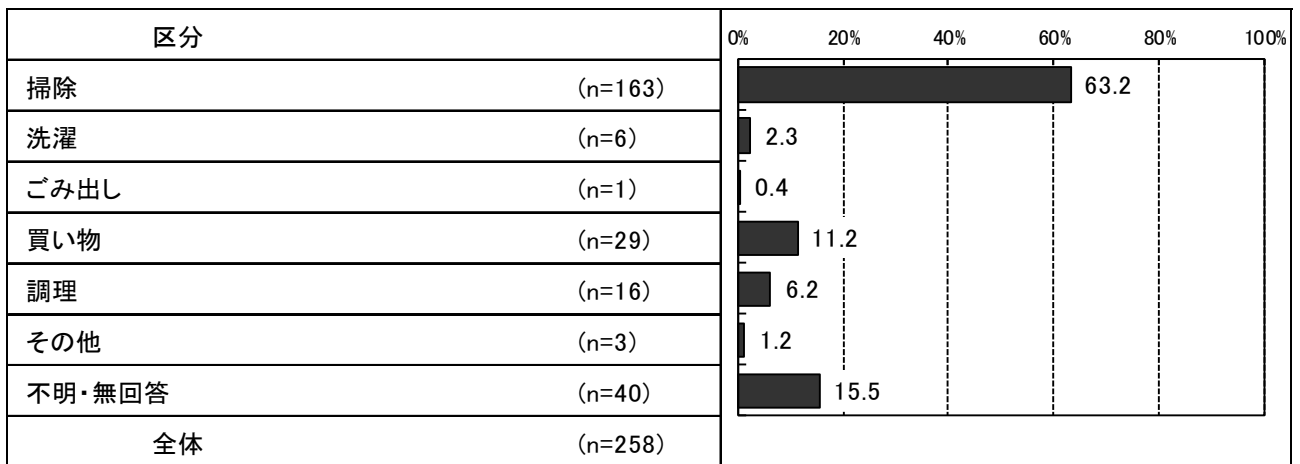
「掃除」が81.2%で最も多く、次いで「買い物」が28.6%、「調理」が15.0%となっています。

		(n)	掃除	洗濯	ごみ出し	買い物	調理	その他	生活援助は利用していない	不明・無回答
全体		287	81.2	11.8	9.8	28.6	15.0	4.9	2.4	7.7
性別	男性	78	75.6	23.1	15.4	37.2	20.5	6.4	3.8	7.7
	女性	202	83.2	7.9	7.4	24.8	12.9	4.5	2.0	7.9
居住地区	中央地区	38	86.8	13.2	15.8	28.9	10.5	2.6	0.0	10.5
	小田地区	46	73.9	21.7	10.9	28.3	15.2	6.5	4.3	13.0
	大庄地区	34	94.1	5.9	11.8	29.4	5.9	2.9	0.0	5.9
	立花地区	68	88.2	16.2	10.3	32.4	16.2	4.4	1.5	2.9
	武庫地区	38	81.6	10.5	5.3	23.7	15.8	5.3	0.0	10.5
	園田地区	56	71.4	3.6	5.4	23.2	23.2	5.4	7.1	7.1

性別にみると、「掃除」を除きすべての項目で男性のほうが多く、特に「洗濯」「買い物」は10ポイント以上の差がみられます。

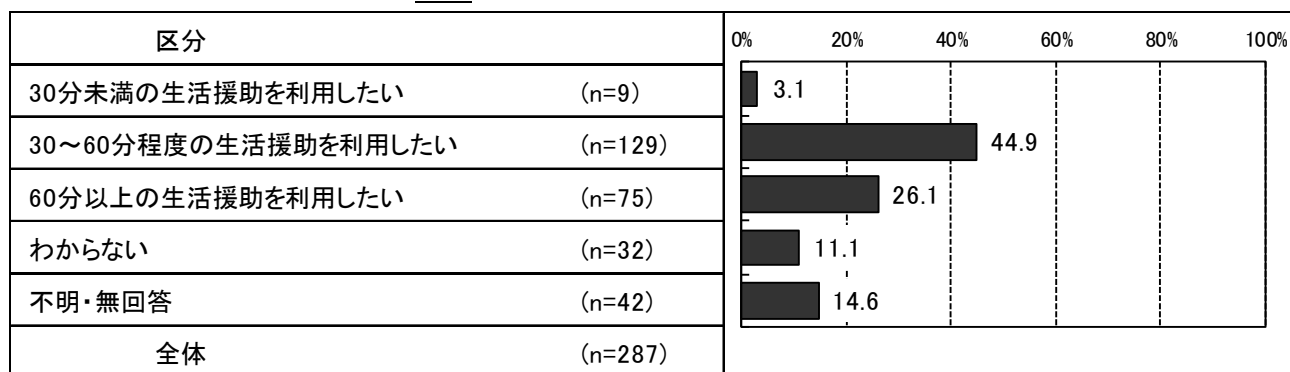
居住地区別にみると、どの地区も「掃除」が最も多く、特に大庄地区では90%台とほかの地区よりも多くなっています。また、「洗濯」は小田地区のみ、「調理」は園田地区のみ20%台と多くなっています。

■利用しているサービスのうち、主に利用している内容（1つに○）



「掃除」が63.2%で最も多く、次いで「買い物」が11.2%、「調理」が6.2%となっています。

問 21 ホームヘルプサービスの生活援助（家事援助）の利用について、1回あたり30分未満の短時間利用（利用者負担は半分程度）が可能となった場合、あなたはどれぐらいの時間の生活援助を利用したいと思いますか。（1つに〇）



「30～60分程度の生活援助を利用したい」が44.9%で最も多く、次いで「60分以上の生活援助を利用したい」が26.1%、「わからない」が11.1%となっています。

		(n)	30分未満の生活援助を利用したい	30～60分程度の生活援助を利用したい	60分以上の生活援助を利用したい	わからない	不明・無回答
全体		287	3.1	44.9	26.1	11.1	14.6
年齢	40～64歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	前期高齢者	45	2.2	42.2	33.3	8.9	13.3
	後期高齢者	235	3.4	46.0	25.1	11.5	14.0
性別	男性	78	6.4	41.0	26.9	14.1	11.5
	女性	202	2.0	46.0	26.7	9.9	15.3
世帯構成	ひとり暮らし	149	1.3	49.0	32.2	5.4	12.1
	夫婦のみ	72	2.8	45.8	20.8	23.6	6.9
	二世帯	38	7.9	31.6	26.3	13.2	21.1
	その他	18	11.1	38.9	5.6	5.6	38.9

年齢別にみると、「60分以上の生活援助を利用したい」は前期高齢者で33.3%と後期高齢者より8.2ポイント多くなっています。

性別では大きな差はありません。

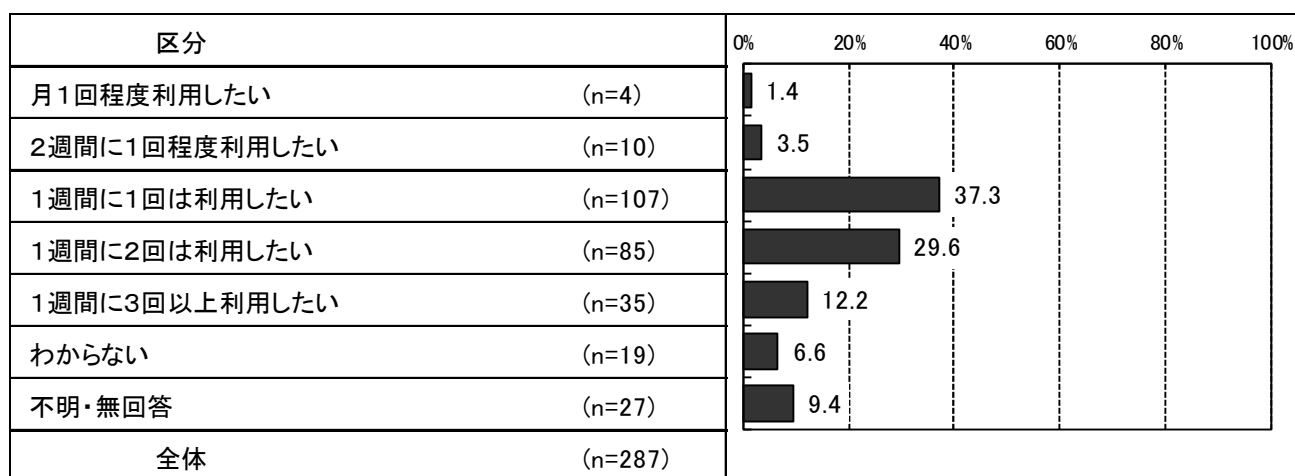
世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「30～60分程度の生活援助を利用したい」が最も多く、特にひとり暮らし世帯・夫婦のみ世帯は40%台とほかの世帯よりも多くなっています。また、「60分以上の生活援助を利用したい」はひとり暮らし世帯のみ30%台と多くなっています。

		(n)	30分未満の生活援助を利用したい	30～60分程度の生活援助を利用したい	60分以上の生活援助を利用したい	わからない	不明・無回答
全体		287	3.1	44.9	26.1	11.1	14.6
利用回数	1回	132	3.8	50.8	24.2	9.1	12.1
	2回	95	3.2	45.3	28.4	10.5	12.6
	3回以上	37	2.7	37.8	43.2	13.5	2.7
利用時間	30分未満	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30分～60分未満	32	0.0	50.0	15.6	18.8	15.6
	60分～90分未満	202	2.5	49.5	30.2	8.9	8.9
	90分～120分未満	11	0.0	9.1	54.5	9.1	27.3
	120分以上	6	0.0	0.0	16.7	33.3	50.0

ホームヘルプサービスの利用回数別にみると、週3回以上の利用者は「60分以上の生活援助を利用したい」、週1回及び週2回の利用者は「30～60分程度の生活援助を利用したい」がそれぞれ最も多くなっています。

ホームヘルプサービスの利用時間別にみると、30分～60分未満・60分～90分未満の利用者は「30～60分程度の生活援助を利用したい」、90分～120分未満の利用者は「60分以上の生活援助を利用したい」が最も多くなっています。

問 22 ホームヘルプサービスの生活援助（家事援助）の利用について、週1回未満（月1～2回程度）が可能となった場合、あなたは何回程度生活援助を利用したいと思いますか。（1つに○）



「1週間に1回は利用したい」が37.3%で最も多く、次いで「1週間に2回は利用したい」が29.6%、「1週間に3回以上利用したい」が12.2%となっています。

	(n)	月1回程度利用したい	2週間に1回程度利用したい	1週間に1回は利用したい	1週間に2回は利用したい	1週間に3回以上利用したい	わからない	不明・無回答
全体	287	1.4	3.5	37.3	29.6	12.2	6.6	9.4
年齢	40～64歳	3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	前期高齢者	45	2.2	4.4	46.7	20.0	11.1	11.1
	後期高齢者	235	1.3	3.4	36.6	30.6	12.8	6.8
性別	男性	78	0.0	2.6	24.4	30.8	20.5	10.3
	女性	202	2.0	3.5	42.6	29.2	9.4	5.0
世帯構成	ひとり暮らし	149	1.3	2.0	36.2	35.6	13.4	3.4
	夫婦のみ	72	0.0	1.4	44.4	25.0	11.1	9.7
	二世帯	38	5.3	10.5	26.3	26.3	10.5	13.2
	その他	18	0.0	5.6	50.0	11.1	11.1	5.6
利用回数	週1回	132	2.3	6.1	69.7	7.6	3.0	3.8
	週2回	95	1.1	0.0	8.4	73.7	6.3	5.3
	週3回以上	37	0.0	2.7	5.4	8.1	67.6	13.5

年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに「1週間に1回は利用したい」が最も多く、次いで「1週間に2回は利用したい」となっていますが、「1週間に2回は利用したい」は後期高齢者で30.6%と前期高齢者よりも10.6ポイント多くなっています。

性別にみると、男性は「1週間に2回は利用したい」、女性は「1週間に1回は利用したい」がそれぞれ最も多くなっています。また、男性は「1週間に3回以上利用したい」が20.5%と女性よりも11.1ポイント多くなっています。

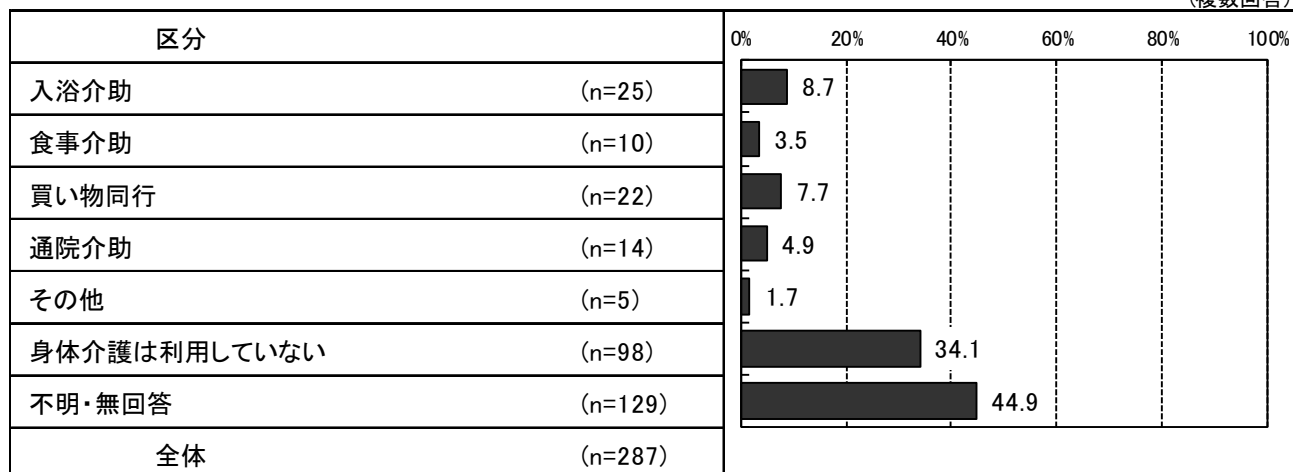
世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「1週間に2回は利用したい」が30%台とほかの世帯に比べて多くなっています。また、二世帯のみ「2週間に1回程度、利用したい」が10%台となっています。

ホームヘルプサービスの利用回数別にみると、週1回の利用者は「1週間に1回は利用したい」、週2回の利用者は「1週間に2回は利用したい」、週3回以上の利用者は「1週間に3回以上利用したい」がそれぞれ最も多くなっています。

問 23 ホームヘルプサービスのうち、身体介護のサービスを利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。また、利用しているサービス中で主に利用している内容1つに○をつけてください。

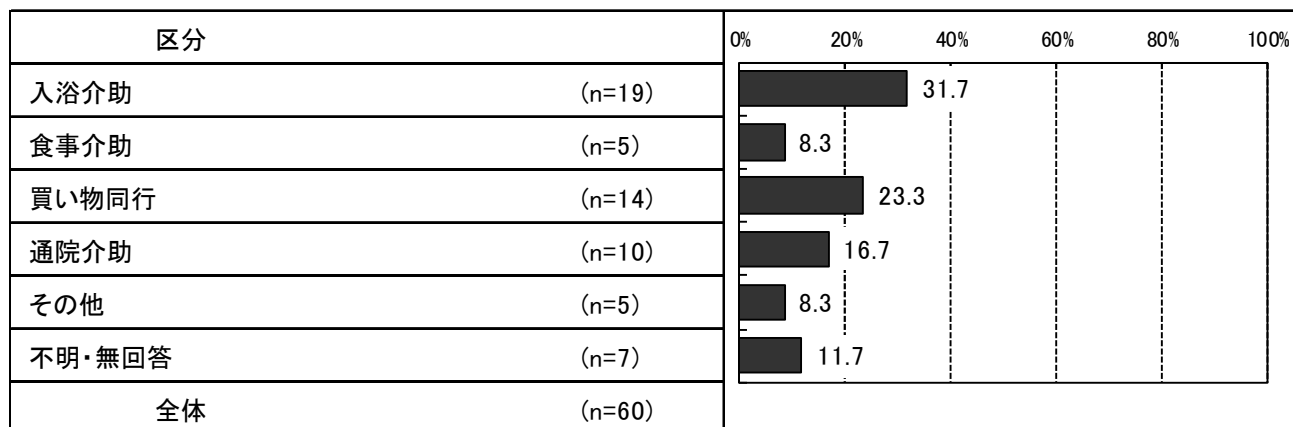
■利用しているサービス（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「身体介護は利用していない」が34.1%で最も多く、次いで「入浴介助」が8.7%、「買い物同行」が7.7%となっています。

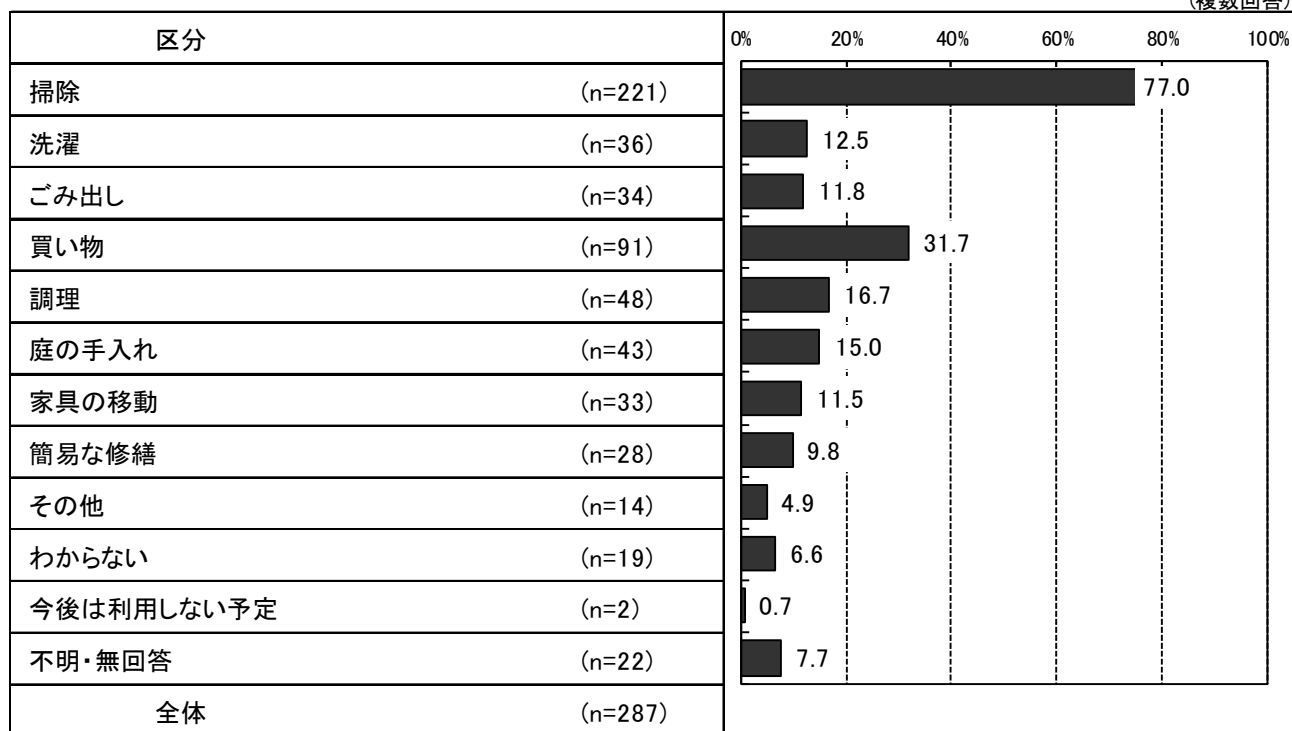
■利用しているサービスのうち、主に利用している内容（1つに○）



「入浴介助」が31.7%で最も多く、次いで「買い物同行」が23.3%、「通院介助」が16.7%となっています。

問 24 以下の家事の中で、今後利用したい（継続して利用したい）サービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「掃除」が77.0%で最も多く、次いで「買い物」が31.7%、「調理」が16.7%となっています。

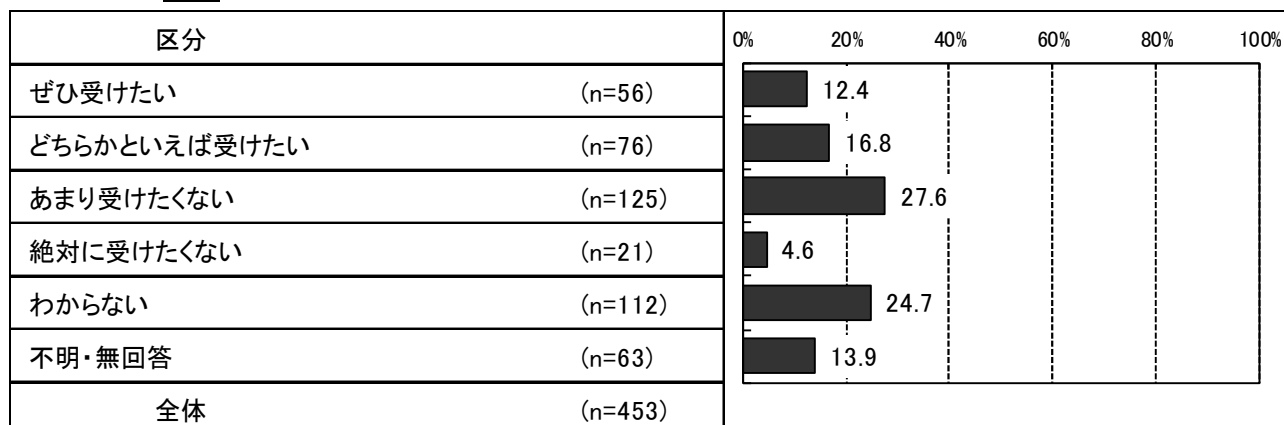
	(n)	掃除	洗濯	ごみ出し	買い物	調理	庭の手入れ	家具の移動	簡易な修繕	その他	わからない	今後は利用しない予定	不明・無回答	
全体	287	77.0	12.5	11.8	31.7	16.7	15.0	11.5	9.8	4.9	6.6	0.7	7.7	
年齢	40～64歳	3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	前期高齢者	45	73.3	15.6	17.8	40.0	17.8	13.3	11.1	15.6	8.9	6.7	0.0	11.1
	後期高齢者	235	78.7	12.3	10.6	29.8	16.6	15.7	11.5	8.9	4.3	6.4	0.9	6.4
性別	男性	78	73.1	21.8	12.8	38.5	24.4	7.7	7.7	9.0	5.1	11.5	1.3	6.4
	女性	202	79.2	9.4	11.4	28.7	13.9	18.3	13.4	10.4	5.0	5.0	0.5	7.4
世帯構成	ひとり暮らし	149	82.6	14.1	16.8	36.2	20.1	16.8	18.8	12.8	4.0	6.0	0.7	6.7
	夫婦のみ	72	73.6	9.7	5.6	30.6	15.3	16.7	2.8	5.6	4.2	6.9	1.4	4.2
	二世帯	38	68.4	15.8	7.9	28.9	15.8	15.8	7.9	13.2	13.2	5.3	0.0	10.5
	その他	18	66.7	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7

年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに「掃除」が最も多く、次いで「買い物」が続いていますが、前期高齢者は「買い物」が40.0%と後期高齢者よりも10.2ポイント多くなっています。

性別にみると、男女ともに「掃除」が最も多くなっています。また、男性は「洗濯」「ごみ出し」「買い物」「調理」が女性より多く、女性は「庭の手入れ」「家具の移動」「簡易な修繕」が男性よりも多くなっています。

世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「掃除」が最も多くなっていますが、ひとり暮らし世帯は80%台とほかの世帯よりも多くなっています。

問 25 住民やボランティアによる家事支援、支え合い、困りごと相談などの支援を受けたいと思いますか。(1つに○)



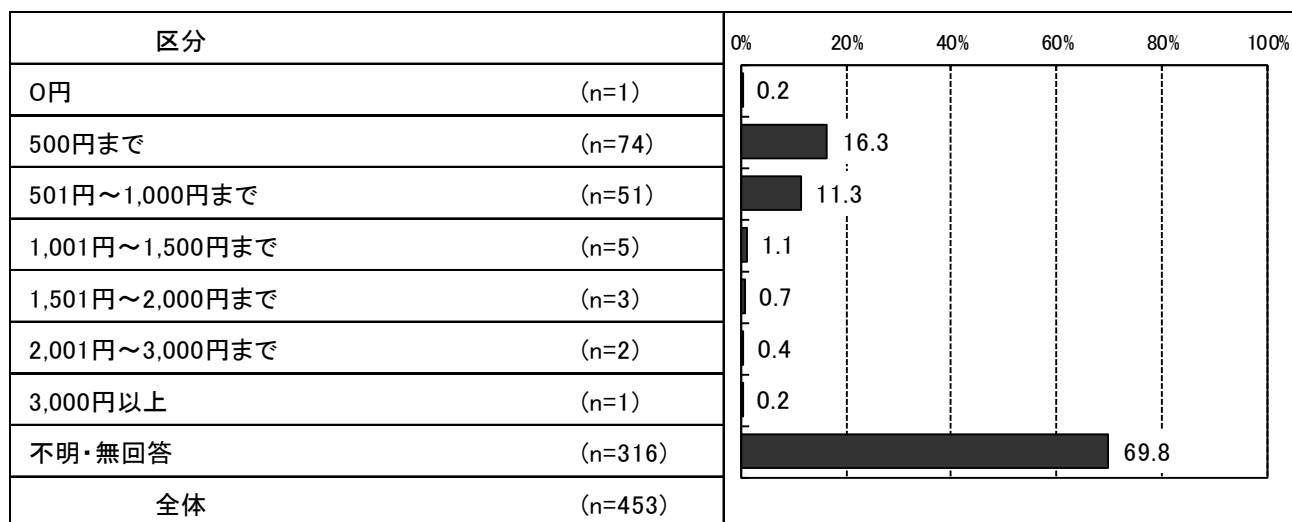
「あまり受けたくない」が27.6%で最も多く、次いで「わからない」が24.7%、「どちらかといえば受けたい」が16.8%となっています。

	(n)	ぜひ受けたい	どちらかといえば受けたい	あまり受けたくない	絶対に受けたくない	わからない	不明・無回答	
全体	453	12.4	16.8	27.6	4.6	24.7	13.9	
年齢	40～64歳	6	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
	前期高齢者	68	16.2	14.7	33.8	4.4	27.9	2.9
	後期高齢者	373	11.8	16.9	26.8	4.6	24.1	15.8
性別	男性	128	9.4	18.8	26.6	4.7	28.9	11.7
	女性	316	13.3	16.1	28.8	4.4	23.4	13.9
世帯構成	ひとり暮らし	182	18.1	17.6	30.2	6.0	20.3	7.7
	夫婦のみ	119	8.4	16.8	23.5	3.4	30.3	17.6
	二世帯	103	6.8	13.6	29.1	3.9	29.1	17.5
	その他	35	14.3	22.9	31.4	0.0	20.0	11.4

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「あまり受けたくない」、夫婦のみ世帯は「わからない」、二世帯は「あまり受けたくない」と「わからない」がそれぞれ最も多くなっています。また、「ぜひ受けたい」はひとり暮らし世帯で18.1%と夫婦のみ世帯や二世帯よりも多くなっています。

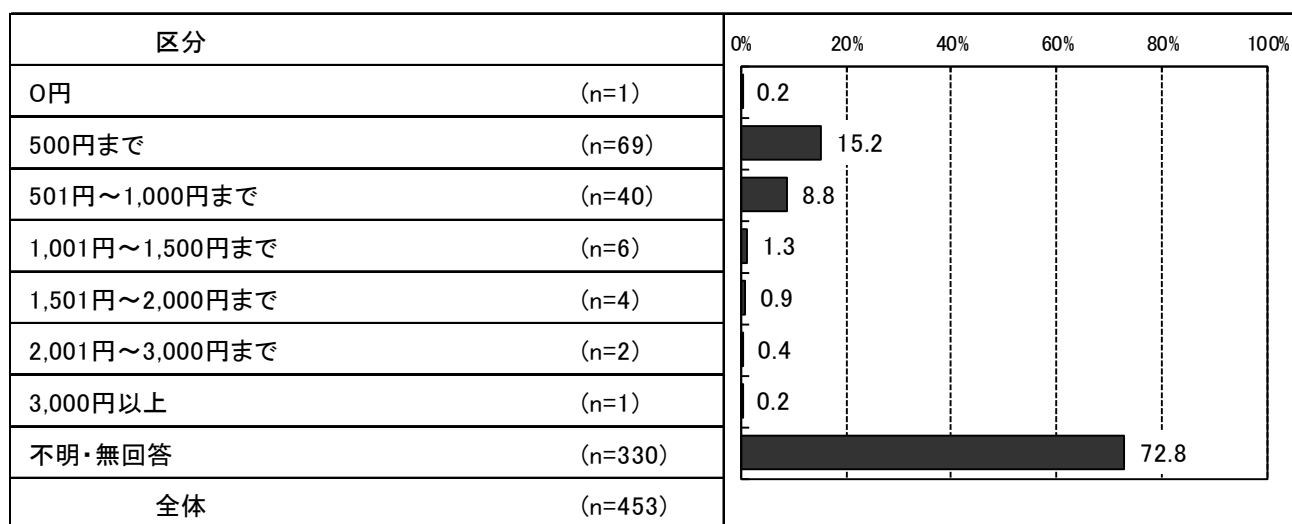
問 26 これまでの介護サービス事業所によるホームヘルプサービスでなく、NPO（特定非営利法人）や地域で営業する民間の企業や商店、住民ボランティアなどが実施する生活援助（家事援助）を受ける場合、1回当たりの自己負担額としていくらぐらいが適切な金額と思いますか。（金額を記入）

■NPOの1回当たりの自己負担額



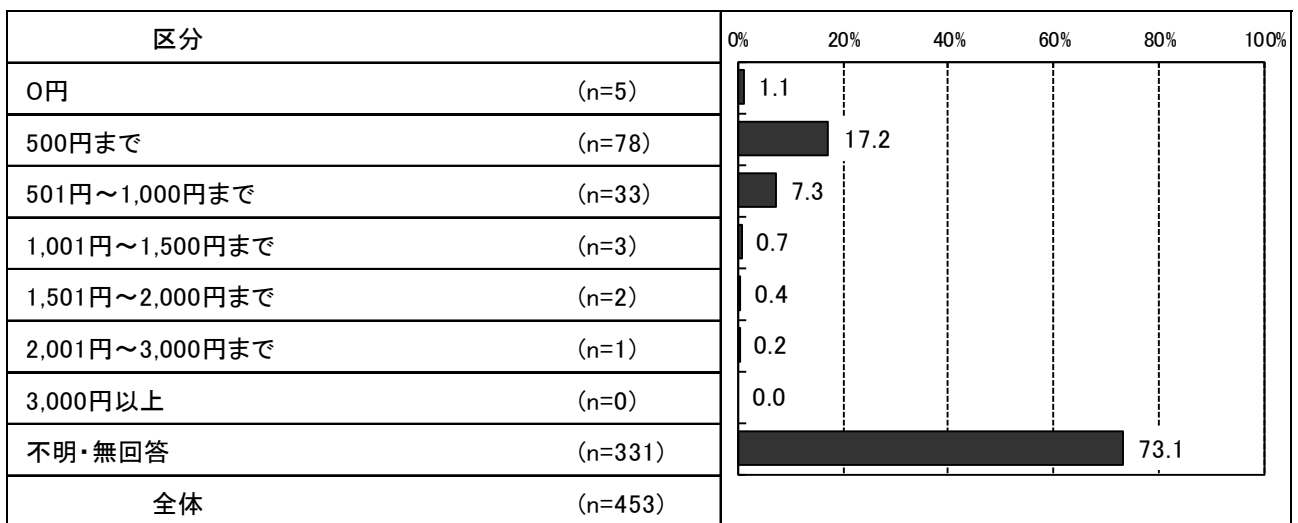
「500円まで」が16.3%で最も多く、次いで「501円～1,000円まで」が11.3%、「1,001円～1,500円まで」が1.1%となっています。

■地域で営業する民間企業や商店など（介護サービス事業所を除く）の1回当たりの自己負担額



「500円まで」が15.2%で最も多く、次いで「501円～1,000円まで」が8.8%、「1,001円～1,500円まで」が1.3%となっています。

■住民ボランティアの1回当たりの自己負担額



「500円まで」が17.2%で最も多く、次いで「501円～1,000円まで」が7.3%、「0円」が1.1%となっています。

4. デイサービス（通所介護）の利用状況について

問 27 あなたはデイサービス（通所介護）を利用していますか。（1つに○）

区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%
利用している (n=271)	59.8					
利用していない (n=160)	35.3					
不明・無回答 (n=22)	4.9					
全体 (n=453)						

「利用している」が 59.8%、「利用していない」が 35.3%となっています。

		(n)	利用して いる	利用して いない	不明・無 回答
全体		453	59.8	35.3	4.9
年齢	40～64 歳	6	50.0	50.0	0.0
	前期高齢者	68	52.9	42.6	4.4
	後期高齢者	373	61.4	33.8	4.8
性別	男性	128	57.0	39.1	3.9
	女性	316	61.4	33.5	5.1
世帯 構成	ひとり暮らし	182	47.8	46.2	6.0
	夫婦のみ	119	58.8	34.5	6.7
	二世帯	103	76.7	21.4	1.9
	その他	35	68.6	31.4	0.0

年齢別にみると、前期高齢者・後期高齢者ともに「利用している」が最も多くなっていますが、後期高齢者のほうが前期高齢者より 8.5 ポイント多くなっています。

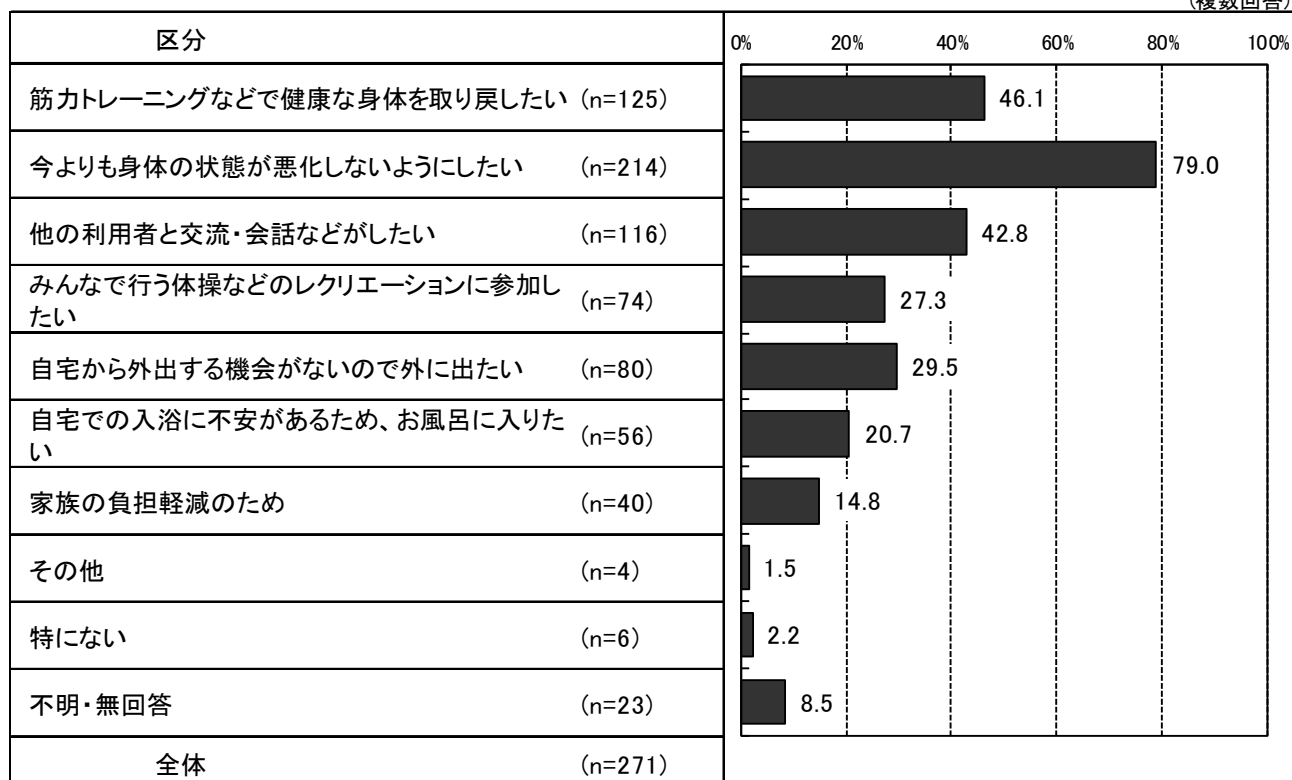
性別では大きな差はみられません。

世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「利用している」が最も多くなっていますが、二世帯は 76.7%に対し、ひとり暮らし世帯は 47.8%と 28.9 ポイントの差がみられます。

※問 28 から問 34 は問 27 で「利用している」を回答した方

問 28 デイサービスを利用している目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「今よりも身体の状態が悪化しないようにしたい」が 79.0%で最も多く、次いで「筋力トレーニングなどで健康な身体を取り戻したい」が 46.1%、「他の利用者との交流・会話などがしたい」が 42.8%となっています。

	(n)	筋力トレーニングなどで健康な身体を取り戻したい	今よりも身体の状態が悪化しないようにしたい	他の利用者と交流・会話などがしたい	みんなで行う体操などのレクリエーションに参加したい	自宅から外出する機会がないので外に出たい	自宅での入浴に不安があるため、お風呂に入りたい	家族の負担軽減のため	その他	特にな	不明・無回答
全体	271	46.1	79.0	42.8	27.3	29.5	20.7	14.8	1.5	2.2	8.5
年齢	40～64歳	3	100.0	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	前期高齢者	36	55.6	69.4	27.8	13.9	25.0	11.1	13.9	0.0	11.1
	後期高齢者	229	44.5	80.3	46.3	30.1	30.1	22.7	14.8	1.7	7.9
性別	男性	73	46.6	72.6	30.1	16.4	27.4	15.1	21.9	0.0	8.2
	女性	194	46.9	82.0	48.5	32.0	30.9	23.2	12.4	2.1	7.7
世帯構成	ひとり暮らし	87	44.8	81.6	49.4	37.9	33.3	29.9	10.3	3.4	8.0
	夫婦のみ	70	52.9	81.4	30.0	18.6	24.3	12.9	17.1	0.0	5.7
	二世帯	79	51.9	82.3	48.1	27.8	35.4	22.8	19.0	0.0	8.9
	その他	24	29.2	62.5	45.8	20.8	20.8	8.3	16.7	4.2	8.3

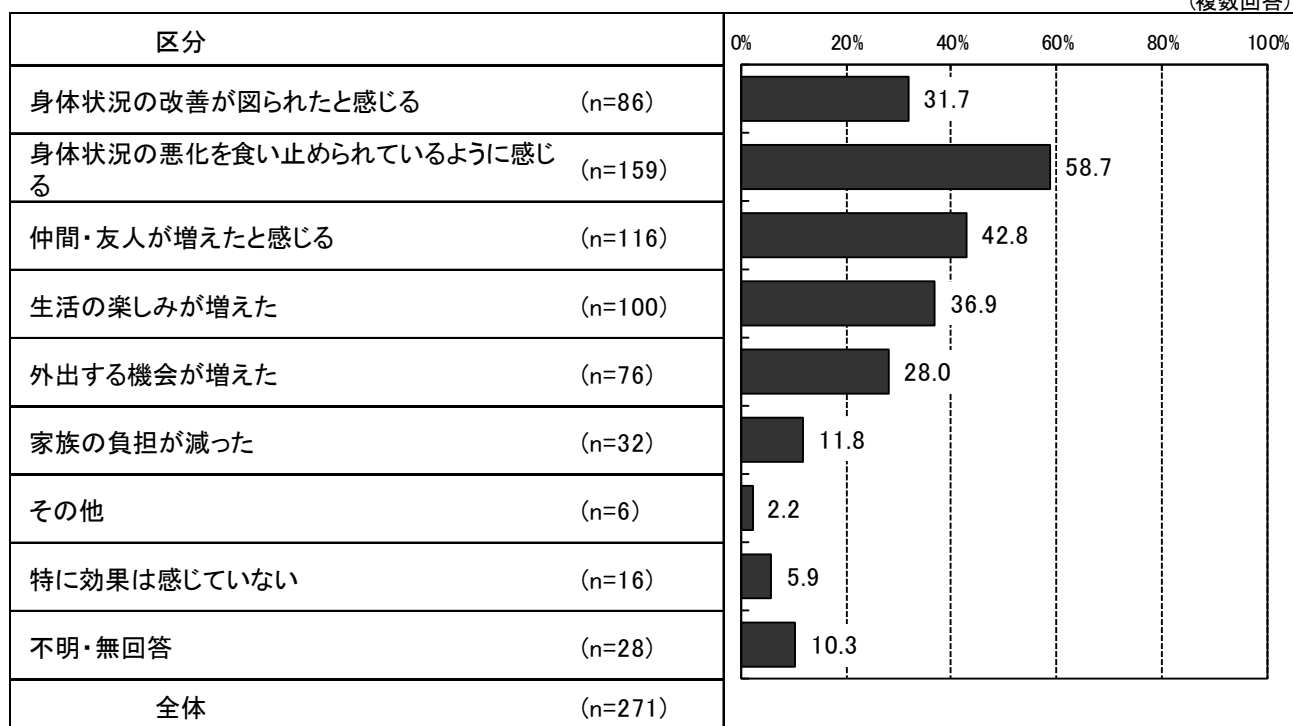
年齢別にみると、「筋力トレーニングなどで健康な身体を取り戻したい」は後期高齢者より前期高齢者のほうが多くなっていますが、そのほかの項目は後期高齢者のほうが多く、「今よりも身体の状態が悪化しないようにしたい」「他の利用者と交流・会話などがしたい」「みんなで行う体操などのレクリエーションに参加したい」の3項目は後期高齢者のほうが10ポイント以上多くなっています。

性別にみると、「家族の負担軽減のため」を除き、すべての項目で男性より女性のほうが多く、特に「他の利用者と交流・会話などがしたい」「みんなで行う体操などのレクリエーションに参加したい」は女性のほうが10ポイント以上多くなっています。

世帯構成別にみると、世帯構成に関わらず「今よりも身体の状態が悪化しないようにしたい」が最も多くなっています。また、夫婦のみ世帯は「他の利用者と交流・会話などがしたい」「みんなで行う体操などのレクリエーションに参加したい」「自宅から外出する機会がないので外に出たい」「自宅での入浴に不安があるため、お風呂に入りたい」がほかの世帯より低くなっています。

問 29 デイサービスを利用して、どのような効果を実感していますか。（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「身体状況の悪化を食い止められているように感じる」が 58.7%で最も多く、次いで「仲間・友人が増えたと感じる」が 42.8%、「生活の楽しみが増えた」が 36.9%となっています。

		(n)	身体状況の改善が図られたと感じる	身体状況の悪化を食い止められているように感じる	仲間・友人が増えたと感じる	生活の楽しみが増えた	外出する機会が増えた	家族の負担が減った	その他	特に効果は感じていない	不明・無回答
全体		271	31.7	58.7	42.8	36.9	28.0	11.8	2.2	5.9	10.3
年齢	40～64 歳	3	66.7	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	前期高齢者	36	25.0	58.3	33.3	19.4	22.2	5.6	0.0	5.6	11.1
	後期高齢者	229	32.8	58.5	45.0	39.7	29.3	12.7	2.6	5.7	10.0
性別	男性	73	24.7	61.6	32.9	27.4	21.9	15.1	0.0	5.5	12.3
	女性	194	35.1	58.8	47.4	41.2	30.9	10.8	3.1	5.7	8.2
居住地区	中央地区	37	27.0	62.2	45.9	40.5	18.9	5.4	0.0	10.8	10.8
	小田地区	47	29.8	66.0	42.6	42.6	27.7	10.6	2.1	8.5	8.5
	大庄地区	27	44.4	55.6	37.0	44.4	22.2	18.5	0.0	3.7	11.1
	立花地区	62	33.9	61.3	43.5	40.3	30.6	12.9	3.2	4.8	9.7
	武庫地区	42	26.2	57.1	38.1	28.6	23.8	9.5	4.8	2.4	7.1
	園田地区	51	35.3	51.0	49.0	29.4	39.2	15.7	2.0	3.9	11.8
世帯構成	ひとり暮らし	87	34.5	57.5	47.1	47.1	33.3	10.3	5.7	6.9	10.3
	夫婦のみ	70	30.0	64.3	37.1	21.4	24.3	11.4	0.0	4.3	7.1
	二世帯	79	34.2	60.8	50.6	43.0	31.6	16.5	1.3	2.5	10.1
	その他	24	33.3	54.2	33.3	33.3	20.8	8.3	0.0	12.5	8.3

年齢別にみると、「仲間・友人が増えたと感じる」「生活の楽しみが増えた」は前期高齢者より後期高齢者のほうが10ポイント以上多くなっています。

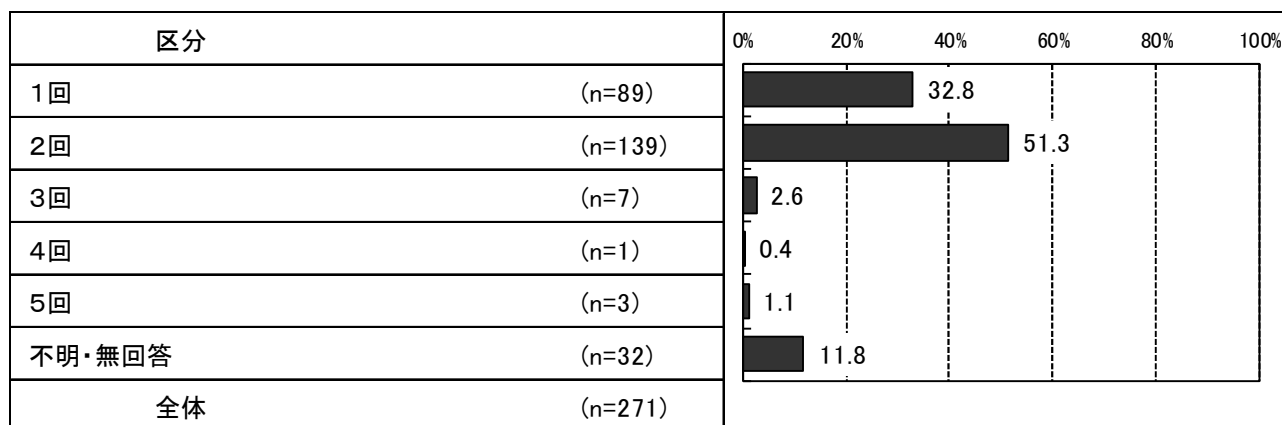
性別にみると、「身体状況の改善が図られたと感じる」「仲間・友人が増えたと感じる」「生活の楽しみが増えた」は男性より女性のほうが10ポイント以上多くなっています。

居住地区別にみると、「身体状況の改善が図られたと感じる」は大庄地区のみ40%台とほかの地区よりも多くなっています。「生活の楽しみが増えた」は武庫地区・園田地区は20%台に対し、そのほかの地区は40%台と回答に差がみられます。「外出する機会が増えた」は中央地区のみ10%台と低くなっています。

世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯は「仲間・友人が増えたと感じる」「生活の楽しみが増えた」がほかの世帯に比べて10ポイント以上低くなっています。

問 30 現在のデイサービスの1週間当たりの利用回数、1回当たりの利用時間(送迎の時間は除きます)をお答えください。(数字を記入)

■ 1週間当たりの利用回数

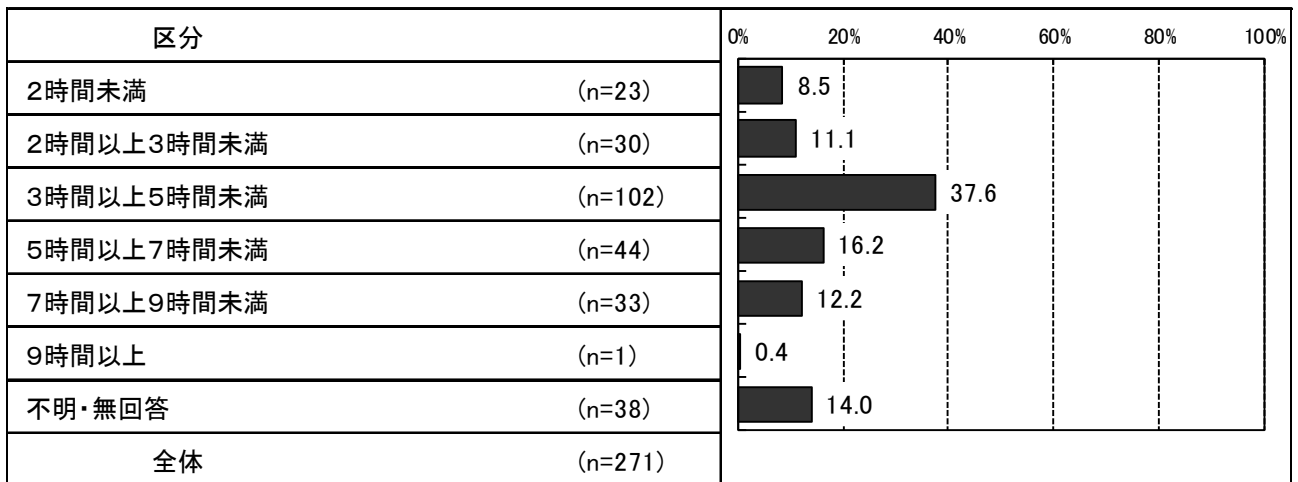


「2回」が51.3%で最も多く、次いで「1回」が32.8%、「3回」が2.6%となっています。

	(n)	1回	2回	3回	4回	5回	不明・無回答	
全体	271	32.8	51.3	2.6	0.4	1.1	11.8	
居住地区	中央地区	37	32.4	43.2	5.4	2.7	0.0	16.2
	小田地区	47	29.8	53.2	4.3	0.0	4.3	8.5
	大庄地区	27	37.0	44.4	7.4	0.0	0.0	11.1
	立花地区	62	19.4	69.4	1.6	0.0	1.6	8.1
	武庫地区	42	38.1	47.6	0.0	0.0	0.0	14.3
	園田地区	51	45.1	43.1	0.0	0.0	0.0	11.8

居住地区別にみると、園田地区は「1回」、そのほかの地区は「2回」がそれぞれ最も多くなっています。また、立花地区は「2回」が69.4%とほかの地区より10ポイント以上多くなっています。

■ 1回当たり利用時間



「3時間以上5時間未満」が37.6%で最も多く、次いで「5時間以上7時間未満」が16.2%、「7時間以上9時間未満」が12.2%となっています。

		(n)	2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上5時間未満	5時間以上7時間未満	7時間以上9時間未満	9時間以上	不明・無回答
全体		271	8.5	11.1	37.6	16.2	12.2	0.4	14.0
年齢	40～64歳	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	前期高齢者	36	8.3	11.1	61.1	2.8	5.6	0.0	11.1
	後期高齢者	229	8.7	11.4	33.6	17.9	13.5	0.4	14.4
日中独居	よくある	86	4.7	11.6	37.2	17.4	14.0	1.2	14.0
	たまにある	64	10.9	4.7	51.6	20.3	4.7	0.0	7.8
	ない	19	15.8	21.1	31.6	10.5	5.3	0.0	15.8

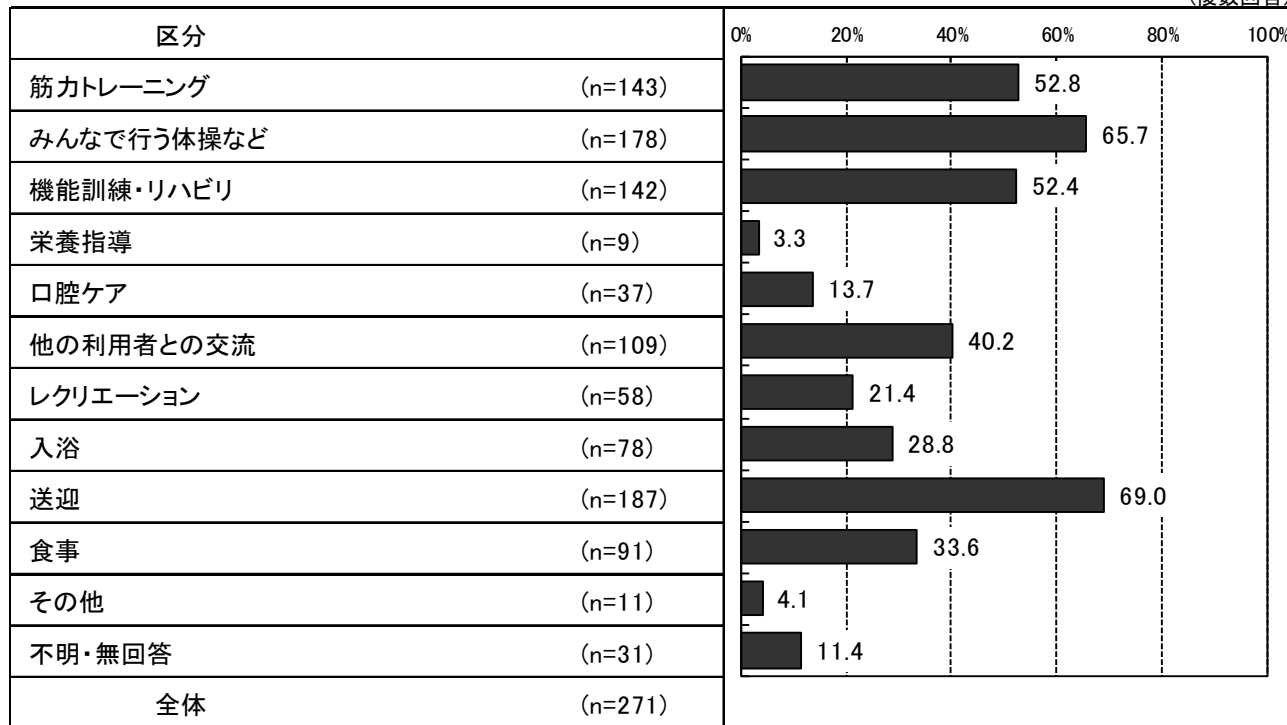
年齢別にみると、どの年代も「3時間以上5時間未満」が最も多くなっていますが、後期高齢者は33.6%と低くなっています。また、後期高齢者は「5時間以上7時間未満」「7時間以上9時間未満」が10%台とほかの年代よりも多くなっています。

日中独居別にみると、日中独居の状況に関わらず「3時間以上5時間未満」が最も多くなっていますが、たまにある人は50%台と多くなっています。また、日中独居がよくある人は“5時間以上（「5時間以上7時間未満」と「7時間以上9時間未満」と「9時間以上」）”が3割に対し、日中独居がない人は“3時間未満（「2時間未満」と「2時間以上3時間未満」の計）”が3割となっています。

問 31 デイサービスのうち、受けているサービスすべてに○をつけてください。また、利用しているサービス中で主に利用している内容1つに○をつけてください。

■利用しているサービス（あてはまるものすべてに○）

(複数回答)



「送迎」が 69.0%で最も多く、次いで「みんなで行う体操など」が 65.7%、「筋力トレーニング」が 52.8%となっています。

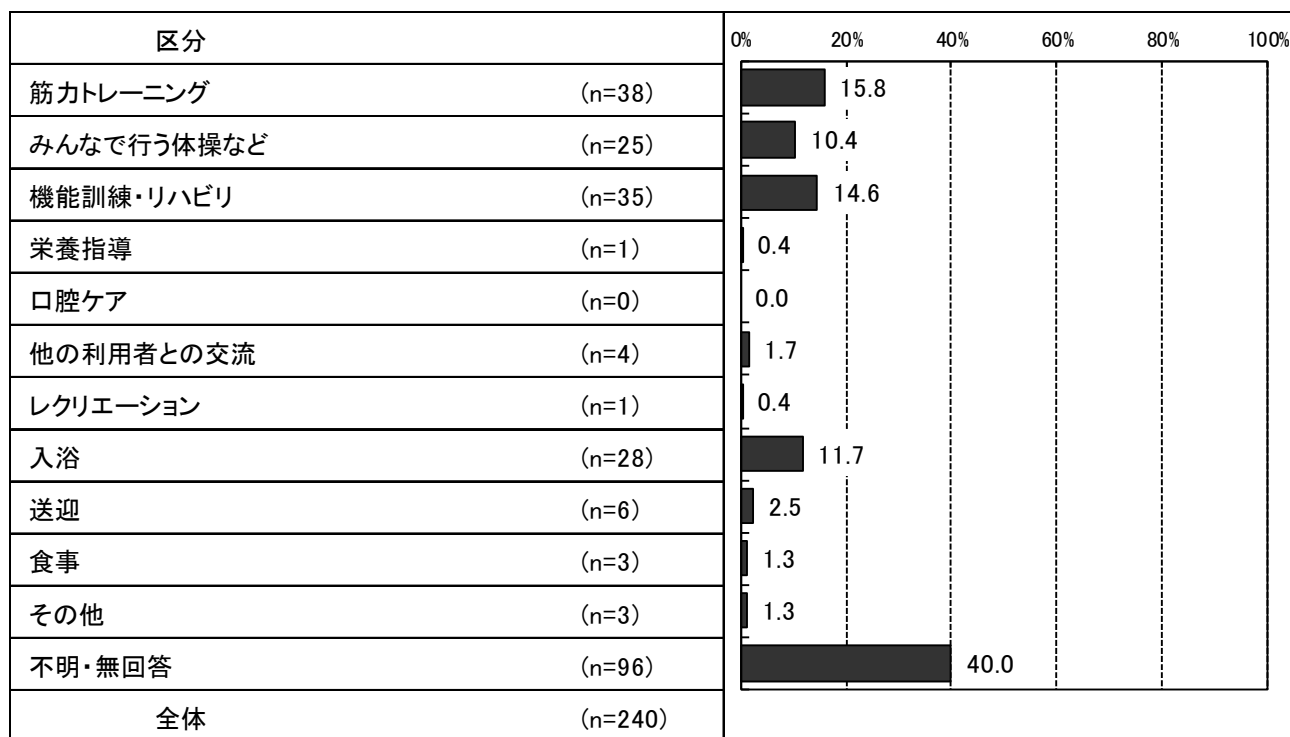
	(n)	筋力トレーニング	みんなで 行う体操など	機能訓練・ リハビリ	栄養指導	口腔ケア	他の利用者との 交流	レクリエーション	入浴	送迎	食事	その他	不明・無回答	
全体	271	52.8	65.7	52.4	3.3	13.7	40.2	21.4	28.8	69.0	33.6	4.1	11.4	
年齢	40～64 歳	3	100.0	100.0	100.0	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	100.0	0.0	33.3	0.0
	前期高齢者	36	63.9	55.6	58.3	0.0	5.6	27.8	5.6	16.7	63.9	11.1	0.0	13.9
	後期高齢者	229	51.1	67.2	51.5	3.9	14.4	42.4	24.0	30.6	69.9	37.1	4.4	10.9
性別	男性	73	57.5	60.3	50.7	1.4	15.1	31.5	13.7	23.3	64.4	21.9	5.5	13.7
	女性	194	52.1	68.6	54.1	4.1	13.4	44.3	24.7	30.9	71.6	38.1	3.6	9.8
居住地区	中央地区	37	59.5	64.9	45.9	5.4	13.5	40.5	16.2	29.7	73.0	40.5	2.7	10.8
	小田地区	47	42.6	61.7	46.8	0.0	6.4	38.3	27.7	29.8	70.2	38.3	2.1	10.6
	大庄地区	27	51.9	70.4	55.6	3.7	14.8	40.7	25.9	29.6	59.3	33.3	3.7	11.1
	立花地区	62	69.4	54.8	61.3	6.5	9.7	43.5	14.5	30.6	66.1	24.2	3.2	12.9
	武庫地区	42	59.5	81.0	64.3	0.0	7.1	47.6	26.2	23.8	71.4	31.0	7.1	7.1
	園田地区	51	37.3	70.6	43.1	3.9	31.4	31.4	21.6	27.5	72.5	35.3	5.9	13.7

年齢別にみると、前期高齢者は「筋力トレーニング」と「送迎」、後期高齢者は「送迎」がそれぞれ最も多くなっています。また、後期高齢者は「みんなで行う体操など」「他の利用者との交流」「レクリエーション」「入浴」「食事」が前期高齢者より10ポイント以上多くなっています。

性別にみると、女性は「他の利用者との交流」「レクリエーション」「入浴」「食事」が男性より10ポイント以上多くなっています。

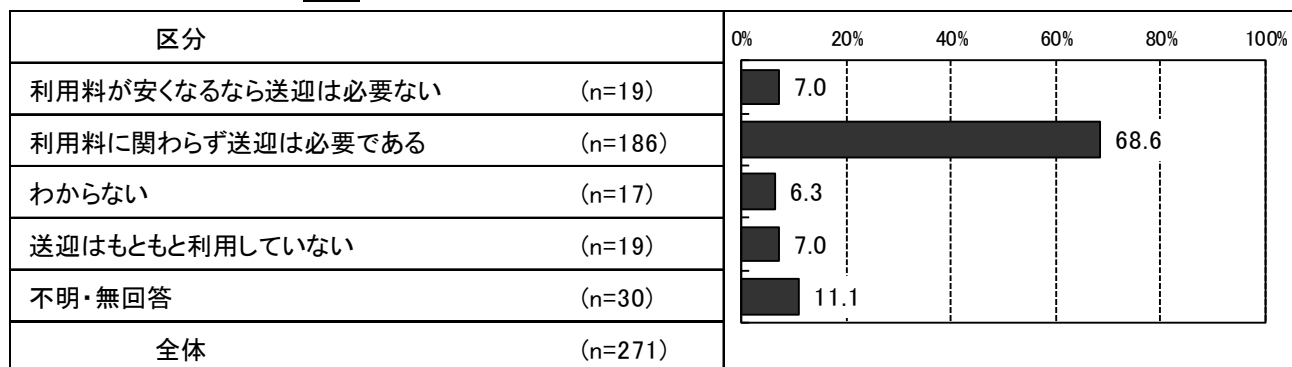
居住地区別にみると、大庄地区・武庫地区は「みんなで行う体操など」、立花地区は「筋力トレーニング」、そのほかの地区は「送迎」がそれぞれ最も多くなっています。

■利用しているサービスのうち、主に利用している内容（1つに○）



「筋力トレーニング」が 15.8%で最も多く、次いで「機能訓練・リハビリ」が 14.6%、「入浴」が 11.7% となっています。

問 32 デイサービスで、送迎を利用しない場合は1割程度利用料が安くなるとしたら、あなたは送迎を利用しますか。(1つに○)



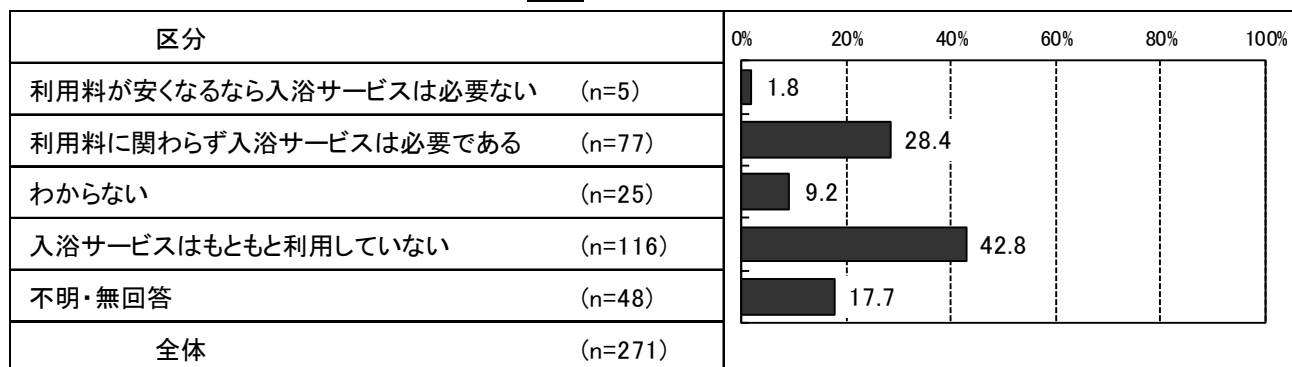
「利用料に関わらず送迎は必要である」が68.6%で最も多く、次いで「利用料が安くなるなら送迎は必要ない」と「送迎はもともと利用していない」がともに7.0%となっています。

	(n)	利用料が安くなるなら送迎は必要ない	利用料に関わらず送迎は必要である	わからない	送迎はもともと利用していない	不明・無回答
全体	271	7.0	68.6	6.3	7.0	11.1
年齢	40～64歳	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	前期高齢者	36	13.9	63.9	11.1	2.8
	後期高齢者	229	5.7	69.4	5.7	7.9
世帯構成	ひとり暮らし	87	12.6	65.5	4.6	6.9
	夫婦のみ	70	2.9	75.7	8.6	10.0
	二世帯	79	5.1	72.2	5.1	6.3
	その他	24	4.2	62.5	4.2	4.2

年齢別にみると、「利用料が安くなるなら送迎は必要ない」は前期高齢者で13.9%と後期高齢者より8.2ポイント多くなっています。

世帯構成別にみると、「利用料が安くなるなら送迎は必要ない」はひとり暮らし世帯のみ10%台となっています。また、「送迎はもともと利用していない」は夫婦のみの世帯のみ10%台となっています。

問 33 デイサービスで、入浴サービスを利用しない場合は1割程度利用料が安くなるとしたら、あなたは入浴サービスを利用しますか。(1つに○)



「入浴サービスはもともと利用していない」が42.8%で最も多く、次いで「利用料に関わらず入浴サービスは必要である」が28.4%、「わからない」が9.2%となっています。

		(n)	利用料が 安くなるな ら入浴サ ービスは 必要ない	利用料に 関わらず 入浴サー ビスは必 要である	わからな い	入浴サー ビスはも ともと利 用してい ない	不明・無 回答
全体		271	1.8	28.4	9.2	42.8	17.7
年齢	40～64 歳	3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
	前期高齢者	36	0.0	19.4	11.1	52.8	16.7
	後期高齢者	229	1.7	29.7	8.7	41.9	17.9
居住地区	中央地区	37	2.7	29.7	2.7	48.6	16.2
	小田地区	47	0.0	25.5	12.8	36.2	25.5
	大庄地区	27	0.0	29.6	3.7	44.4	22.2
	立花地区	62	3.2	32.3	12.9	35.5	16.1
	武庫地区	42	2.4	16.7	9.5	57.1	14.3
	園田地区	51	2.0	33.3	9.8	43.1	11.8
世帯構成	ひとり暮らし	87	1.1	35.6	8.0	37.9	17.2
	夫婦のみ	70	2.9	24.3	10.0	51.4	11.4
	二世帯	79	2.5	26.6	8.9	46.8	15.2
	その他	24	0.0	20.8	8.3	41.7	29.2
日中独居	よくある	86	1.2	32.6	8.1	45.3	12.8
	たまにある	64	4.7	20.3	10.9	46.9	17.2
	ない	19	0.0	10.5	5.3	63.2	21.1

年齢別にみると、「利用料に関わらず入浴サービスは必要である」は後期高齢者で 29.7%と前期高齢者よりも 10.3 ポイント多くなっています。

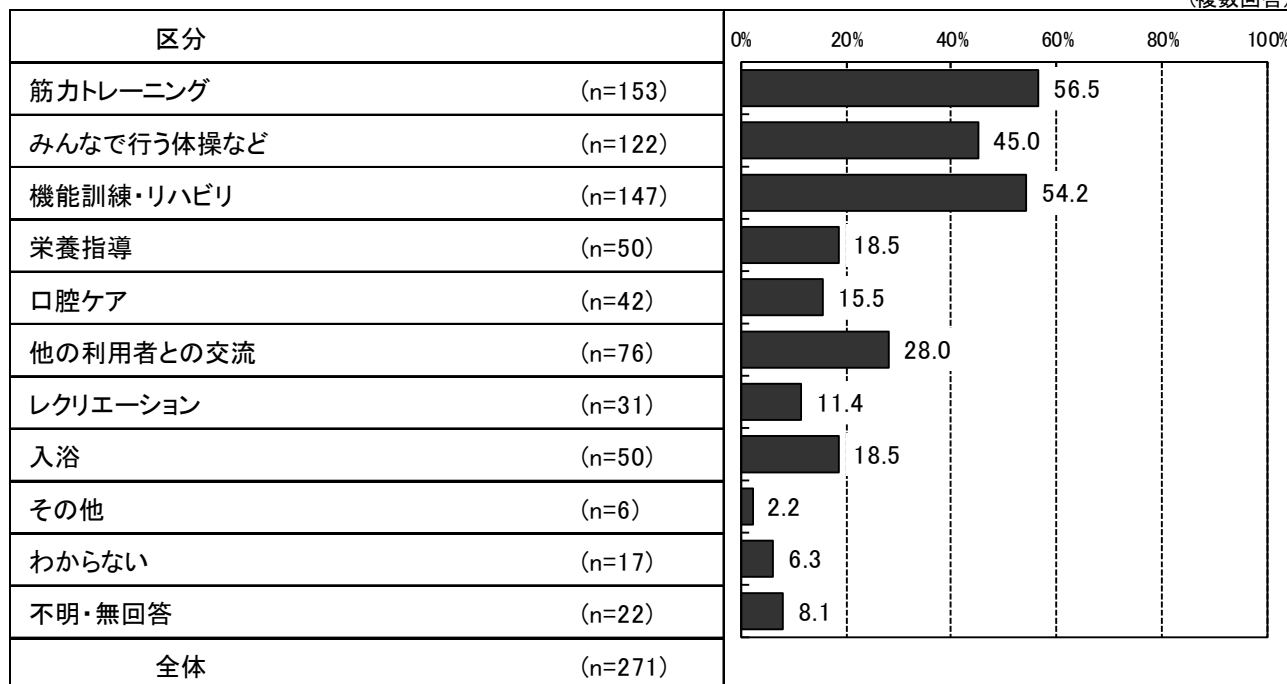
居住地区別にみると、どの地区も「入浴サービスはもともと利用していない」が最も多く、特に武庫地区は半数を超えて多くなっています。また、「利用料に関わらず入浴サービスは必要である」は武庫地区のみ 10%台と低くなっています。

世帯構成別にみると、「利用料に関わらず入浴サービスは必要である」はひとり暮らし世帯のみ 30%台となっています。

日中独居別にみると、「利用料に関わらず入浴サービスは必要である」は日中独居がよくあると答えた人のみ 30%台となっています。

問 34 家事などをすべて自分でできるようになったり、今よりも身体の状況の悪化を防ぐためには、どのような内容が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「筋力トレーニング」が56.5%で最も多く、次いで「機能訓練・リハビリ」が54.2%、「みんなで行う体操など」が45.0%となっています。

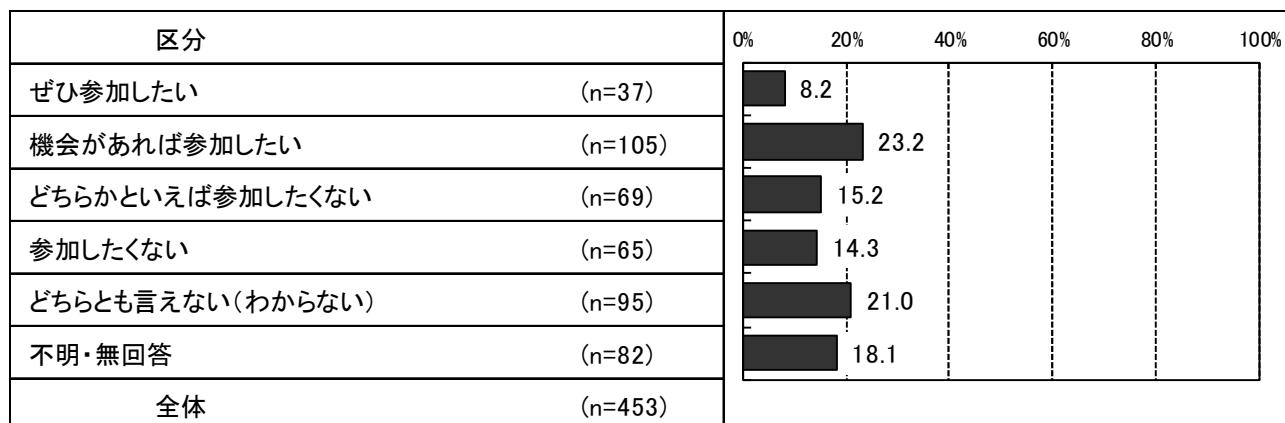
	(n)	筋力トレーニング	みんなで 行う 体操など	機能訓練・リハ ビリ	栄養指導	口腔 ケア	他の利用者 との交流	レクリエー ション	入浴	その他	わからない	不明・無 回答
全体	271	56.5	45.0	54.2	18.5	15.5	28.0	11.4	18.5	2.2	6.3	8.1
年齢	40～64歳	3	100.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	前期高齢者	36	66.7	30.6	75.0	5.6	5.6	16.7	2.8	2.8	2.8	5.6
	後期高齢者	229	55.0	47.6	51.1	21.0	16.6	30.6	13.1	21.0	2.2	6.6
性別	男性	73	61.6	37.0	49.3	9.6	16.4	30.1	11.0	17.8	1.4	5.5
	女性	194	55.7	47.9	57.2	22.2	15.5	27.8	11.9	19.1	2.6	6.2
世帯構成	ひとり暮らし	87	57.5	49.4	62.1	32.2	17.2	36.8	19.5	23.0	1.1	4.6
	夫婦のみ	70	64.3	41.4	62.9	14.3	12.9	28.6	8.6	18.6	2.9	4.3
	二世帯	79	57.0	45.6	50.6	10.1	21.5	21.5	7.6	16.5	3.8	8.9
	その他	24	45.8	41.7	33.3	12.5	4.2	16.7	8.3	12.5	0.0	12.5

年齢別にみると、前期高齢者は「筋力トレーニング」「機能訓練・リハビリ」が後期高齢者より10ポイント以上多く、後期高齢者はそのほかの項目において前期高齢者よりも10ポイント以上多くなっています。

性別にみると、男性は「筋力トレーニング」、女性は「機能訓練・リハビリ」が最も多くなっています。また、女性は「みんなでを行う体操」「栄養指導」が男性より10ポイント以上多くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「機能訓練・リハビリ」、そのほかの世帯は「筋力トレーニング」がそれぞれ最も多くなっています。また、ひとり暮らし世帯は「栄養指導」「レクリエーション」がほかの世帯より10ポイント以上多くなっています。

問 35 身近な場所に地域住民などが集まる交流の場（ふれあいサロンなど）があれば、参加したいと思いますか。（1つに○）



「機会があれば参加したい」が 23.2%で最も多く、次いで「どちらとも言えない（わからない）」が 21.0%、「どちらかといえば参加したくない」が 15.2%となっています。

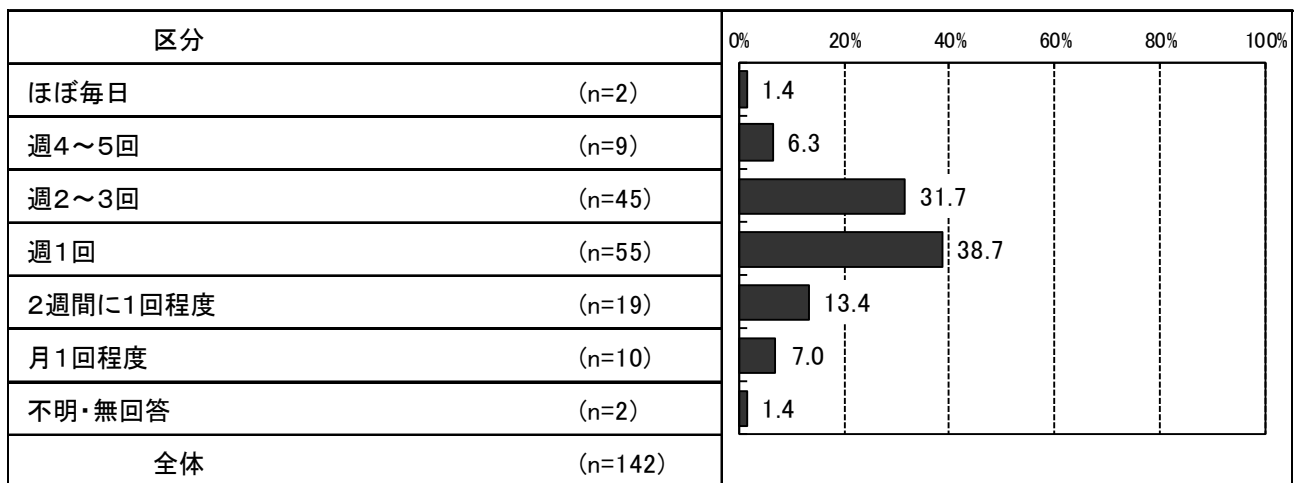
		(n)	ぜひ参加 したい	機会があ れば参加 したい	どちらか といえば 参加した くない	参加した くない	どちらとも 言えない (わから ない)	不明・無 回答
全体		453	8.2	23.2	15.2	14.3	21.0	18.1
年齢	40～64 歳	6	0.0	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
	前期高齢者	68	10.3	20.6	22.1	17.6	17.6	11.8
	後期高齢者	373	7.8	23.9	13.9	13.4	21.7	19.3
居住地区	中央地区	60	8.3	26.7	15.0	13.3	13.3	23.3
	小田地区	75	5.3	21.3	18.7	9.3	26.7	18.7
	大庄地区	53	9.4	20.8	11.3	17.0	18.9	22.6
	立花地区	104	8.7	26.9	14.4	18.3	19.2	12.5
	武庫地区	68	10.3	22.1	7.4	13.2	26.5	20.6
	園田地区	82	7.3	20.7	22.0	14.6	20.7	14.6

年齢別にみると、前期高齢者は「どちらかといえば参加したくない」、後期高齢者は「機会があれば参加したい」がそれぞれ最も多くなっています。

居住地区別にみると、中央地区・大庄地区・立花地区は「機会があれば参加したい」、小田地区・武庫地区は「どちらとも言えない（わからない）」、園田地区は「どちらかといえば参加したくない」がそれぞれ最も多くなっています。また、「ぜひ参加したい」は武庫地区のみ 10%台となっています。

※問 35 で「ぜひ参加したい」もしくは「機会があれば参加したい」を回答した方

問 36 交流の場（ふれあいサロン）について、どれぐらいの頻度で参加したいと思いますか。（1つに○）

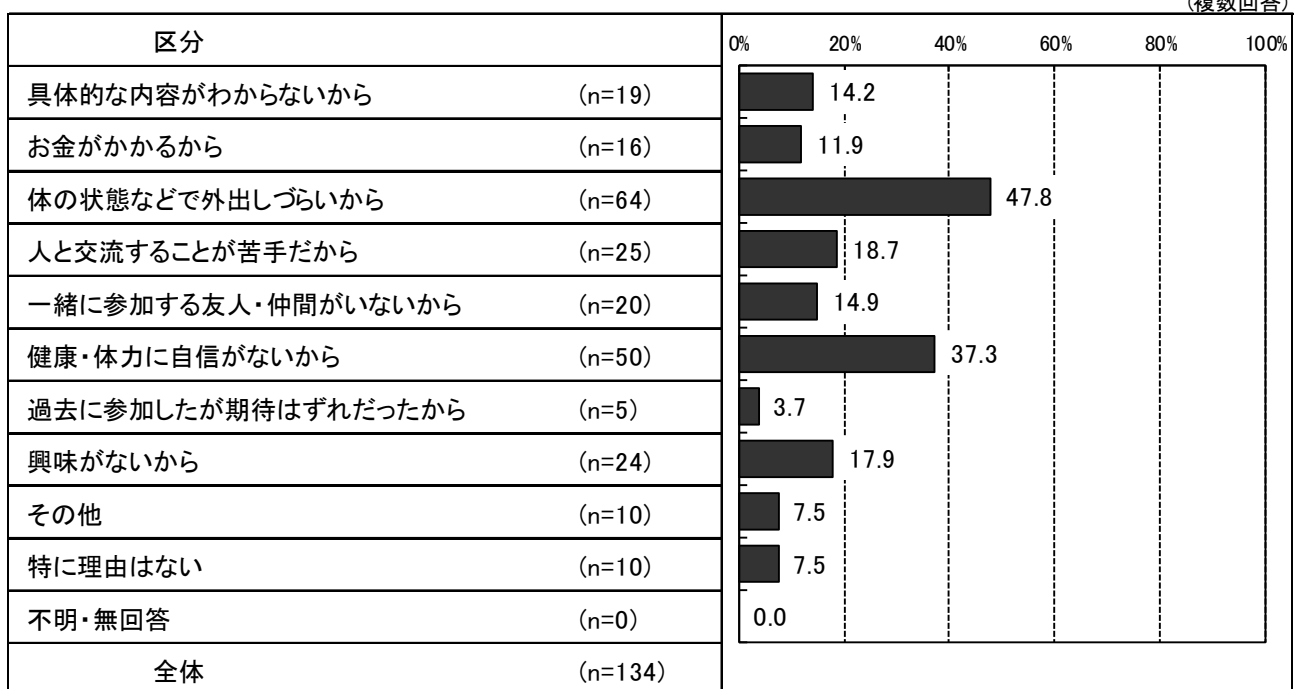


「週1回」が38.7%で最も多く、次いで「週2～3回」が31.7%、「2週間に1回程度」が13.4%となっています。

※問 35 で「どちらかといえば参加したくない」もしくは「参加したくない」を回答した方

問 37 参加したくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

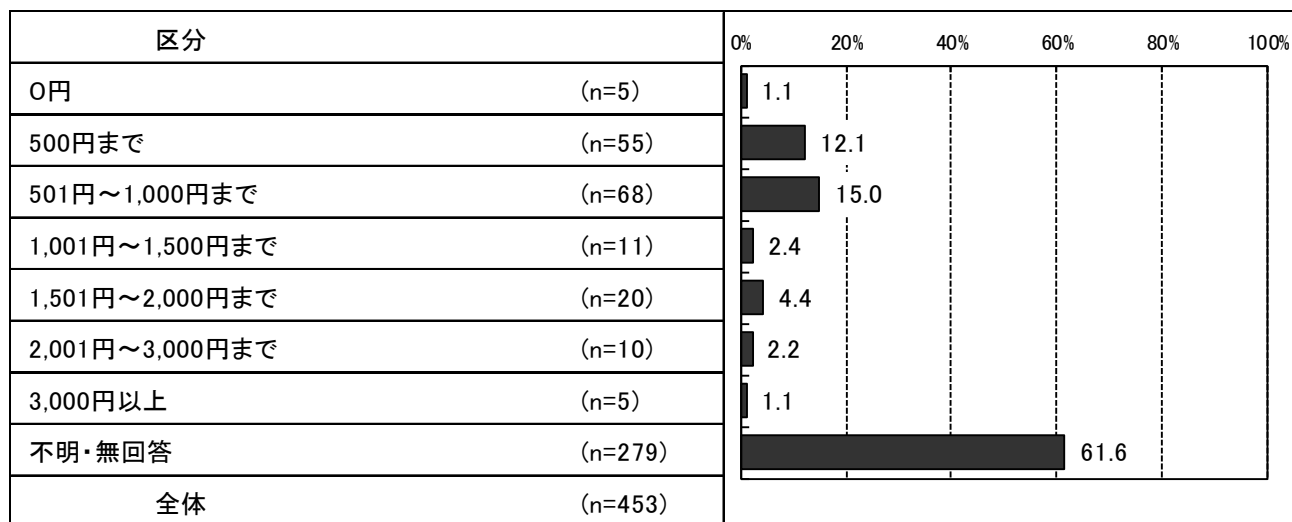
(複数回答)



「体の状態などで外出しづらいから」が47.8%で最も多く、次いで「健康・体力に自信がないから」が37.3%、「人と交流することが苦手だから」が18.7%となっています。

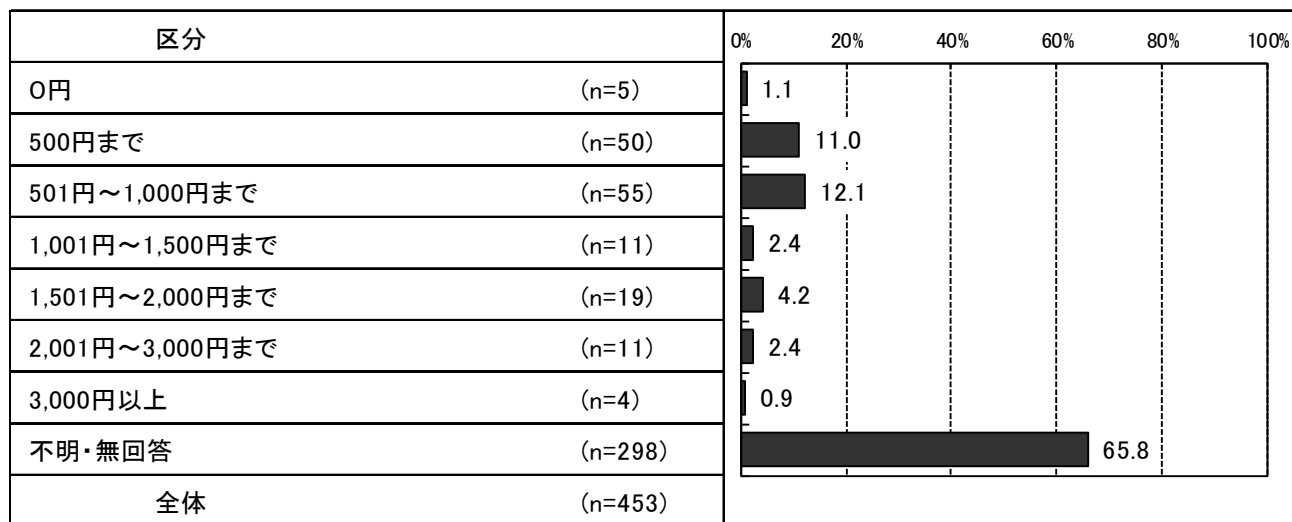
問 38 これまでの介護サービス事業所によるデイサービスでなく、NPO（特定非営利法人）や地域で営業する民間の企業や商店、住民ボランティアなどが運営する通いの場を利用する場合、1回当たりの金額としていくぐらいが適切な金額と思いますか。（金額を記入）

■NPOの1回当たりの自己負担額



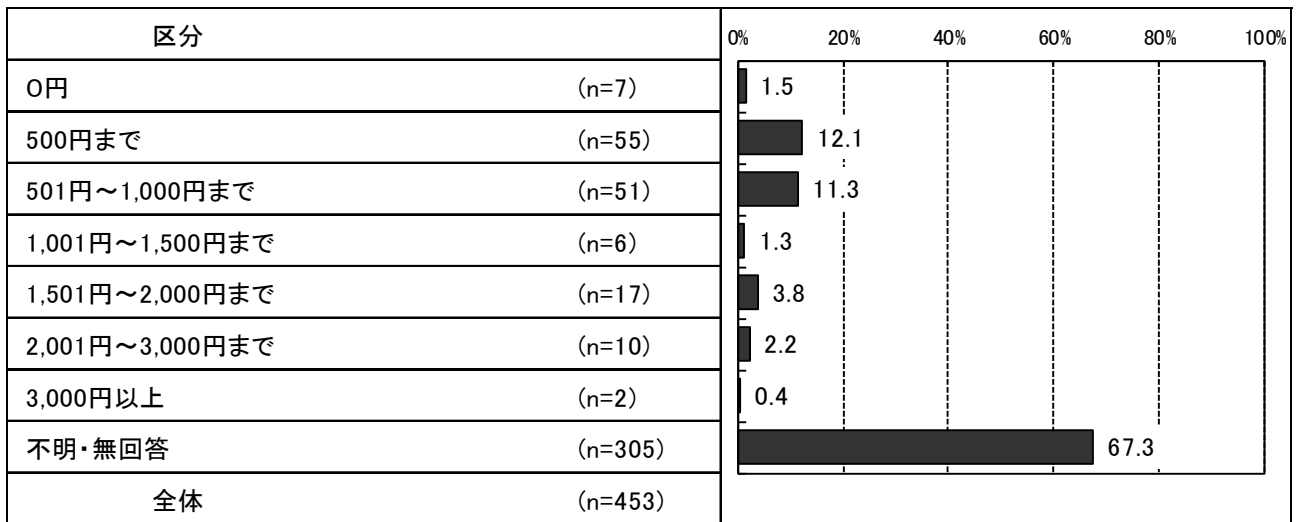
「501円～1,000円まで」が15.0%で最も多く、次いで「500円まで」が12.1%、「1,501円～2,000円まで」が4.4%となっています。

■地域で営業する民間企業や商店など（介護サービス事業所を除く）の1回当たりの自己負担額



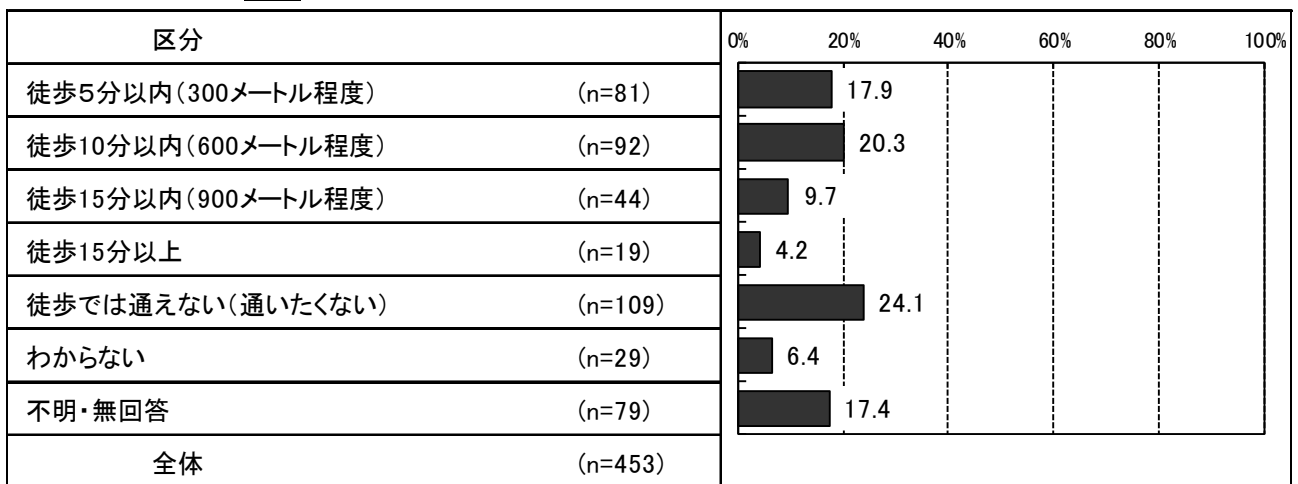
「501円～1,000円まで」が12.1%で最も多く、次いで「500円まで」が11.0%、「1,501円～2,000円まで」が4.2%となっています。

■住民ボランティアの1回当たりの自己負担額



「500円まで」が12.1%で最も多く、次いで「501円～1,000円まで」が11.3%、「1,501円～2,000円まで」が3.8%となっています。

問39 デイサービスや地域の通いの場へご自身の足で通う場合、おおよそどれぐらいの範囲までなら通えますか。(1つに○)



「徒歩では通えない(通いたくない)」が24.1%で最も多く、次いで「徒歩10分以内(600メートル程度)」が20.3%、「徒歩5分以内(300メートル程度)」が17.9%となっています。

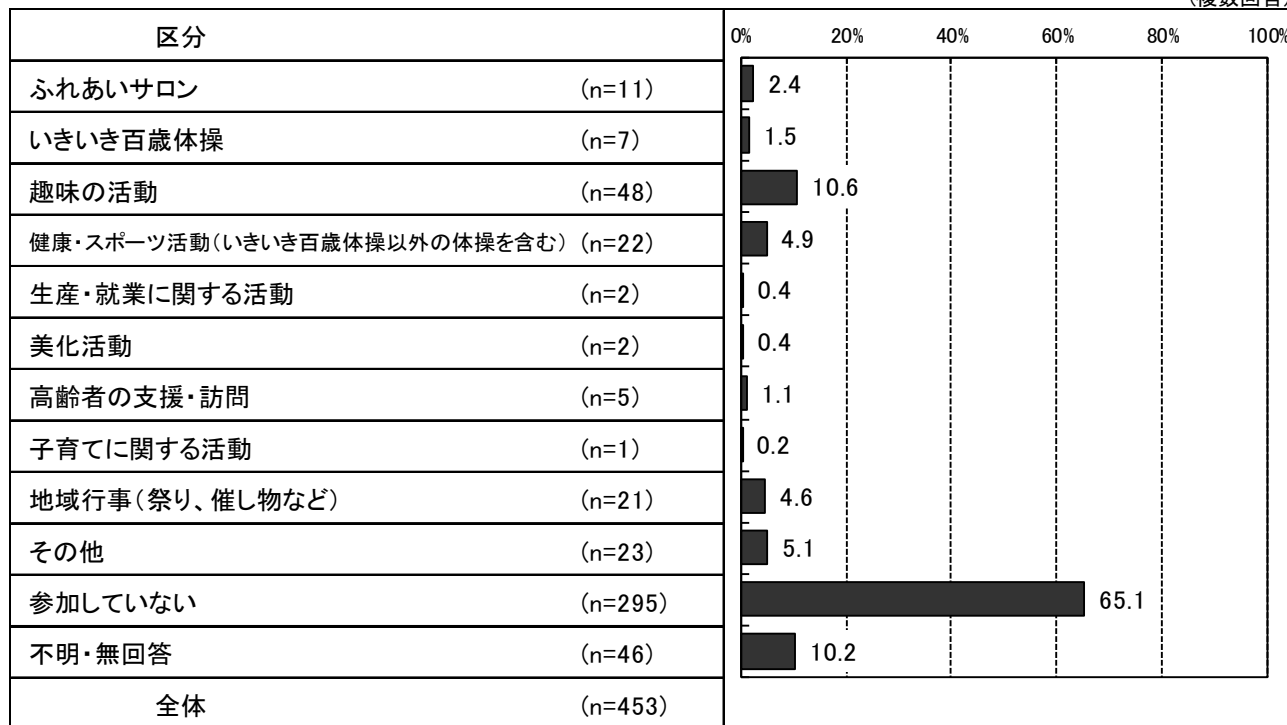
	(n)	徒歩5分以内(300メートル程度)	徒歩10分以内(600メートル程度)	徒歩15分以内(900メートル程度)	徒歩15分以上	徒歩では通えない(通いたくない)	わからない	不明・無回答
全体	453	17.9	20.3	9.7	4.2	24.1	6.4	17.4
性別								
男性	128	20.3	15.6	5.5	5.5	32.8	4.7	15.6
女性	316	17.4	22.5	11.7	3.5	20.6	7.0	17.4

性別にみると、男性は「徒歩では通えない(通いたくない)」、女性は「徒歩10分以内(600メートル程度)」が最も多く、また「徒歩では通えない(通いたくない)」は男性のほうが女性より12.2ポイント多くなっています。

5. 身近な活動への参加について

問 40 あなたは、定期的に友人・知人、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)

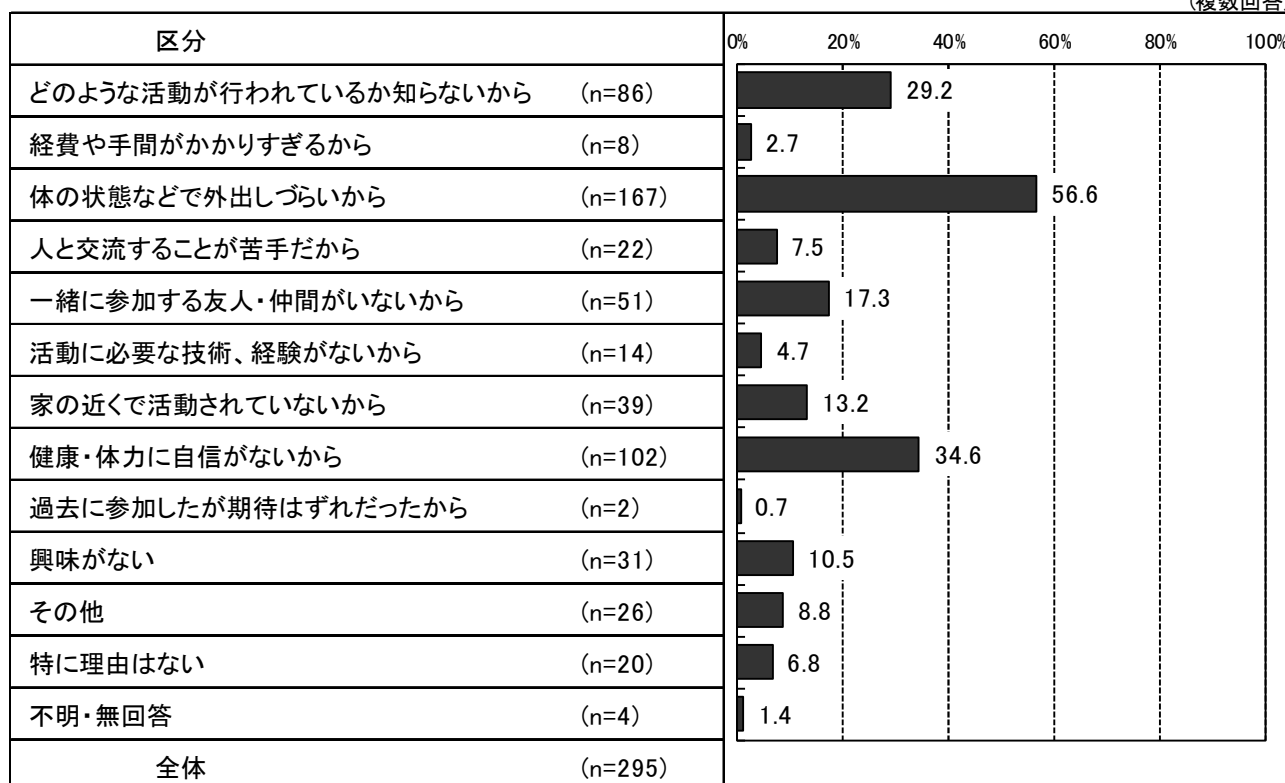


「参加していない」が65.1%で最も多く、次いで「趣味の活動」が10.6%、「その他」が5.1%となっています。

※問 41 は問 40 で「参加していない」を回答した方

問 41 地域活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

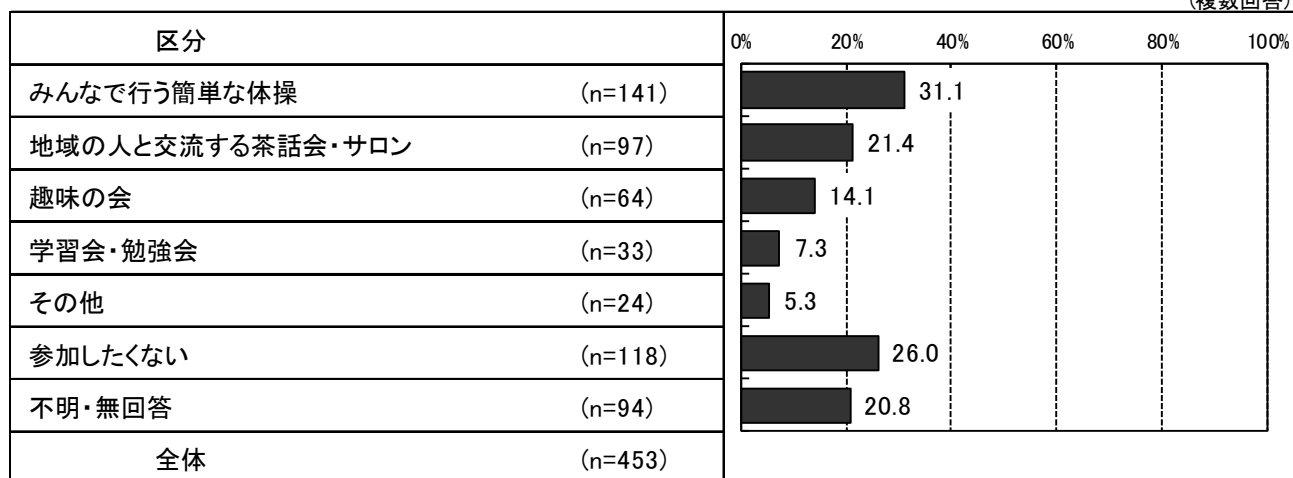
(複数回答)



「体の状態などで外出しづらいから」が 56.6%で最も多く、次いで「健康・体力に自信がないから」が 34.6%、「どのような活動が行われているか知らないから」が 29.2%となっています。

問 42 あなたのお住まいの地域などにどのような集いの場があれば定期的に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「みんなで行う簡単な体操」が31.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が26.0%、「地域の人と交流する茶話会・サロン」が21.4%となっています。

	(n)	みんなで 行う簡単 な体操	地域の人 と交流す る茶話 会・サロン	趣味の会	学習会・ 勉強会	その他	参加したく ない	不明・無 回答	
全体	453	31.1	21.4	14.1	7.3	5.3	26.0	20.8	
性別	男性	128	23.4	18.8	12.5	4.7	4.7	33.6	19.5
	女性	316	34.5	22.5	14.6	8.5	5.7	22.8	21.2
居住地区	中央地区	60	21.7	28.3	13.3	3.3	6.7	21.7	28.3
	小田地区	75	29.3	16.0	13.3	10.7	4.0	28.0	18.7
	大庄地区	53	49.1	17.0	22.6	9.4	1.9	18.9	18.9
	立花地区	104	27.9	25.0	10.6	7.7	2.9	26.0	23.1
	武庫地区	68	27.9	16.2	14.7	5.9	11.8	25.0	22.1
	園田地区	82	34.1	23.2	11.0	6.1	6.1	32.9	14.6

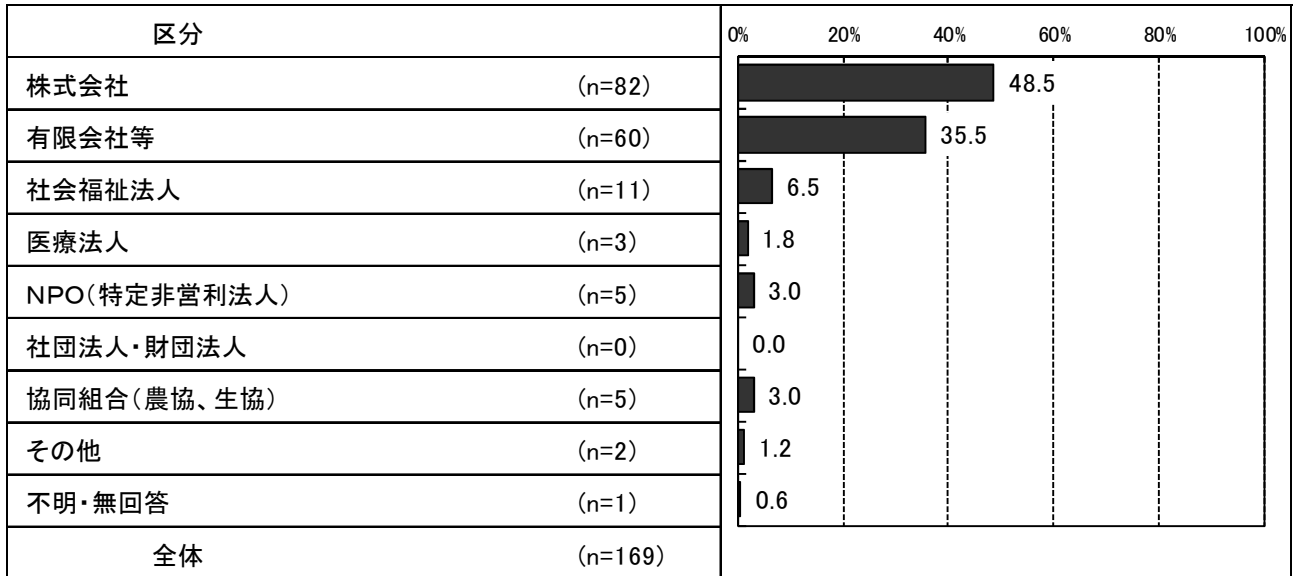
性別にみると、男性は「参加したくない」、女性は「みんなで行う簡単な体操」が最も多くなっています。

居住地区別にみると、中央地区は「地域の人と交流する茶話会・サロン」、そのほかの地区は「みんなで行う簡単な体操」がそれぞれ最も多くなっています。また、大庄地区は「みんなで行う簡単な体操」「趣味の会」がほかの地区に比べて多く、「参加したくない」がほかの地区に比べて低くなっています。「参加したくない」は園田地区のみ30%台となっています。

第3章 「②訪問介護事業所調査」の結果

1. 事業所の状況について

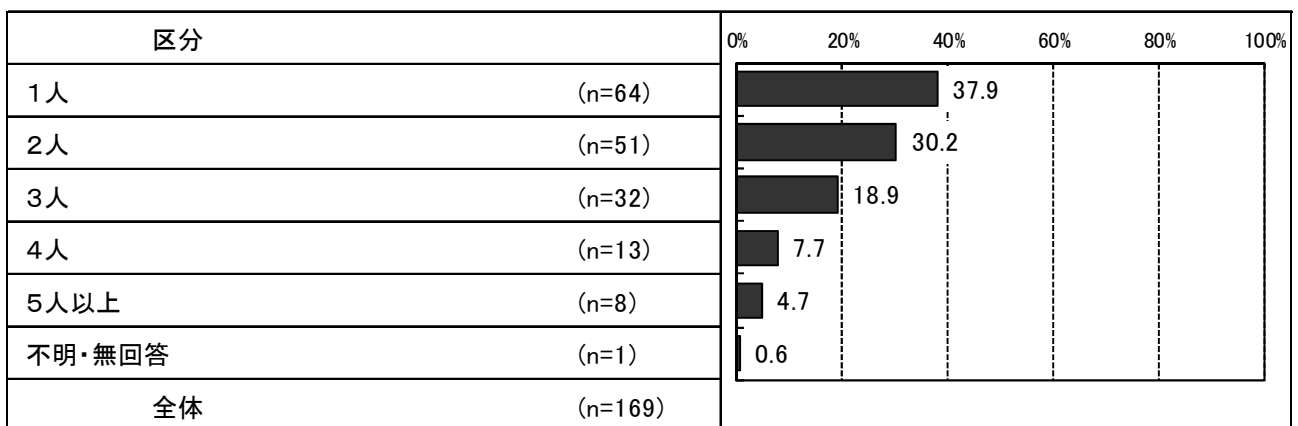
問1 貴事業所が属する法人の種類は何ですか。(1つに○)



「株式会社」が48.5%で最も多く、次いで「有限会社等」が35.5%、「社会福祉法人」が6.5%となっています。

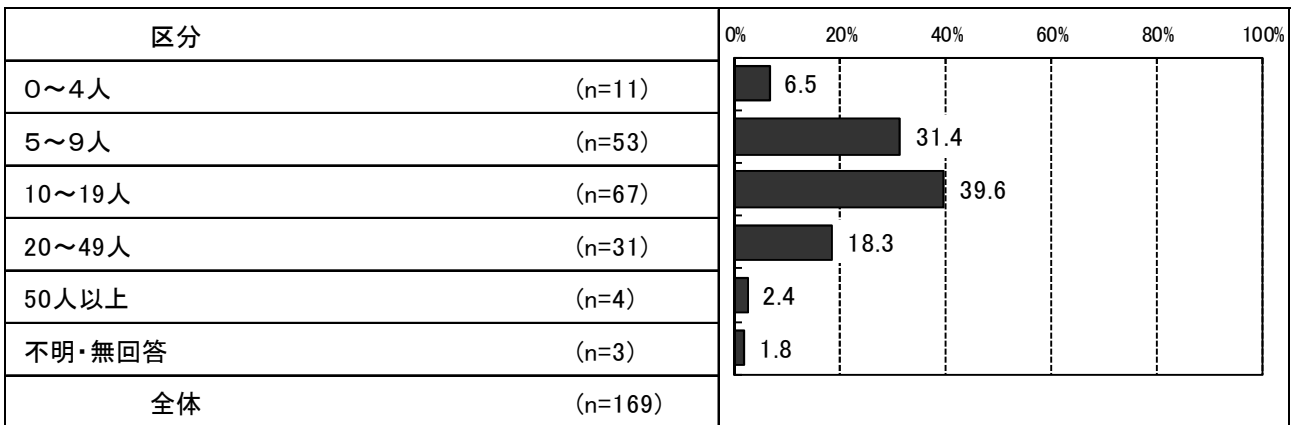
問2 貴事業所で訪問介護事業に携わるそれぞれの職員は何人ですか。(人数を記入)

■サービス提供責任者



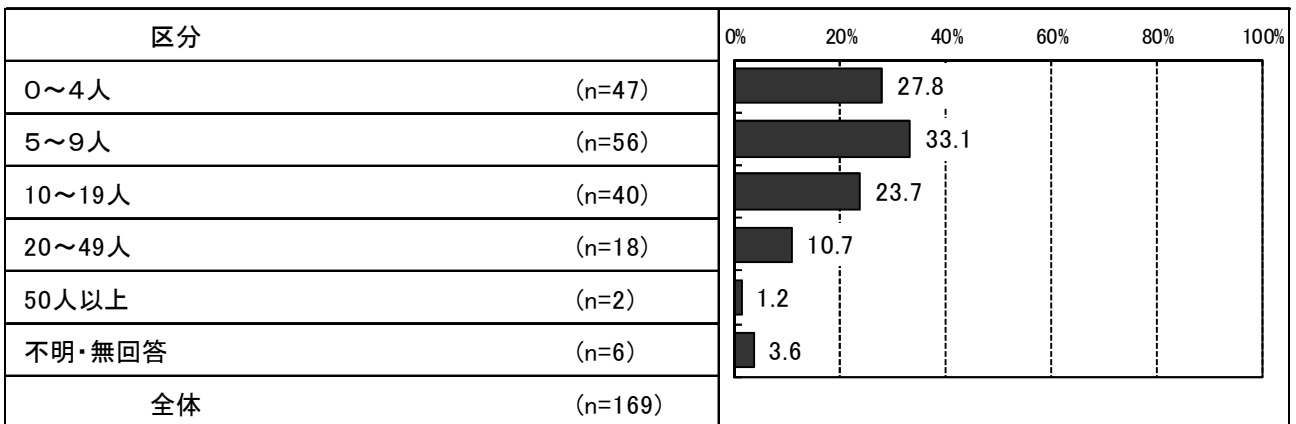
「1人」が37.9%で最も多く、次いで「2人」が30.2%、「3人」が18.9%となっています。平均は2.2人となっています。

■訪問介護員



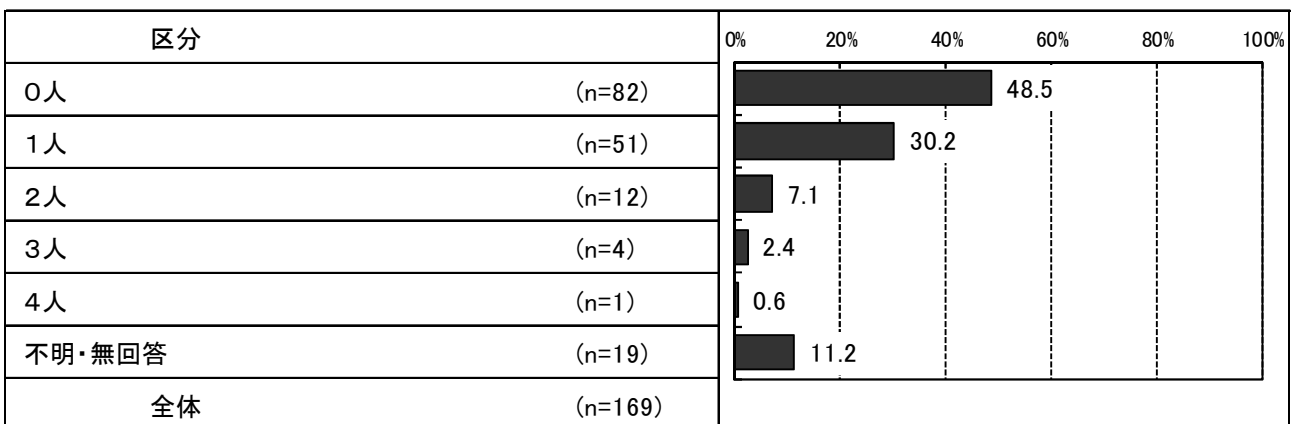
「10~19人」が39.6%で最も多く、次いで「5~9人」が31.4%、「20~49人」が18.3%となっています。平均は14.7人となっています。

■うち登録による訪問介護員



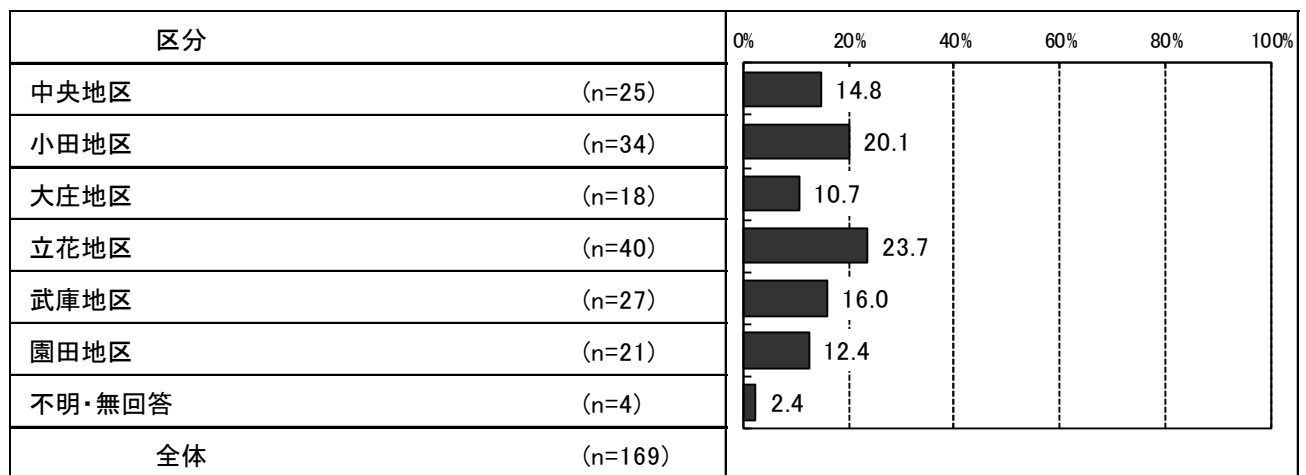
「5~9人」が33.1%で最も多く、次いで「0~4人」が27.8%、「10~19人」が23.7%となっています。平均は10.5人となっています。

■その他事務職員等（管理者を除く）



「0人」が48.5%で最も多く、次いで「1人」が30.2%、「2人」が7.1%となっています。平均は0.6人となっています。

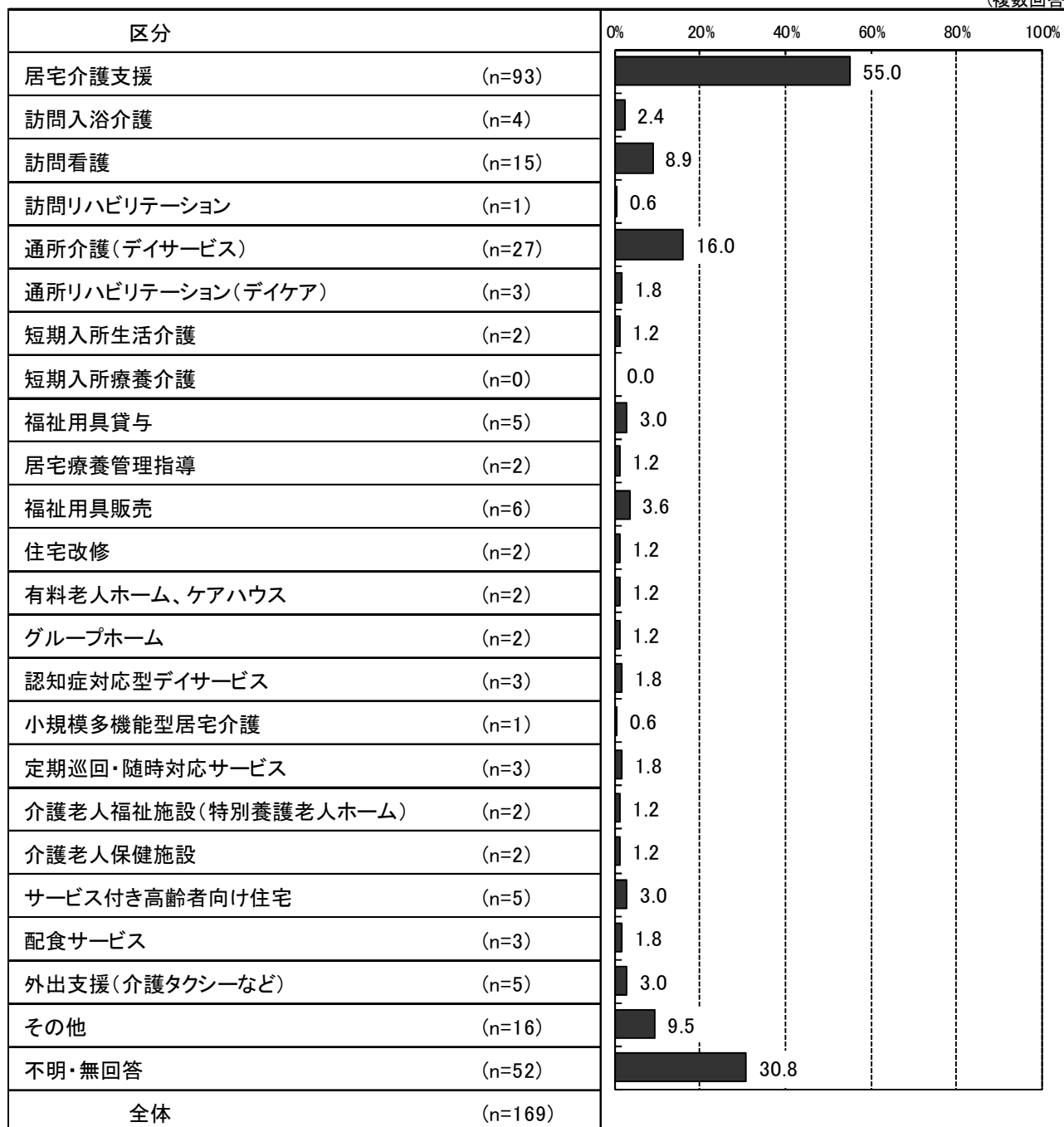
問3 貴事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。(1つに〇)



「立花地区」が23.7%で最も多く、次いで「小田地区」が20.1%、「武庫地区」が16.0%となっています。

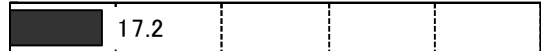
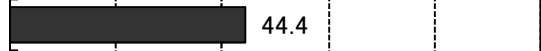
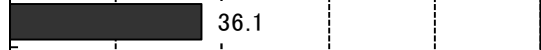

問4 貴事業所にて訪問介護・介護予防訪問介護以外に提供されているサービスすべてに○をつけてください。(※以下のサービスには予防給付を含みます)

(複数回答)



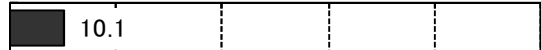
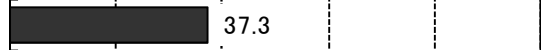

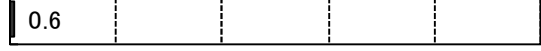
「居宅介護支援」が55.0%で最も多く、次いで「通所介護(デイサービス)」が16.0%、「訪問看護」が8.9%となっています。

問5 貴事業所の平成27年4月以降の収支状況についてお答えください。(1つに○)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
黒字	(n=29)						
概ね均衡	(n=75)						
赤字	(n=61)						
不明・無回答	(n=4)						
全体	(n=169)						

「概ね均衡」が44.4%で最も多く、次いで「赤字」が36.1%、「黒字」が17.2%となっています。

問6 従業員の確保状況について、お答えください。(1つに○)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
常に充足している	(n=17)						
一時的に不足している	(n=63)						
常に不足している	(n=88)						
不明・無回答	(n=1)						
全体	(n=169)						

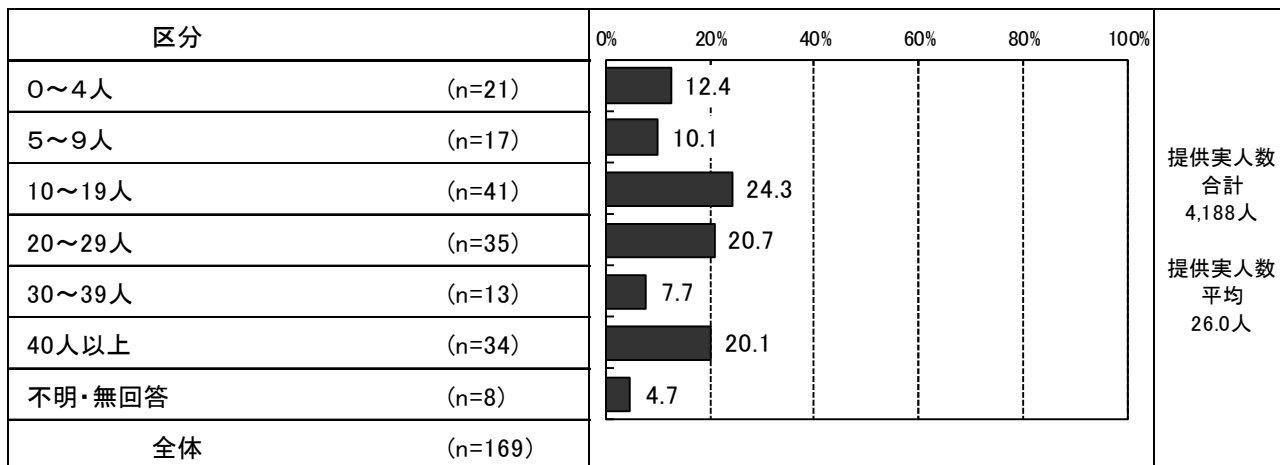
「常に不足している」が52.1%で最も多く、次いで「一時的に不足している」が37.3%、「常に充足している」が10.1%となっています。

2. 訪問介護・介護予防訪問介護のサービス提供状況について

問7 訪問介護・介護予防訪問介護の提供状況について、平成28年1月の提供実人数や生活援助の提供人数など、以下の①から⑧の設問について、それぞれ人数でお答えください。

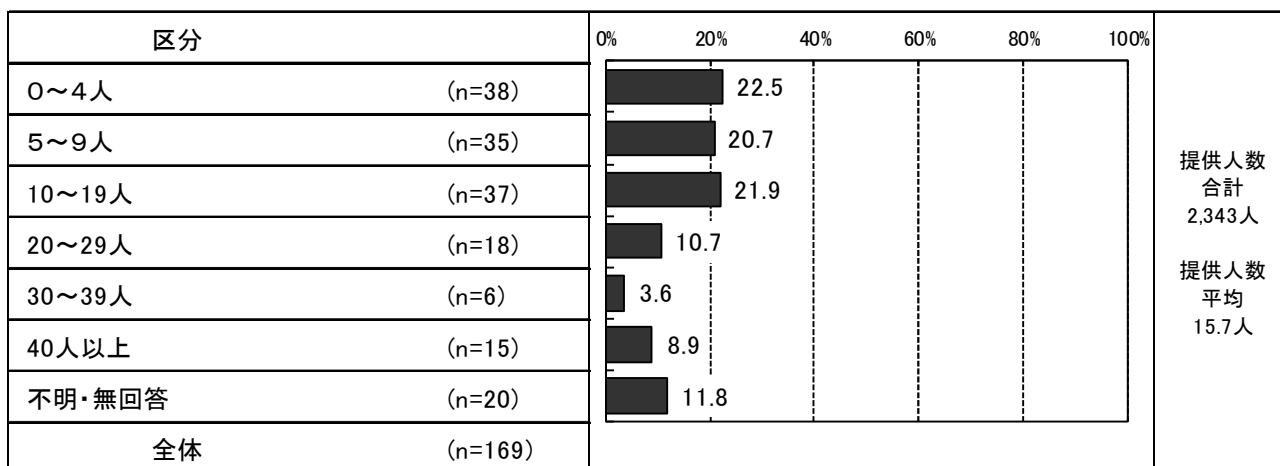
1) 訪問介護の提供状況

①訪問介護の1か月あたりの提供実人数



「10～19人」が24.3%で最も多く、次いで「20～29人」が20.7%、「40人以上」が20.1%となっています。訪問介護の提供実人数の合計は4,188人で、1事業所あたりの提供実人数は平均で26.0人となっています。

②「①訪問介護の提供実人数」における生活援助の提供人数



「0～4人」が22.5%で最も多く、次いで「10～19人」が21.9%、「5～9人」が20.7%となっています。生活援助の提供人数の合計は2,343人で、1事業所あたりの提供人数は平均で15.7人となっています。

③ 「①訪問介護の提供実人数」における身体介護の提供人数

区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
0～4人 (n=32)							提供人数 合計 2,301人 提供人数 平均 15.4人
5～9人 (n=31)							
10～19人 (n=49)							
20～29人 (n=14)							
30～39人 (n=12)							
40人以上 (n=11)							
不明・無回答 (n=20)							
全体 (n=169)							

「10～19人」が29.0%で最も多く、次いで「0～4人」が18.9%、「5～9人」が18.3%となっています。身体介護の提供人数の合計は2,301人で、1事業所あたりの提供人数は平均で15.4人となっています。

「①訪問介護の提供実人数」における「②生活援助」と「③身体介護」の提供人数と割合

区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%
生活援助の提供人数 (n=2,343)						
身体介護の提供人数 (n=2,301)						
訪問介護の提供実人数合計 (n=4,188)						

訪問介護の提供実人数に回答いただいた161事業所（「不明・無回答」8事業所）が提供している訪問介護の実人数の合計は4,188人であり、うち「生活援助」の提供人数は2,343人（55.9%）、「身体介護」の提供人数は2,301人（54.9%）となっています。

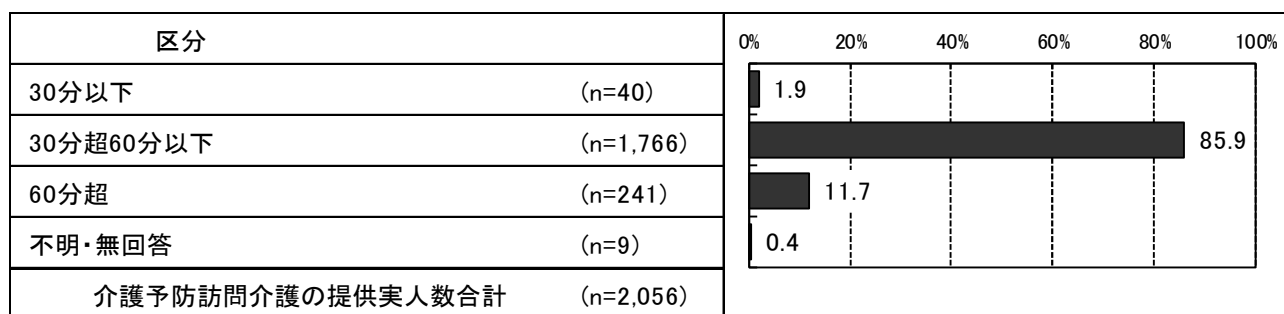
2) 介護予防訪問介護の提供状況

④介護予防訪問介護の1か月あたりの提供実人数

区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
0～4人 (n=54)							提供実人数 合計 2,056人 提供実人数 平均 13.0人
5～9人 (n=32)							
10～19人 (n=39)							
20～29人 (n=15)							
30～39人 (n=10)							
40人以上 (n=8)							
不明・無回答 (n=11)							
全体 (n=169)							

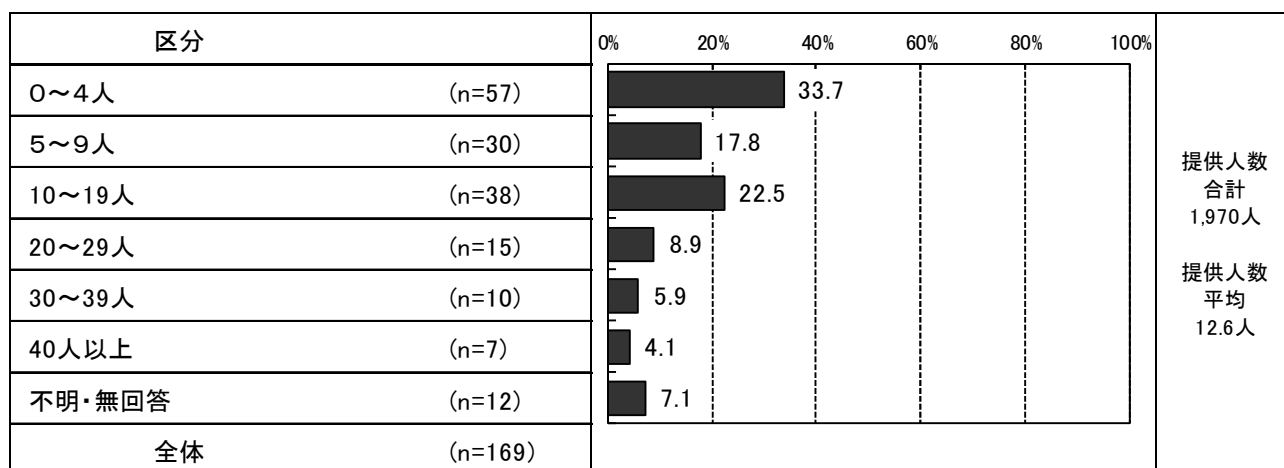
「0～4人」が32.0%で最も多く、次いで「10～19人」が23.1%、「5～9人」が18.9%となっています。介護予防訪問介護の提供実人数の合計は2,056人で、1事業所あたりの提供実人数は平均で13.0人となっています。

⑤介護予防訪問介護の提供時間



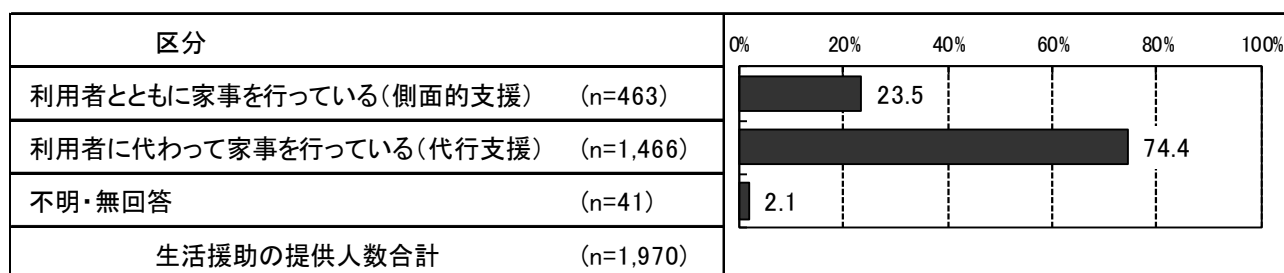
「30分超60分以下」が85.9%で最も多く、次いで「60分超」が11.7%、「30分以下」が1.9%となっています。

⑥「④介護予防訪問介護の提供実人数」における生活援助の提供人数



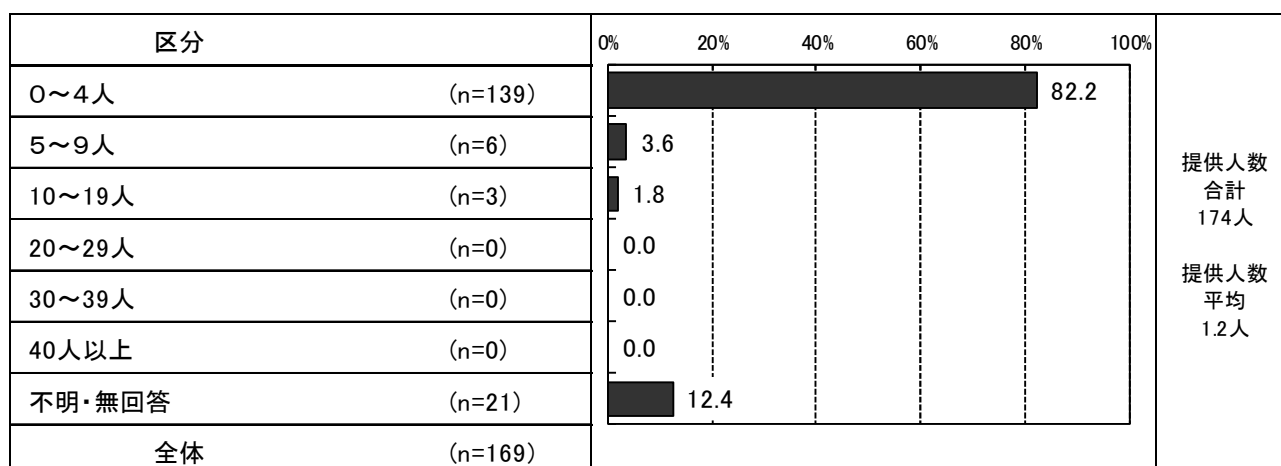
「0~4人」が33.7%で最も多く、次いで「10~19人」が22.5%、「5~9人」が17.8%となっています。生活援助の提供人数の合計は1,970人で、1事業所あたりの提供人数は平均で12.6人となっています。

⑦生活援助の利用者に対する主な関わり方



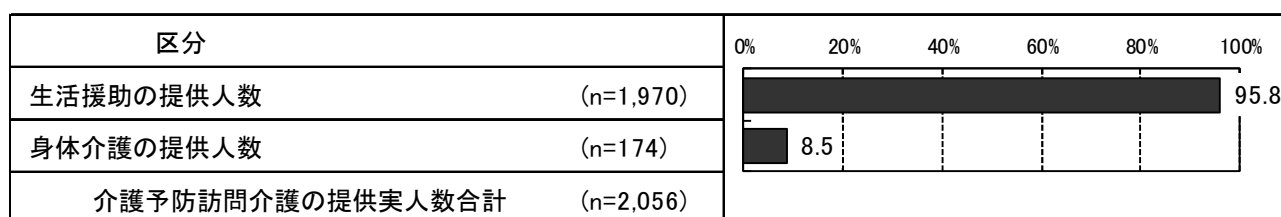
「利用者に代わって家事を行っている(代行支援)」が74.4%、「利用者とともに家事を行っている(側面的支援)」が23.5%となっています。

⑧ 「④介護予防訪問介護の提供実人数」における身体介護の提供人数



「0～4人」が82.2%で最も多く、次いで「5～9人」が3.6%、「10～19人」が1.8%となっています。身体介護の提供人数の合計は174人で、1事業所あたりの提供人数は平均で1.2人となっています。

「④介護予防訪問介護の提供実人数」における「⑥生活援助」と「⑧身体介護」の提供人数と割合



介護予防訪問介護の提供実人数に回答いただいた159事業所（「不明・無回答」11事業所）が提供している介護予防訪問介護の実人数の合計は2,056人であり、うち「生活援助」の提供人数は1,970人（95.8%）、「身体介護」の提供人数は174人（8.5%）となっています。

問8 訪問介護・介護予防訪問介護の提供について、現在提供している人数よりも多く受け入れる余力はありますか。また、余力がある場合は、何人程度受入が可能か人数でお答えください。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
十分に余力はある	(n=21)	12.4					
やや余力はある	(n=73)	43.2					
余力はない	(n=52)	30.8					
不明・無回答	(n=23)	13.6					
全体	(n=169)						

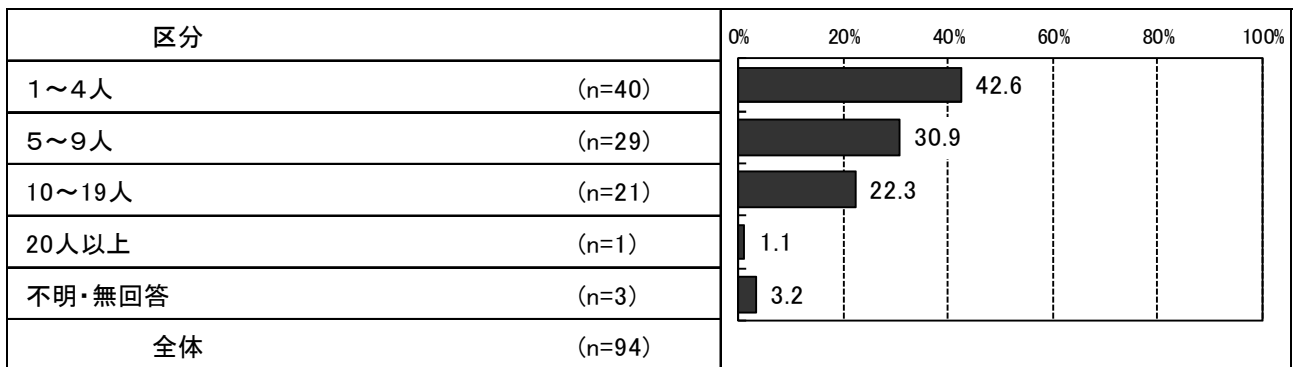
「やや余力はある」が43.2%で最も多く、次いで「余力はない」が30.8%、「十分に余力はある」が12.4%となっています。

		(n)	十分に余力はある	やや余力はある	余力はない	不明・無回答
全体		169	12.4	43.2	30.8	13.6
法人の種類	株式会社	82	13.4	35.4	35.4	15.9
	有限会社等	60	13.3	53.3	23.3	10.0
	社会福祉法人	11	18.2	18.2	54.5	9.1
	医療法人	3	0.0	100.0	0.0	0.0
	NPO	5	0.0	60.0	20.0	20.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	5	0.0	60.0	20.0	20.0
	その他	2	0.0	0.0	50.0	50.0
地区	中央地区	25	20.0	40.0	24.0	16.0
	小田地区	34	5.9	32.4	47.1	14.7
	大庄地区	18	22.2	44.4	16.7	16.7
	立花地区	40	7.5	45.0	35.0	12.5
	武庫地区	27	11.1	40.7	29.6	18.5
	園田地区	21	14.3	57.1	23.8	4.8

法人の種類別にみると、株式会社は「やや余力はある」「余力はない」、社会福祉法人は「余力はない」、それ以外の法人は「やや余力はある」がそれぞれ最も多くなっています。また、「十分に余力はある」は株式会社・有限会社等・社会福祉法人で10%台となっています。

地区別にみると、小田地区は「余力はない」、そのほかの地区では「やや余力はある」が最も多くなっています。また、「十分に余力はある」は中央地区・大庄地区で20%台となっています。

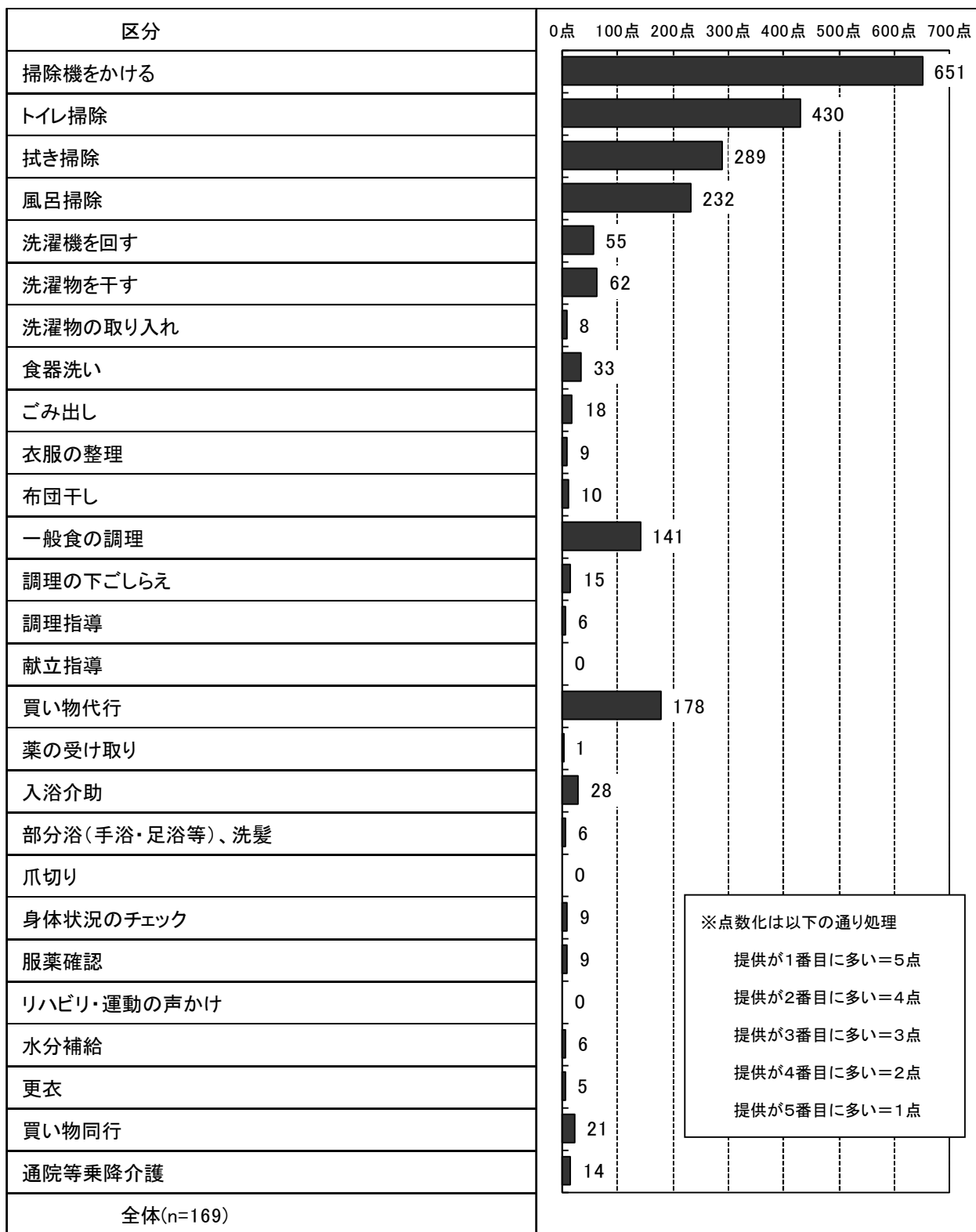
■ 受入可能人数



「1～4人」が42.6%で最も多く、次いで「5～9人」が30.9%、「10～19人」が22.3%となっています。平均は5.3人となっています。

3. 介護予防訪問介護について

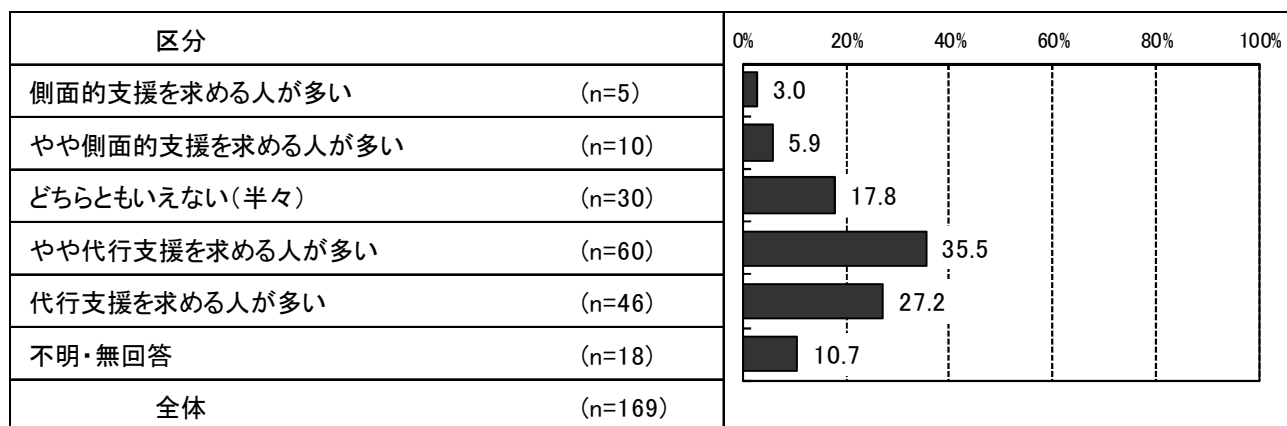
問9 介護予防訪問介護で提供しているサービス内容で、以下の項目から提供回数の多い順に5つ回答欄に番号を記入してください。



「掃除機をかける」が651点で最も多く、次いで「トイレ掃除」が430点、「拭き掃除」が289点となっています。

問 10 介護予防訪問介護は、要支援者の自立に向けた援助を行うものですが、実態として利用者の方は自立に向けた側面的支援とすべてをお任せする代行支援と、どちらを求めている人が多いですか。

(1つに〇)



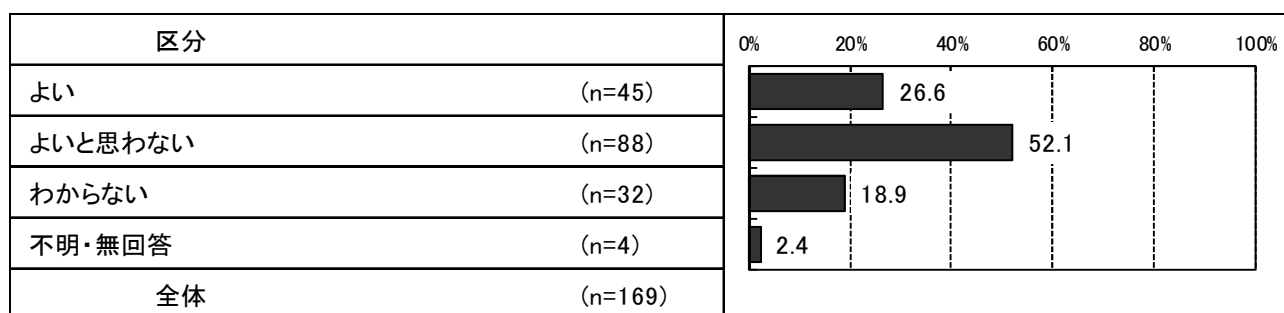
「やや代行支援を求める人が多い」が 35.5%で最も多く、次いで「代行支援を求める人が多い」が 27.2%、「どちらともいえない(半々)」が 17.8%となっています。

4. 介護予防・日常生活支援総合事業について

問 11 利用者の細かなニーズに対応できるよう、生活援助サービスに、「短時間型（30分未満）」の区分を導入することについて、どのように思いますか。以下の内容をお読みいただいたから回答してください。（1つに○）

短時間型（30分未満）の導入

- ごみ捨てや買い物、軽易な掃除など、短時間（30分未満を想定）で行える生活援助の導入を検討しています。
- 単価は、現在の介護予防訪問介護の40～50%程度を検討しています。



「よいと思わない」が52.1%で最も多く、次いで「よい」が26.6%、「わからない」が18.9%となっています。

		(n)	よい	よいと思 わない	わからな い	不明・無 回答
全体		169	26.6	52.1	18.9	2.4
法人の種 類	株式会社	82	35.4	37.8	24.4	2.4
	有限会社等	60	21.7	63.3	13.3	1.7
	社会福祉法人	11	18.2	72.7	9.1	0.0
	医療法人	3	33.3	0.0	66.7	0.0
	NPO	5	0.0	80.0	0.0	20.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	5	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	50.0	50.0	0.0
地区	中央地区	25	20.0	56.0	24.0	0.0
	小田地区	34	35.3	44.1	20.6	0.0
	大庄地区	18	22.2	66.7	11.1	0.0
	立花地区	40	25.0	47.5	25.0	2.5
	武庫地区	27	25.9	51.9	14.8	7.4
	園田地区	21	28.6	57.1	9.5	4.8
提供実人 数	0～4人	54	29.6	40.7	27.8	1.9
	5～9人	32	28.1	59.4	9.4	3.1
	10～19人	39	23.1	59.0	15.4	2.6
	20～29人	15	33.3	66.7	0.0	0.0
	30～39人	10	20.0	40.0	30.0	10.0
	40人以上	8	25.0	37.5	37.5	0.0
収支状 況	黒字	29	34.5	48.3	17.2	0.0
	概ね均衡	75	28.0	44.0	22.7	5.3
	赤字	61	21.3	62.3	16.4	0.0
従業員の 確保	常に充足している	17	41.2	47.1	11.8	0.0
	一時的に不足している	63	38.1	44.4	17.5	0.0
	常に不足している	88	14.8	59.1	21.6	4.5

法人の種類別にみると「よい」は株式会社で30%台となっています。「よいと思わない」は社会福祉法人で70%台、有限会社等で60%台、株式会社では30%台と法人の種類で一定の差がみられます。

地区別にみると、地区に関わらず「よいと思わない」が最も多くなっていますが、大庄地区で60%台とほかの地区より多く、小田地区・立花地区は40%台と低くなっています。また、「よい」は小田地区のみ30%台となっています。

介護予防訪問介護サービス提供実人数別にみると、「よいと思わない」は提供実人数5～29人規模の事業所において半数を超えています。

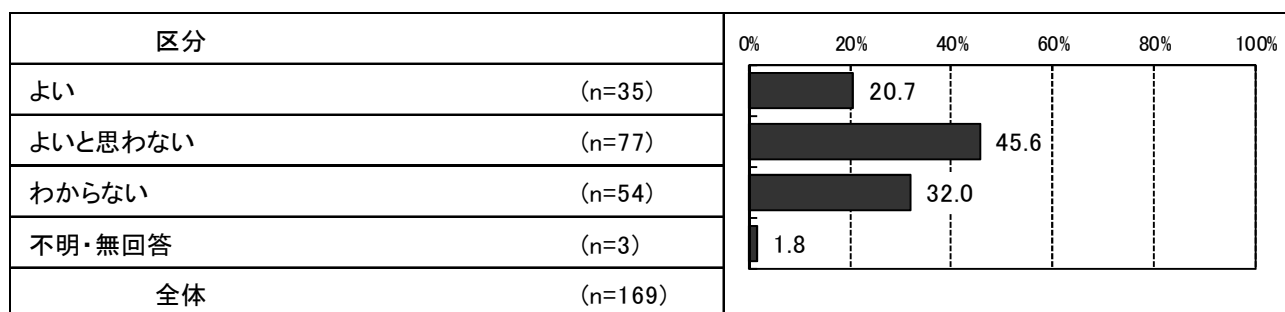
収支状況別にみると、収支状況に関わらず「よいと思わない」が最も多くなっていますが、赤字の事業所は60%台と特に多くなっています。「よい」は黒字の事業所で30%台となっています。

従業員の確保状況別にみると、常に充足している事業所は「よい」と「よいと思わない」がほぼ同じ割合に対し、常に不足している事業所は「よいと思わない」が半数を超えています。

問 12 利用者の細かなニーズに対応できるよう、従来の区分に加え、「身体介護型」「生活援助型」とも新たに「週 1 回未満」の報酬区分を導入することについて、どのように思いますか。以下の内容をお読みいただいてから回答してください。(1つに○)

週 1 回未満の区分の導入

- 週 1 回未満 (月 1 回や月 2 回) の頻度で行う身体介護や生活援助のサービスの導入を検討しています。
- 単価は、各サービス分類における「週 1 回程度」区分の 50%程度を検討しています。



「よいと思わない」が 45.6%で最も多く、次いで「わからない」が 32.0%、「よい」が 20.7%となっています。

		(n)	よい	よいと思 わない	わから ない	不明・無 回答
全体		169	20.7	45.6	32.0	1.8
法人の 種類	株式会社	82	26.8	36.6	34.1	2.4
	有限会社等	60	20.0	51.7	26.7	1.7
	社会福祉法人	11	0.0	63.6	36.4	0.0
	医療法人	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	NPO	5	0.0	60.0	40.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	5	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	100.0	0.0
地区	中央地区	25	12.0	52.0	36.0	0.0
	小田地区	34	29.4	47.1	23.5	0.0
	大庄地区	18	16.7	66.7	16.7	0.0
	立花地区	40	22.5	40.0	35.0	2.5
	武庫地区	27	22.2	25.9	44.4	7.4
	園田地区	21	14.3	52.4	33.3	0.0
	予 防 サ ー ビ ス 提 供 実 人 数	0～4人	54	20.4	44.4	33.3
5～9人		32	31.3	40.6	25.0	3.1
10～19人		39	17.9	51.3	30.8	0.0
20～29人		15	33.3	46.7	20.0	0.0
30～39人		10	0.0	30.0	60.0	10.0
40人以上		8	12.5	37.5	50.0	0.0
従 業 員 の 確 保	常に充足している	17	47.1	35.3	17.6	0.0
	一時的に不足している	63	25.4	39.7	34.9	0.0
	常に不足している	88	11.4	52.3	33.0	3.4

法人の種類別にみると、「よい」は株式会社・有限会社等で20%台となっています。

地区別にみると、武庫地区は「わからない」、そのほかの地区は「よいと思わない」がそれぞれ最も多くなっています。また、「よい」は小田地区・立花地区・武庫地区で20%台となっています。

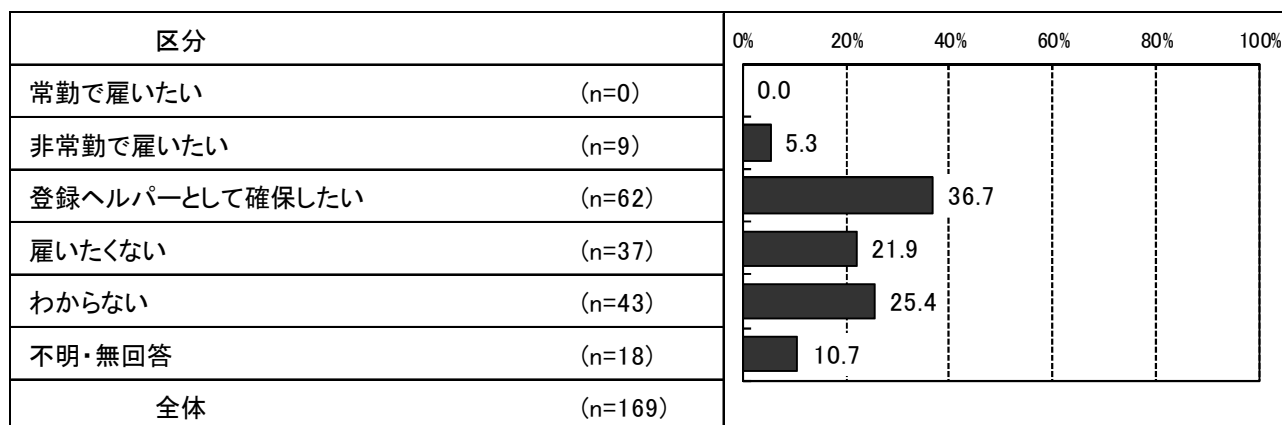
介護予防訪問介護サービス提供実人数別にみると、提供実人数30人以上の事業所は「わからない」提供実人数29人以下の事業所は「よいと思わない」がそれぞれ最も多くなっています。

従業員の確保状況別にみると、「よい」は常に充足している事業所で47.1%と多くなっていますが、常に不足している事業所では11.4%と回答に差がみられます。

問 13 本市では、将来的に介護人材の不足が見込まれるため、新たな担い手を増やしていく必要があることから、生活援助を提供する人材として「認定ヘルパー（仮称）」の養成研修の実施も検討していますが、貴事業所では、この「認定ヘルパー（仮称）」を雇用してもよいと思いますか。以下をお読みいただいてから回答してください。（1つに○）

従事者の資格要件の緩和：「認定ヘルパー（仮称）」の導入

- 市が実施する「認定ヘルパー養成講座（仮称）」（3日間程度）を受講した人が、要支援者に対して主に掃除や買い物、ごみ捨てなどの生活援助を提供することのできる、「認定ヘルパー（仮称）」という仕組みを検討しています。
- 掃除や買い物などの生活援助でニーズの充足が図られる要支援者に対しては「認定ヘルパー（仮称）」を、身体介護等の専門的な支援が必要な要支援者・要介護者には従来のホームヘルパーを派遣することで、利用者のニーズに応じた多様なサービスが提供できるようになります。
- 基準緩和に伴い、サービス提供単価については一定割合が減額となるものの、資格要件が緩和された「認定ヘルパー（仮称）」を雇用することにより、事業収支は均衡に近いものとしていくことが可能になると考えられます。



「登録ヘルパーとして確保したい」が36.7%で最も多く、次いで「わからない」が25.4%、「雇いたくない」が21.9%となっています。

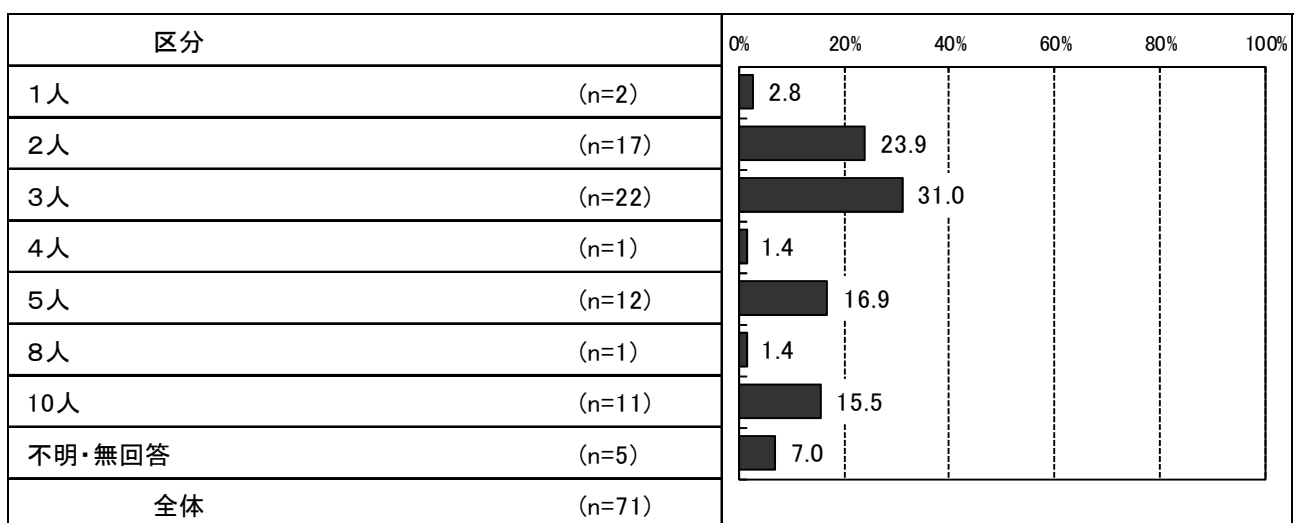
		(n)	常勤で雇いたい	非常勤で雇いたい	登録ヘルパーとして確保したい	雇いたくない	わからない	不明・無回答
全体		169	0.0	5.3	36.7	21.9	25.4	10.7
法人の種類	株式会社	82	0.0	3.7	40.2	23.2	22.0	11.0
	有限会社等	60	0.0	10.0	41.7	18.3	25.0	5.0
	社会福祉法人	11	0.0	0.0	18.2	18.2	36.4	27.3
	医療法人	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	NPO	5	0.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	5	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
従業員の確保	常に充足している	17	0.0	5.9	52.9	23.5	11.8	5.9
	一時的に不足している	63	0.0	6.3	44.4	17.5	23.8	7.9
	常に不足している	88	0.0	4.5	28.4	25.0	28.4	13.6
受入余力	十分に余力はある	21	0.0	4.8	61.9	9.5	14.3	9.5
	やや余力はある	73	0.0	9.6	41.1	16.4	28.8	4.1
	余力はない	52	0.0	0.0	26.9	34.6	28.8	9.6

法人の種類別にみると、株式会社・有限会社等は「登録ヘルパーとして確保したい」、社会福祉法人は「わからない」が最も多くなっています。

従業員の確保状況別にみると、従業員の確保状況に関わらず「登録ヘルパーとして確保したい」が最も多くなっていますが、従業員が充足している事業所ほど「登録ヘルパーとして確保したい」の回答が多くなっています。

受入余力別にみると、余力のない事業所は「雇いたくない」、十分に余力はある事業所・やや余力のある事業所は「登録ヘルパーとして確保したい」がそれぞれ最も多くなっています。

■貴事業所では「認定ヘルパー（仮称）」を何人程度確保したいと思いますか。（人数を記入）

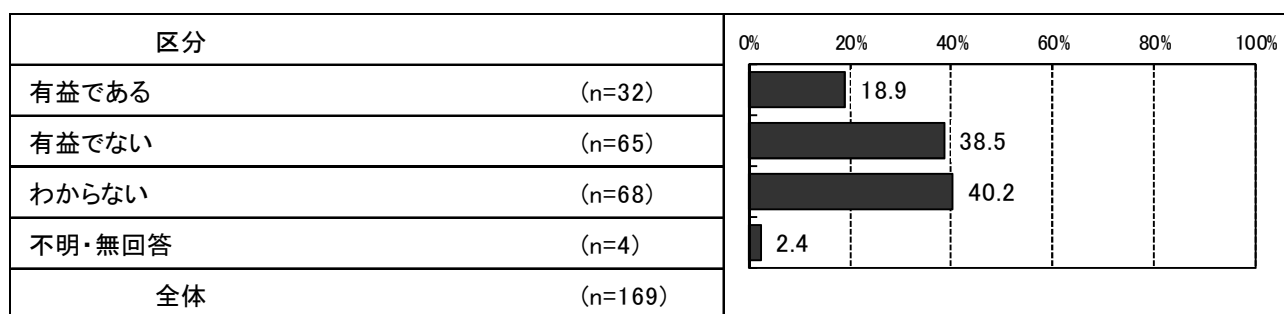


「3人」が31.0%で最も多く、次いで「2人」が23.9%、「5人」が16.9%となっています。平均は4.3人となっています。

問 14 サービス提供責任者の配置基準を緩和することについて、どのように思いますか。以下をお読み
 いただいてから回答してください。(1つに○)

人員配置基準の緩和：サービス提供責任者の配置基準

- 「生活援助型」のサービス利用者は、1人あたり0.5人として換算できるよう、基準の緩和を検討しています。
- 基準緩和に伴い、サービス提供単価については一定割合が減額となるものの、サービス提供責任者の配置基準の緩和により、これまでと同じ人員配置で、これまでより多くの利用者にサービス提供することができるようになるため、事業収入も均衡に近いものとしていくことが可能となると考えられます。



「わからない」が40.2%で最も多く、次いで「有益でない」が38.5%、「有益である」が18.9%となっています。

		(n)	有益である	有益でない	わからない	不明・無回答
全体		169	18.9	38.5	40.2	2.4
法人の種類	株式会社	82	20.7	34.1	40.2	4.9
	有限会社等	60	23.3	43.3	33.3	0.0
	社会福祉法人	11	0.0	36.4	63.6	0.0
	医療法人	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	NPO	5	0.0	20.0	80.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	5	0.0	80.0	20.0	0.0
	その他	2	50.0	0.0	50.0	0.0
地区	中央地区	25	16.0	48.0	32.0	4.0
	小田地区	34	26.5	44.1	29.4	0.0
	大庄地区	18	16.7	50.0	33.3	0.0
	立花地区	40	30.0	27.5	40.0	2.5
	武庫地区	27	7.4	25.9	63.0	3.7
	園田地区	21	9.5	42.9	42.9	4.8
サービス提供者責任者	1人	64	25.0	34.4	40.6	0.0
	2人	51	25.5	41.2	31.4	2.0
	3人	32	3.1	34.4	56.3	6.3
	4人	13	15.4	38.5	38.5	7.7
	5人以上	8	0.0	62.5	37.5	0.0
従業員の確保	常に充足している	17	29.4	29.4	41.2	0.0
	一時的に不足している	63	22.2	36.5	39.7	1.6
	常に不足している	88	14.8	42.0	39.8	3.4
受入余力	十分に余力はある	21	28.6	33.3	28.6	9.5
	やや余力はある	73	20.5	38.4	41.1	0.0
	余力はない	52	13.5	36.5	46.2	3.8

法人の種類別にみると、「有益である」は株式会社・有限会社等で20%台となっています。

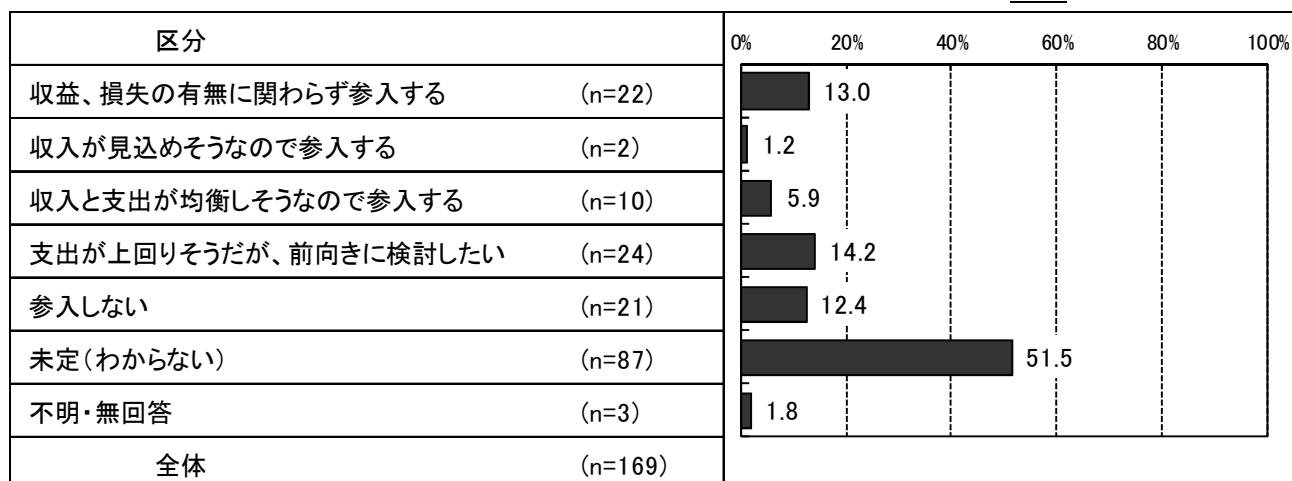
地区別にみると、「有益である」は立花地区で30%台と多いのに対し、武庫地区・園田地区では10%未満と回答に差がみられます。

サービス提供者責任者数別にみると、サービス提供者責任者が1人・2人の事業所では「有益である」が20%台となっています。

従業員の確保状況別にみると、常に不足している事業所は「有益でない」、常に充足している・一時的に不足している事業所は「わからない」が最も多くなっています。また、充足している事業所のほうが「有益である」の回答が多くなっています。

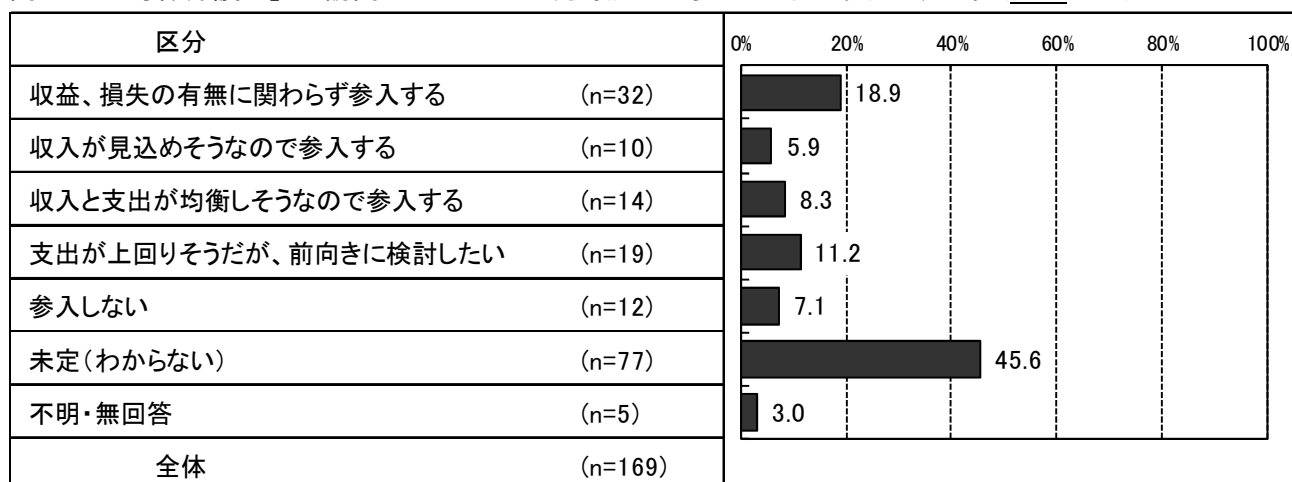
受入余力別にみると、「有益である」は受入余力が大きい事業所ほど回答が多くなっています。

問 15 「生活援助型」の訪問サービスへの現時点での参入意向はありますか。(1つに〇)



「未定(わからない)」が51.5%で最も多く、次いで「支出が上回りそうだが、前向きに検討したい」が14.2%、「収益、損失の有無に関わらず参入する」が13.0%となっています。

問 16 「身体介護型」の訪問サービスへの現時点での参入意向はありますか。(1つに〇)

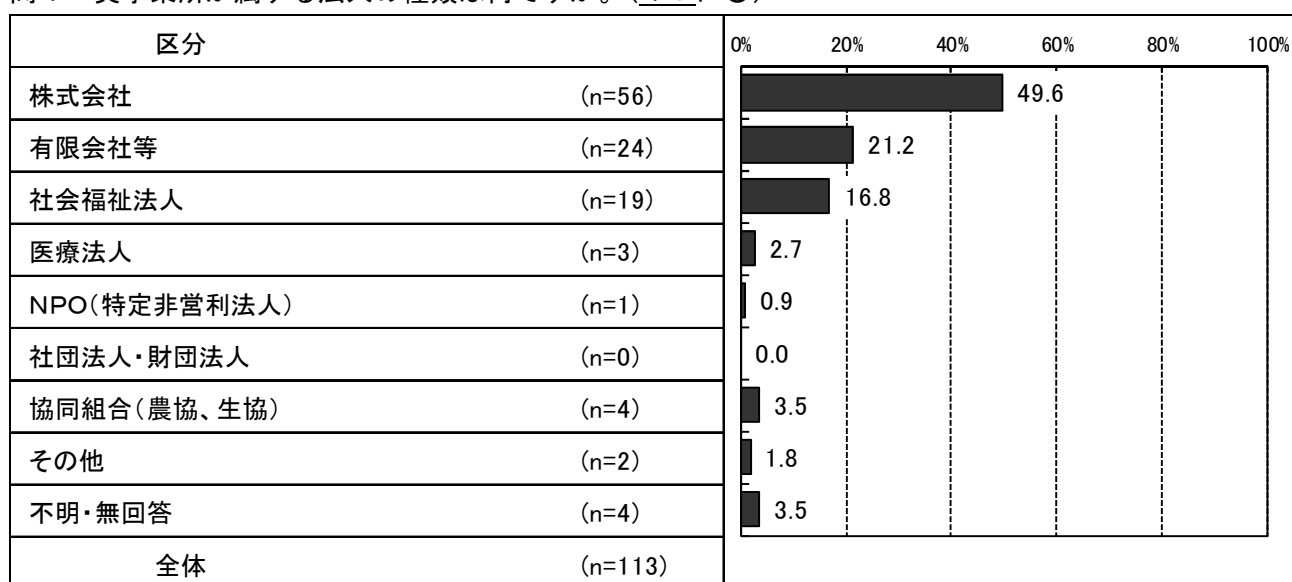


「未定(わからない)」が45.6%で最も多く、次いで「収益、損失の有無に関わらず参入する」が18.9%、「支出が上回りそうだが、前向きに検討したい」が11.2%となっています。

第4章 「③通所介護事業所調査」の結果

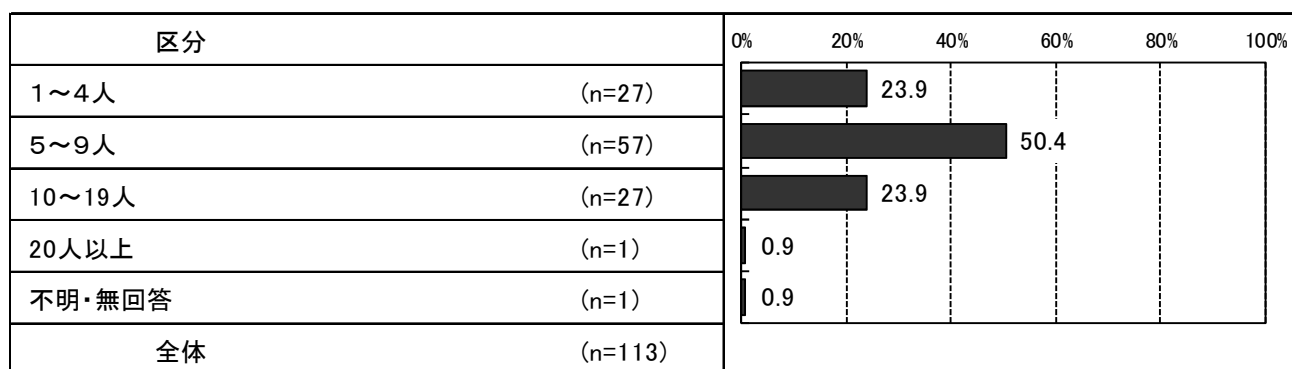
1. 事業所の状況について

問1 貴事業所が属する法人の種類は何ですか。(1つに〇)



「株式会社」が49.6%で最も多く、次いで「有限会社等」が21.2%、「社会福祉法人」が16.8%となっています。

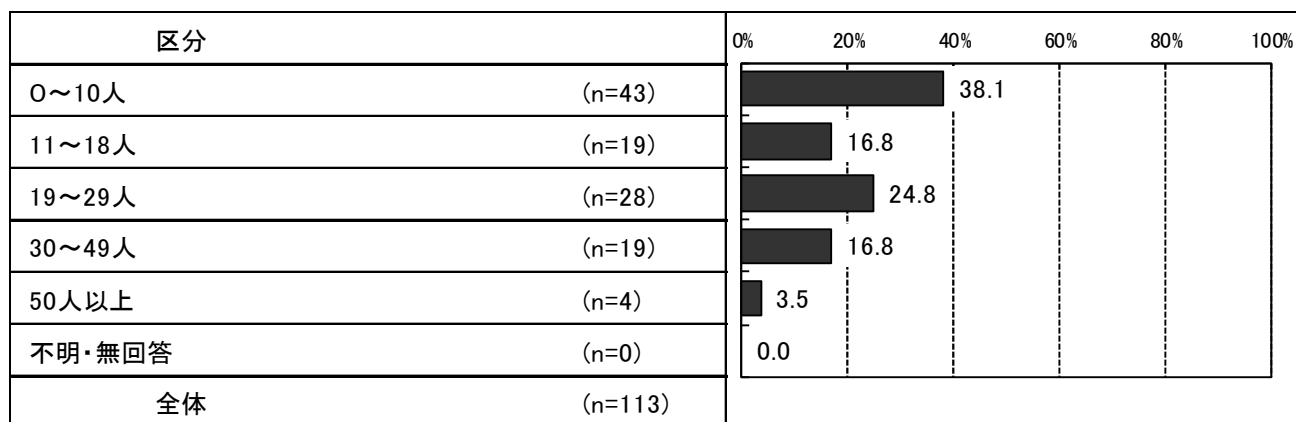
問2 貴事業所で通所介護に関わる介護職員(兼任を含む)は何人いますか。



「5~9人」が50.4%で最も多く、次いで「1~4人」と「10~19人」が、ともに23.9%、「20人以上」が0.9%となっています。平均は7.3人となっています。

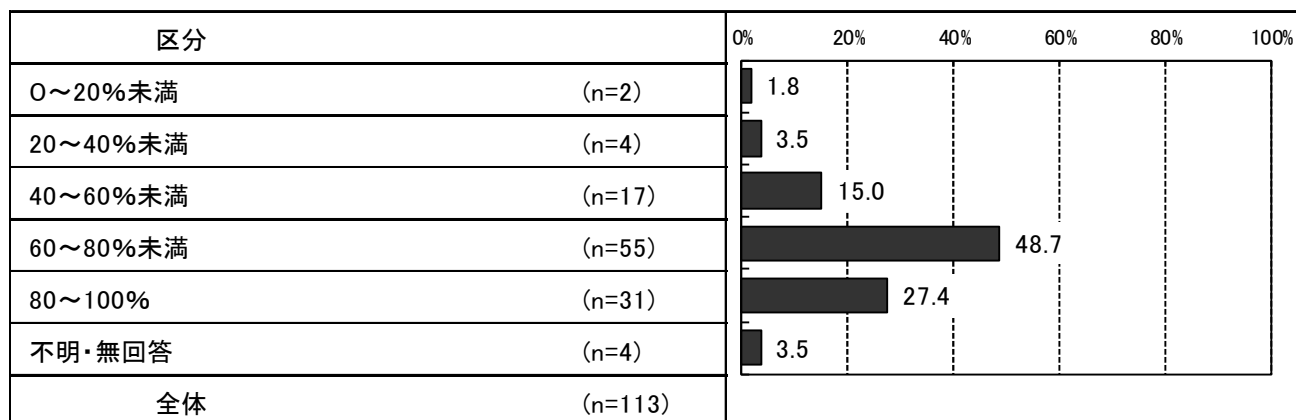
問3 貴事業所の「利用定員数」「1か月あたりの平均稼働率」「食堂・機能訓練室の面積」をご記入ください。

■利用定員



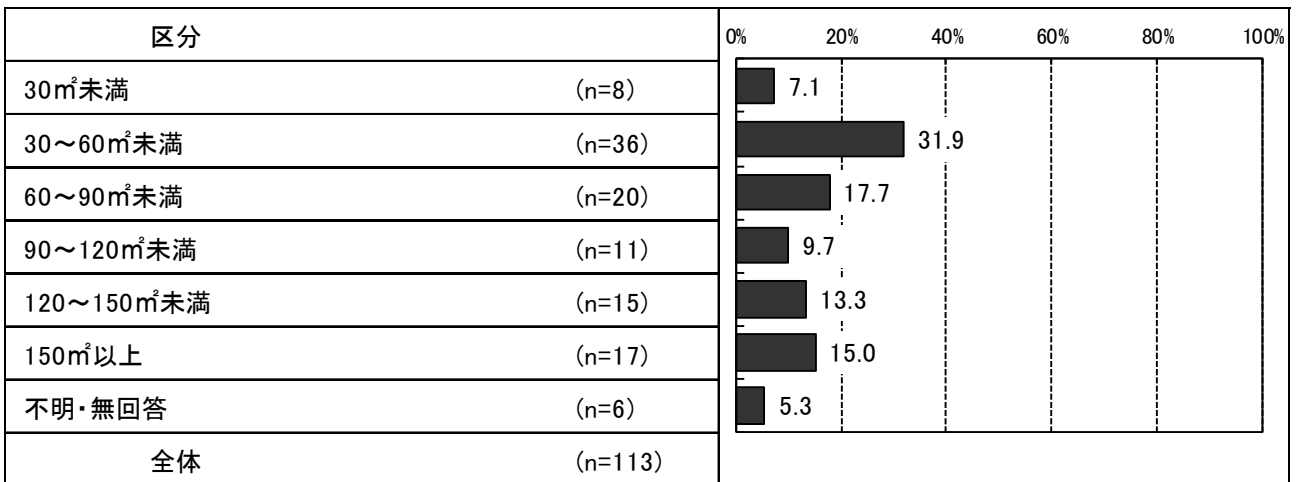
「0~10人」が38.1%で最も多く、次いで「19~29人」が24.8%、「11~18人」と「30~49人」がともに16.8%となっています。平均は20.7人となっています。

■平均稼働率



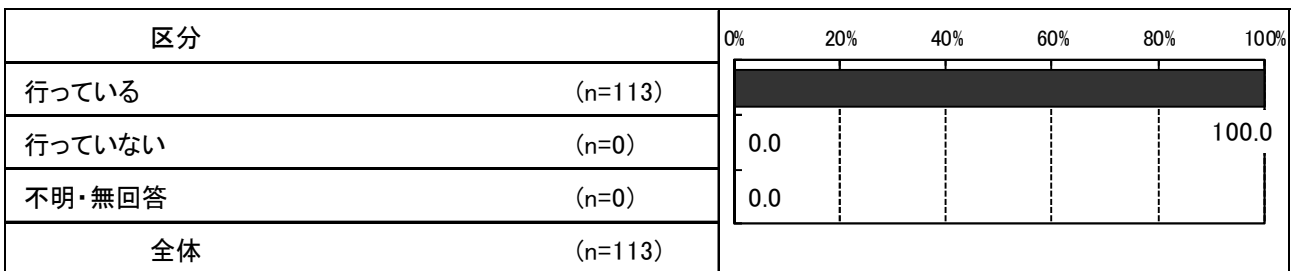
「60~80%未満」が48.7%で最も多く、次いで「80~100%」が27.4%、「40~60%未満」が15.0%となっています。

■ 食堂・機能訓練室の面積



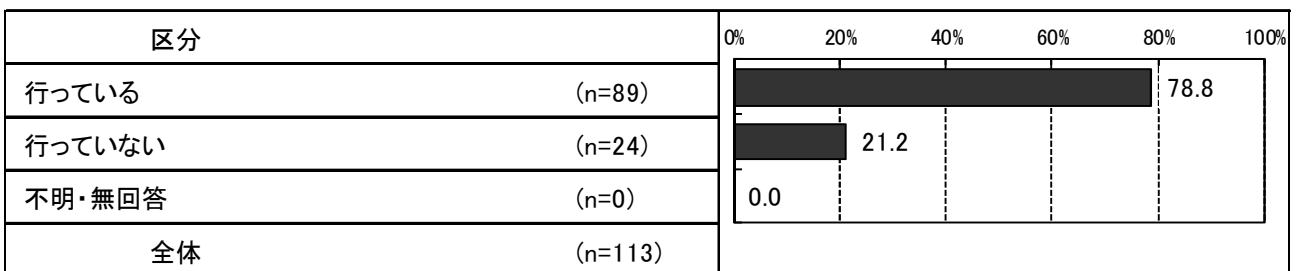
「30～60㎡未満」が31.9%で最も多く、次いで「60～90㎡未満」が17.7%、「150㎡以上」が15.0%となっています。

問4 貴事業所では、利用者の送迎を行っていますか。(1つに〇)



「行っている」が100.0%となっています。

問5 貴事業所では、入浴サービスを行っていますか。(1つに〇)



「行っている」が78.8%、「行っていない」が21.2%となっています。

		(n)	行っている	行っていない	不明・無回答
全体		113	78.8	21.2	0.0
法人の種類	株式会社	56	73.2	26.8	0.0
	有限会社等	24	70.8	29.2	0.0
	社会福祉法人	19	100.0	0.0	0.0
	医療法人	3	100.0	0.0	0.0
	NPO	1	100.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	100.0	0.0	0.0
	その他	2	100.0	0.0	0.0
地区	中央地区	8	87.5	12.5	0.0
	小田地区	20	85.0	15.0	0.0
	大庄地区	21	85.7	14.3	0.0
	立花地区	26	84.6	15.4	0.0
	武庫地区	20	60.0	40.0	0.0
	園田地区	12	75.0	25.0	0.0
利用実人数	0～4人	23	100.0	0.0	0.0
	5～9人	19	89.5	10.5	0.0
	10～19人	18	100.0	0.0	0.0
	20～29人	9	66.7	33.3	0.0
	30～39人	5	40.0	60.0	0.0
	40人以上	12	50.0	50.0	0.0
収支状況	黒字	25	68.0	32.0	0.0
	概ね均衡	39	82.1	17.9	0.0
	赤字	47	80.9	19.1	0.0

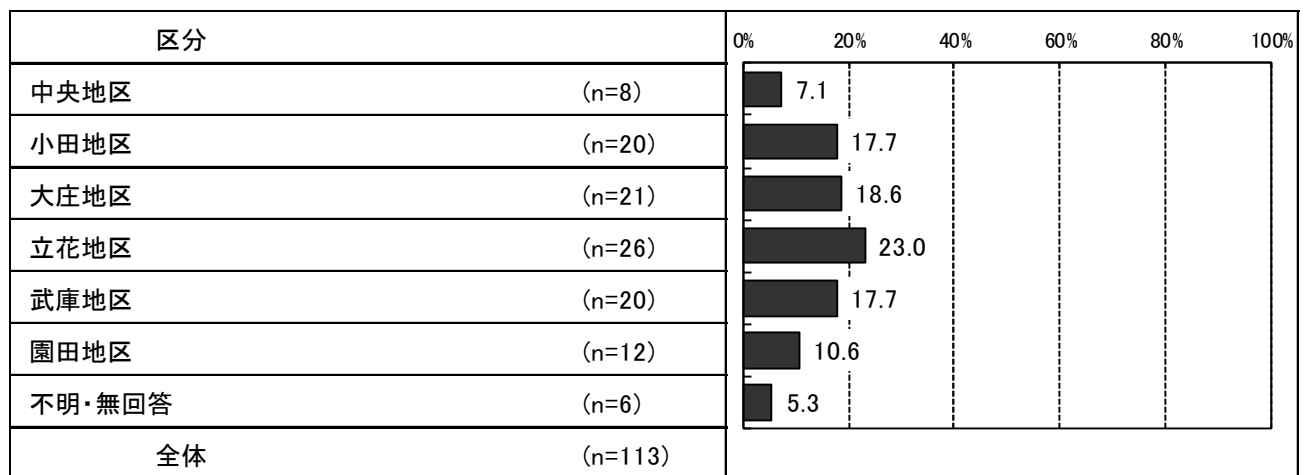
法人の種類別にみると、株式会社・有限会社等において「行っていない」への回答がみられます。

地区別にみると、「行っていない」は武庫地区のみ40%と多くなっています。

介護予防通所介護の利用実人数別にみると、利用実人数30人以上の事業所では「行っていない」が半数以上となっています。

収支状況別にみると、「行っていない」は黒字の事業所で32.0%、概ね均衡・赤字の事業所では20%未満となっています。

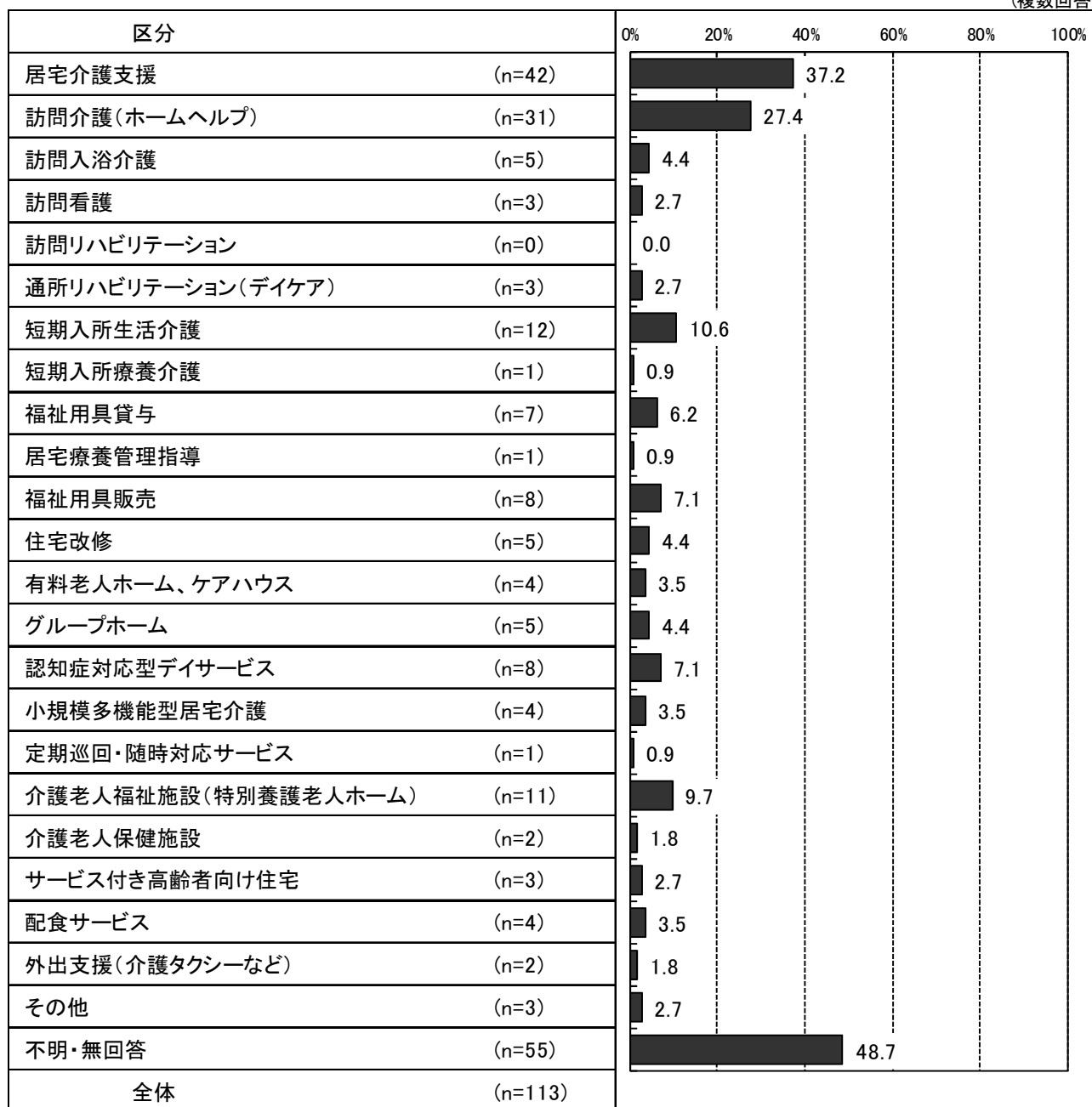
問6 貴事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。(1つに〇)



「立花」が23.0%で最も多く、次いで「大庄」が18.6%、「小田」と「武庫」がともに17.7%となっています。

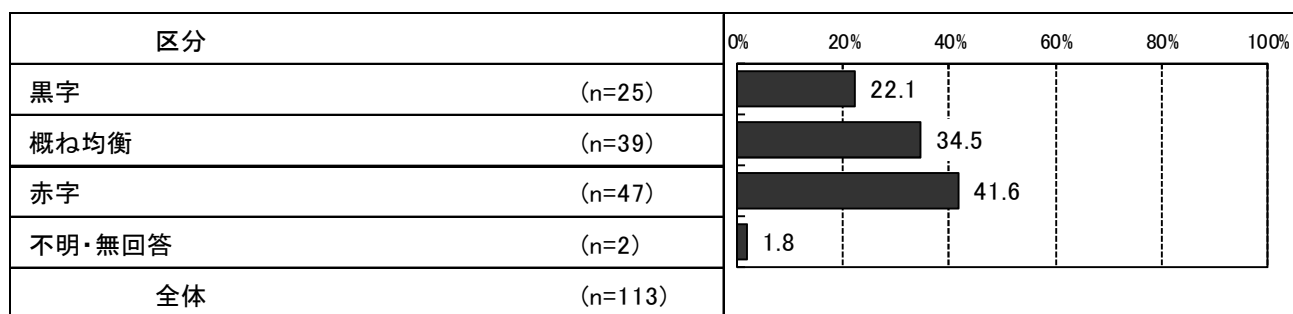
問7 貴事業所にて通所介護・介護予防通所介護以外に提供されているサービスすべてに○をつけてください。(※以下のサービスには予防給付を含みます)

(複数回答)



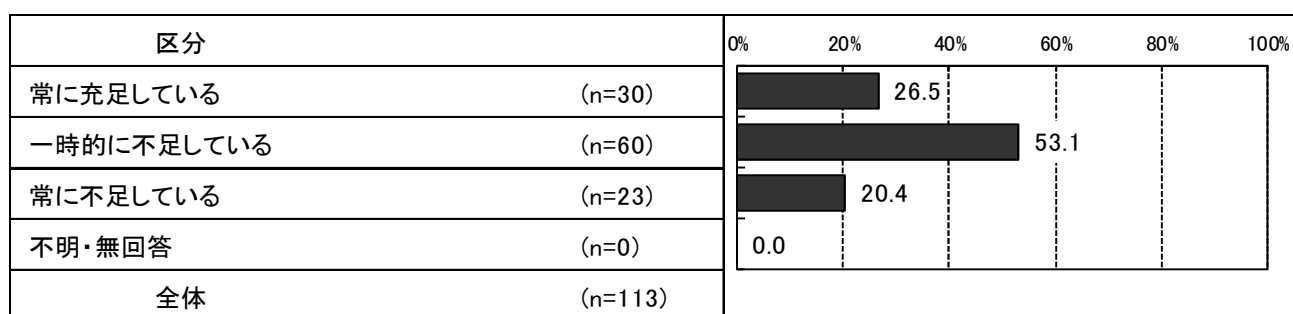
「居宅介護支援」が 37.2%で最も多く、次いで「訪問介護(ホームヘルプ)」が 27.4%、「短期入所生活介護」が 10.6%となっています。

問8 貴事業所の平成27年4月以降の収支状況についてお答えください。(1つに○)



「赤字」が41.6%で最も多く、次いで「概ね均衡」が34.5%、「黒字」が22.1%となっています。

問9 従業員の確保状況について、お答えください。(1つに○)



「一時的に不足している」が53.1%で最も多く、次いで「常に充足している」が26.5%、「常に不足している」が20.4%となっています。

2. 介護予防通所介護（デイサービス）について

問 10 介護予防通所介護の提供状況について、平成 28 年 1 月の利用実人数や提供時間など、以下の①から⑤の設問について、お答えください。

①介護予防通所介護の 1 か月あたりの利用実人数

区分	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
0～4人 (n=23)							利用実人数 合計 1,657人 利用実人数 平均 19.3人
5～9人 (n=19)							
10～19人 (n=18)							
20～29人 (n=9)							
30～39人 (n=5)							
40人以上 (n=12)							
不明・無回答 (n=27)							
全体 (n=113)							

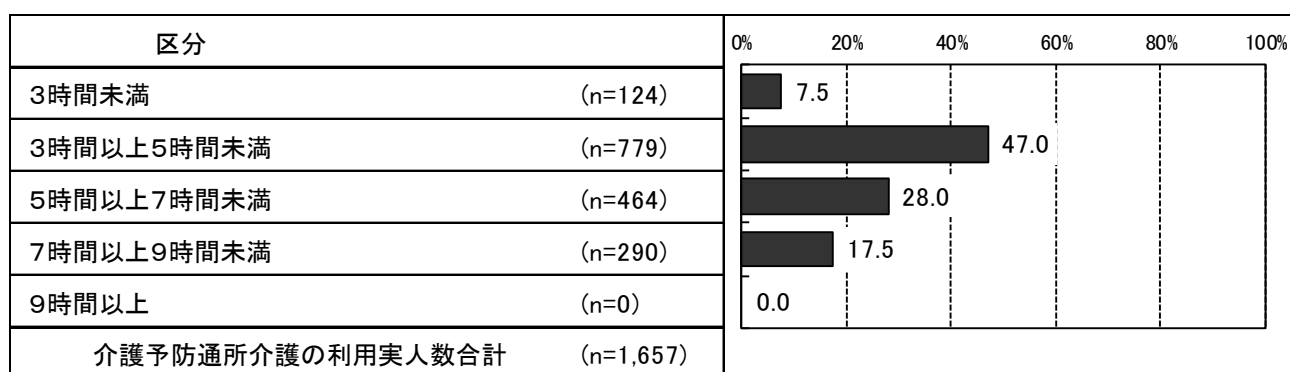
「0～4人」が 20.4%で最も多く、次いで「5～9人」が 16.8%、「10～19人」が 15.9%となっています。介護予防通所介護の利用実人数の合計は 1,657人で、1事業所あたりの利用実人数は平均で 19.3人となっています。

		(n)	0～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40人以上	不明・無回答
全体		113	20.4	16.8	15.9	8.0	4.4	10.6	23.9
法人の種類	株式会社	56	21.4	10.7	8.9	10.7	5.4	12.5	30.4
	有限会社等	24	33.3	25.0	4.2	4.2	0.0	12.5	20.8
	社会福祉法人	19	0.0	15.8	36.8	10.5	5.3	5.3	26.3
	医療法人	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	NPO	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
収支状況	黒字	25	16.0	16.0	24.0	12.0	4.0	16.0	12.0
	概ね均衡	39	17.9	20.5	15.4	7.7	5.1	7.7	25.6
	赤字	47	23.4	12.8	12.8	6.4	4.3	10.6	29.8

法人の種類別にみると、「40人以上」は株式会社・有限会社等・社会福祉法人で回答がみられます。

収支状況別にみると、黒字の事業所は「10～19人」、概ね均衡の事業所は「5～9人」、赤字の事業所は「0～4人」となっています。

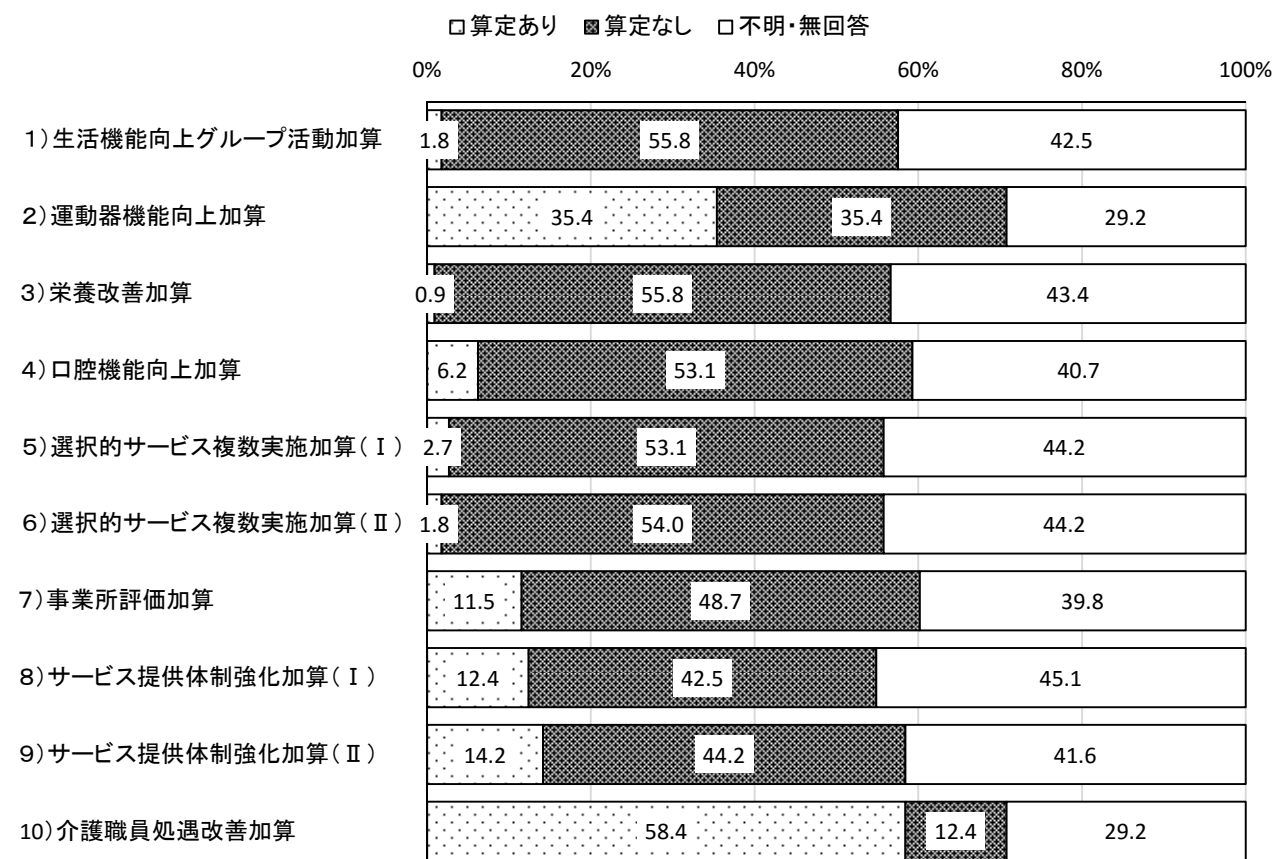
②介護予防通所介護の提供時間



介護予防通所介護の利用実人数に回答いただいた 86 事業所（「不明・無回答」27 事業所）が提供している介護予防訪問介護の実人数の合計は 1,657 人であり、提供時間の内訳をみると、「3時間以上5時間未満」が 47.0%で最も多く、次いで「5時間以上7時間未満」が 28.0%、「7時間以上9時間未満」が 17.5%となっています。

③加算の算定状況の有無と実利用者に占める利用者割合

■加算の算定状況の有無



加算の算定状況について「算定あり」は「10)介護職員処遇改善加算」が 58.4%で最も多く、次いで「2)運動器機能向上加算」が 35.4%、「9)サービス提供体制強化加算(Ⅱ)」が 14.2%となっています。

■実利用者に占める利用割合(利用者の加算状況)

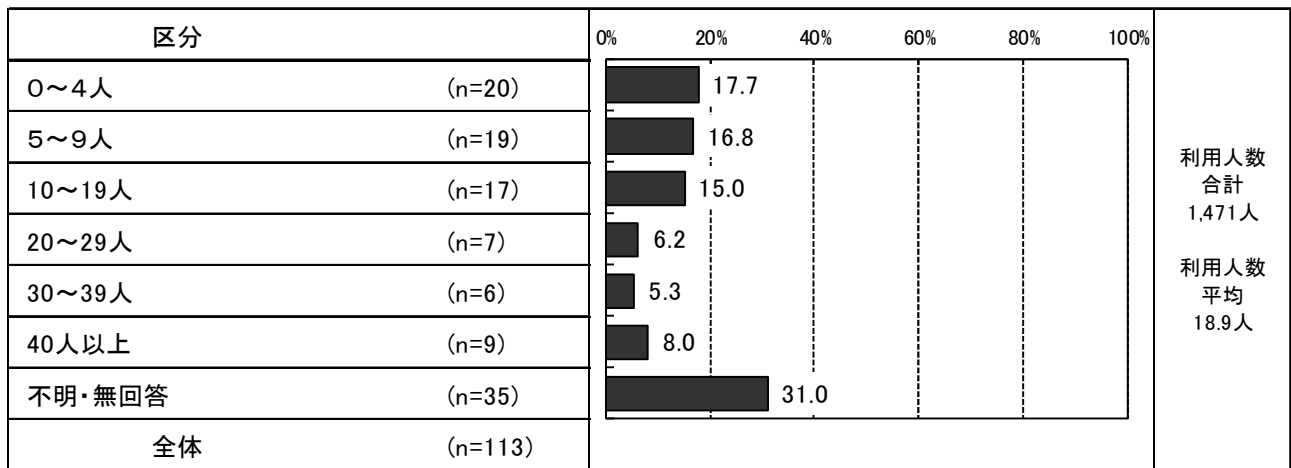
(件)

	0割	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	不明・無回答
1)生活機能向上グループ活動加算(n=2)			1									1
2)運動器機能向上加算(n=40)				1		2		2	1	2	25	7
3)栄養改善加算(n=1)												1
4)口腔機能向上加算(n=7)	2	2									1	2
5)選択的サービス複数実施加算(I)(n=3)		1									1	1
6)選択的サービス複数実施加算(II)(n=2)							1					1

加算の状況について、実利用者に占める利用割合は上記の通りで、運動機能向上加算の算定がありと答えた40事業所のうち、「10割」と答えた事業所は25件(62.5%)が最も多くなっています。

※問4で送迎サービスを「行っている」と答えた事業所

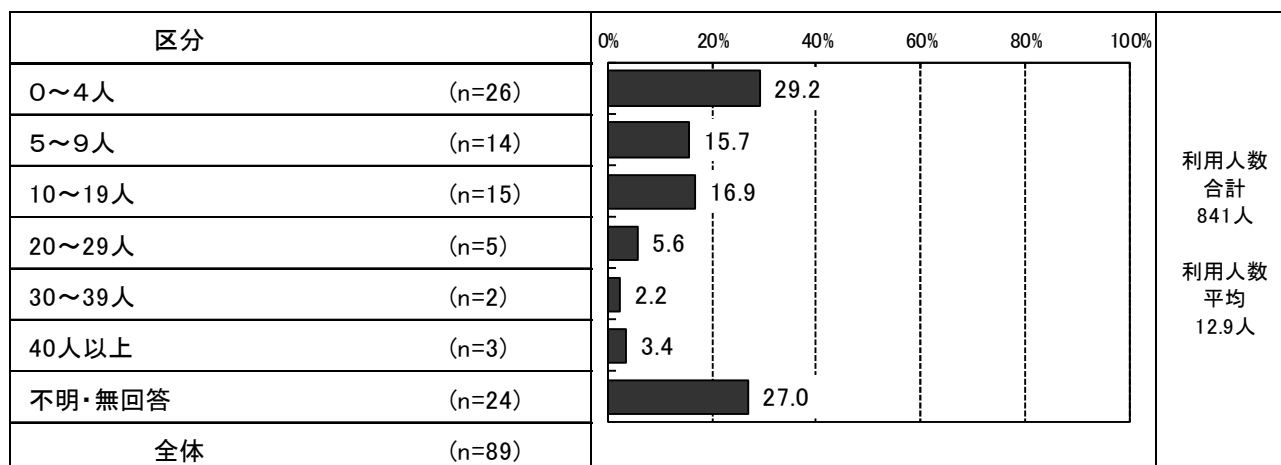
④「①介護予防通所介護の利用実人数」における送迎サービスの利用人数



「0~4人」が17.7%で最も多く、次いで「5~9人」が16.8%、「10~19人」が15.0%となっています。送迎サービスの利用人数の合計は1,471人で、1事業所あたりの利用人数は平均で18.9人となっています。

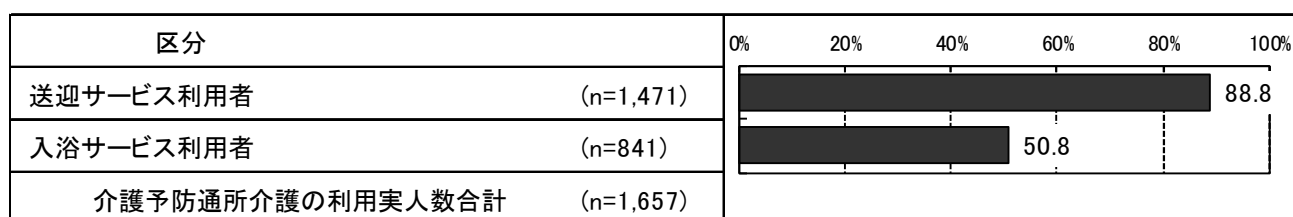
※問5で入浴サービスを「行っている」と答えた事業所

⑤「①介護予防通所介護の利用実人数」における入浴サービスの利用人数



「0～4人」が29.2%で最も多く、次いで「10～19人」が16.9%、「5～9人」が15.7%となっています。入浴サービスの利用人数の合計は841人で、1事業所あたりの利用人数は平均で12.9人となっています。

「①介護予防通所介護の利用実人数」における「④送迎サービス」と「⑤入浴サービス」の利用人数と割合



介護予防通所介護利用者のうち、「送迎サービス利用者」は88.8%、「入浴サービス利用者」は50.8%となっています。

介護予防通所介護の提供実人数に回答いただいた86事業所（「不明・無回答」27事業所）が提供している介護予防訪問介護の実人数の合計は1,657人であり、うち「送迎サービス利用者」は1,471人（88.8%）、「入浴サービス利用者」は841人（50.8%）となっています。

問 11 実施している介護予防通所介護の具体的なサービス内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
運動機能向上(機能訓練)	(n=100)	88.5					
栄養改善	(n=53)	46.9					
口腔機能向上	(n=59)	52.2					
その他	(n=18)	15.9					
不明・無回答	(n=10)	8.8					
全体	(n=113)						

「運動機能向上(機能訓練)」が88.5%で最も多く、次いで「口腔機能向上」が52.2%、「栄養改善」が46.9%となっています。

	(n)	運動機能向上(機能訓練)	栄養改善	口腔機能向上	その他	不明・無回答	
全体	113	88.5	46.9	52.2	15.9	8.8	
法人の種類	株式会社	56	92.9	44.6	42.9	21.4	3.6
	有限会社等	24	91.7	45.8	58.3	25.0	4.2
	社会福祉法人	19	73.7	63.2	57.9	0.0	26.3
	医療法人	3	100.0	66.7	100.0	0.0	0.0
	NPO	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	100.0	25.0	100.0	0.0	0.0
	その他	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
地区	中央地区	8	75.0	50.0	62.5	37.5	25.0
	小田地区	20	85.0	50.0	55.0	15.0	10.0
	大庄地区	21	85.7	33.3	57.1	19.0	14.3
	立花地区	26	96.2	57.7	57.7	3.8	3.8
	武庫地区	20	90.0	40.0	35.0	20.0	5.0
	園田地区	12	83.3	50.0	58.3	16.7	8.3
利用定員	0~10人	43	88.4	46.5	44.2	20.9	4.7
	11~18人	19	94.7	52.6	57.9	15.8	5.3
	19~29人	28	85.7	42.9	53.6	17.9	14.3
	30人以上	23	87.0	47.8	60.9	4.3	13.0

法人の種類別にみると、法人の種類に関わらず「運動機能向上(機能訓練)」が最も多くなっていますが、社会福祉法人のみ70%台とほかの法人の種類よりも低くなっています。また、「栄養改善」は社会福祉法人・医療法人で60%台、株式会社・有限会社等は40%台となっています。

地区別にみると、「栄養改善」は大庄地区のみ30%台と低くなっています。「口腔機能」は中央地区が60%台と多く、武庫地区が30%台と低くなっています。

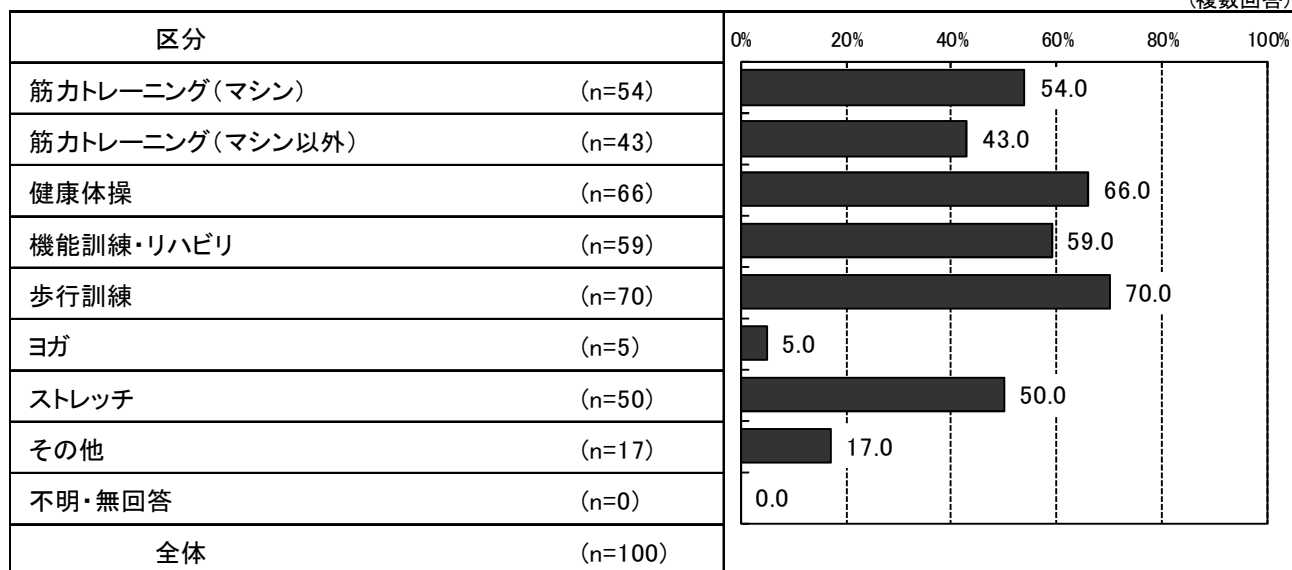
利用定員別にみると、「運動機能向上(機能訓練)」は利用定員10~18人の事業所のみ90%台となっています。

【その他、介護予防通所介護の内容】

- レクリエーションで年2回遠足と年1回のクリスマス会。
- 脳トレなど精神や認知機能向上を目的とした訓練。外出(初詣、花見など)を通じ季節感、コミュニケーション、レクリエーションの機会を得ていただく。
- リフレクソロジー。遠赤外線温浴。
- 脳トレの為のレク及びゲーム。
- 屋外歩行。ウォーキングマシーン等。
- 独居生活で引きこもりがちな為社会交流。
- マッサージ機によるマッサージ、足湯。
- 体力測定(1/3にTUG・CS・ファンクショナルリーチ・体前屈等)。
- フットケア。
- 整体。
- レクリエーション(外出も含む)。工作・ゲーム・花見他。
- リラクゼーション。
- 洗濯物干し。
- 少しでもお話しを聞いてあげて居場所を作れたらと思っております。
- 脳トレ。カラオケ。
- レクリエーションをまじえ、運動や手作業(クラフト)の提供。
- 脳トレニング(連想言葉・しりとり漢字他)(たし算掛け算)。
- 高齢で認知症の方が多いので、看護師が常駐して健康管理に努めています。

■運動機能向上(機能訓練)の具体的な内容

(複数回答)



「歩行訓練」が70.0%で最も多く、次いで「健康体操」が66.0%、「機能訓練・リハビリ」が59.0%となっています。

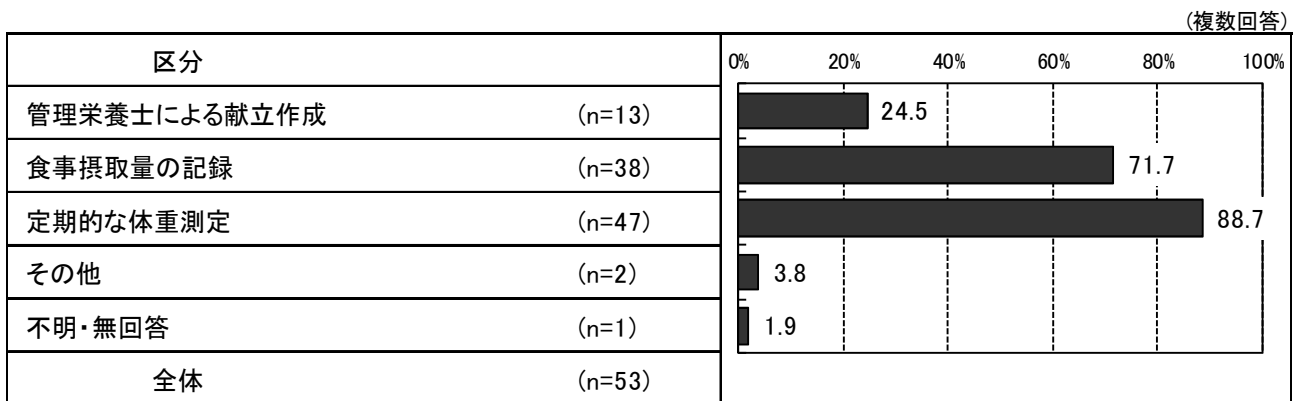
【具体的な健康体操名】

- ラジオ体操 25 件
- 口腔体操 5 件
- スリング体操 3 件
- ボール体操 3 件
- 音楽体操 2 件
- 歌体操 2 件
- チェアエクササイズ 2 件
- 棒体操 2 件
- テレビ体操 2 件
- ペットボトル体操 2 件
- うめぼし体操 2 件
- リズム体操
- リハビリ体操
- 指
- 体操
- 転倒予防ストレッチ
- 脳トレ
- 百歳体操等
- パタカラ体操
- ビデオを使った体操
- 嚙下体操
- ずんどこ体操
- セラバンド
- タオル体操
- 365 歩のマーチ体操
- アイソメトリックリハビリ
- ケアビクス
- ゴム体操
- サザエさん体操
- チューブ体操
- マッサージ
- みんなの体操
- 下肢
- 下肢筋肉向上プログラム
- ももたろう
- その日の利用者の状態によって

【その他、具体的な運動機能向上の内容】

- バランス、可動域改善 3件
- 月1回の体力測定 2件
- 理学療法士による施術 2件
- 発声、唄
- ラジオ体操
- ステップ台
- 嚥下、口腔機能訓練
- セルフマッサージ
- タオル体操
- 全身体操
- 口腔体操
- マッサージ

■栄養改善の具体的な内容



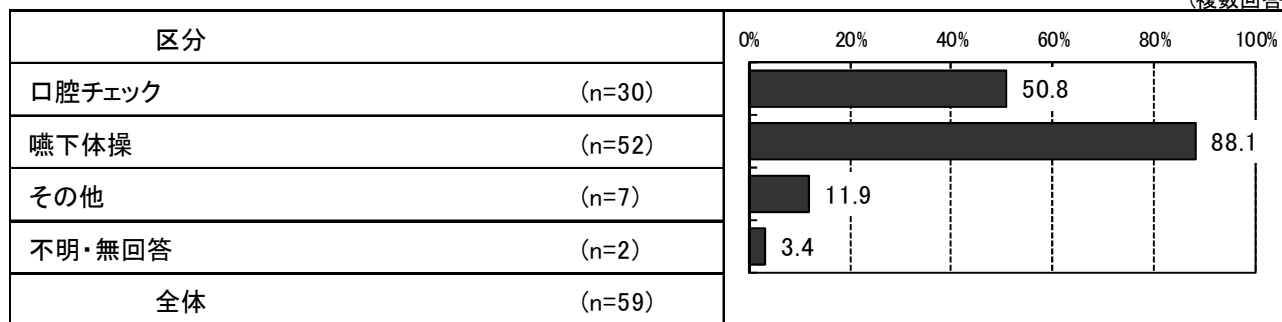
「定期的な体重測定」が88.7%で最も多く、次いで「食事摂取量の記録」が71.7%、「管理栄養士による献立作成」が24.5%となっています。

【その他、具体的な栄養改善の内容】

- 身長測定
- BMI 算定
- お食事のリクエストを聞いて食欲が出るようにしております。
- 栄養士による献立作成

■口腔機能向上の具体的な内容

(複数回答)



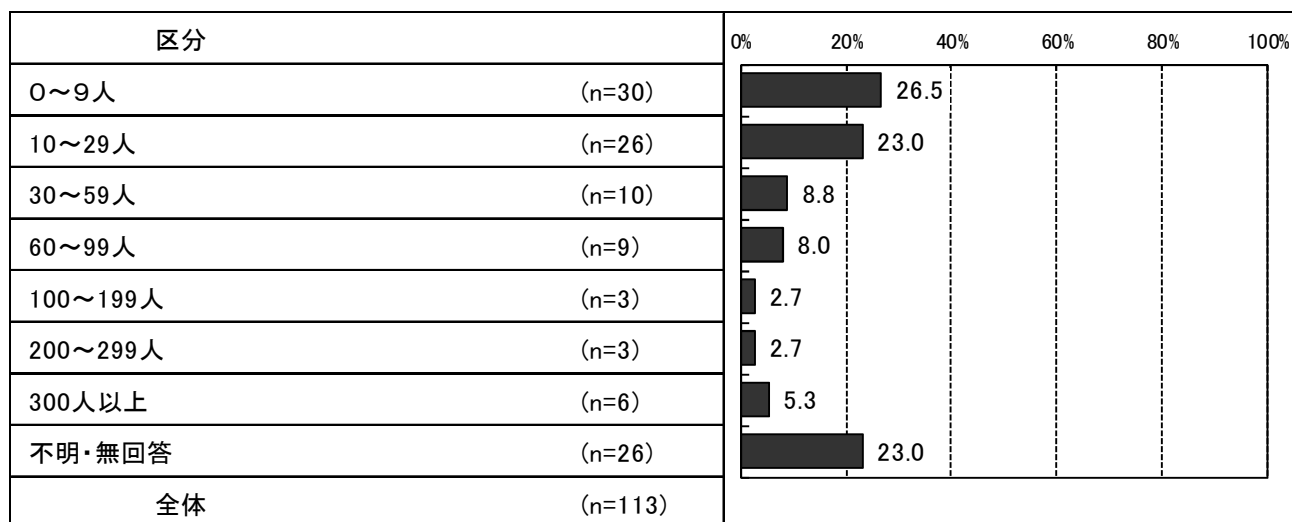
「嚥下体操」が88.1%で最も多く、次いで「口腔チェック」が50.8%、「その他」が11.9%となっています。

【その他、具体的な口腔機能向上の内容】

- 歯みがき 3件
- 口腔ケア
- ハブラシの指導
- 食後のうがい
- 発語訓練

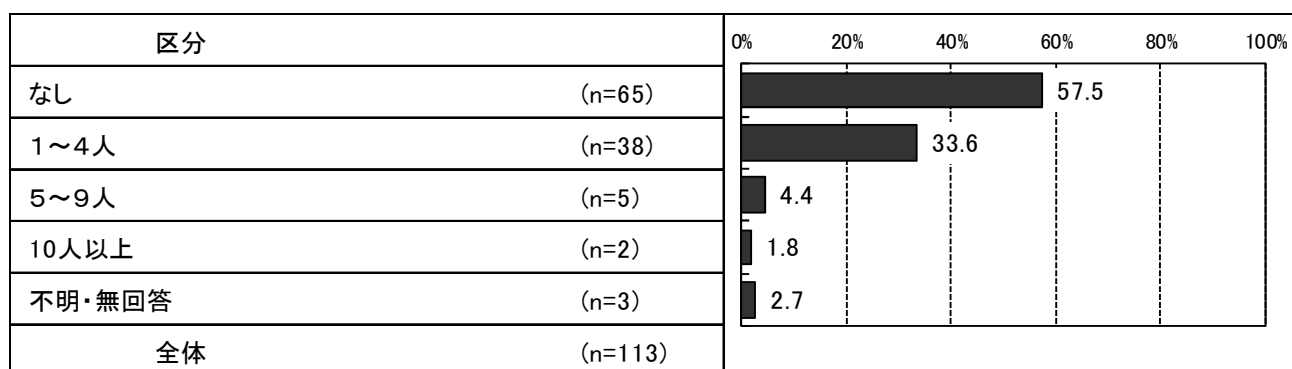
問 12 直近 1 年間で、サービスを提供した結果、要支援度が改善（自立）となった利用者はどれくらい
いますか。人数をご記入ください。（正確な人数がわからない場合は、おおよその人数で結構です。）

■直近 1 年間の要支援の実利用者数



「0～9人」が 26.5%で最も多く、次いで「10～29人」が 23.0%、「30～59人」が 8.8%となっており、実利用者は平均で 63.0 人となっています。

■要支援度が改善（自立）した人数



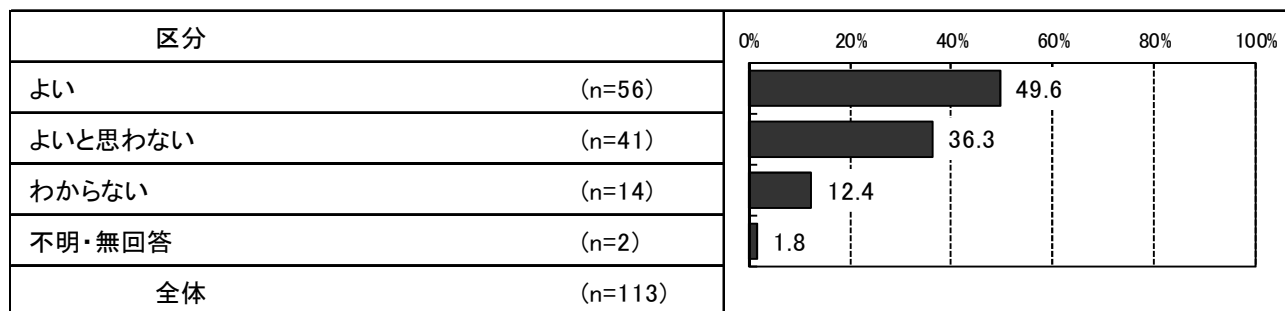
「なし」が 57.5%で最も多く、次いで「1～4人」が 33.6%、「5～9人」が 4.4%となっており、改善した人は平均で 1.1 人となっています。

3. 介護予防・日常生活支援総合事業について

問 13 利用者の細かなニーズに対応できるよう、要支援2の人に対するサービス提供について、週1回と週2回の区分を設定することについて、どのように思いますか。以下の内容をお読みいただきから回答してください。(1つに〇)

要支援2における頻度区分の細分化

- 従来の介護予防通所介護の報酬においては、要支援2の人は週2回程度が目安となっていますが、週1回だけ利用している人もいることから、利用者の細かなニーズに応えられるよう、「週1回程度」と「週2回程度」に細分化することを検討しています。
- 要支援2の「週1回程度」区分の単価は、「週2回程度」区分の50%程度を検討しています。



「よい」が49.6%で最も多く、次いで「よいと思わない」が36.3%、「わからない」が12.4%となっています。

	(n)	よい	よいと思 わない	わからな い	不明・無 回答	
全体	113	49.6	36.3	12.4	1.8	
法人の 種類	株式会社	56	53.6	30.4	14.3	1.8
	有限会社等	24	37.5	54.2	8.3	0.0
	社会福祉法人	19	57.9	26.3	15.8	0.0
	医療法人	3	33.3	33.3	0.0	33.3
	NPO	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	25.0	50.0	25.0	0.0
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0
地区	中央地区	8	50.0	37.5	12.5	0.0
	小田地区	20	60.0	30.0	10.0	0.0
	大庄地区	21	33.3	47.6	19.0	0.0
	立花地区	26	61.5	26.9	11.5	0.0
	武庫地区	20	50.0	35.0	5.0	10.0
	園田地区	12	50.0	41.7	8.3	0.0
利用 定員	0～10人	43	44.2	41.9	14.0	0.0
	11～18人	19	57.9	26.3	15.8	0.0
	19～29人	28	50.0	39.3	3.6	7.1
	30人以上	23	52.2	30.4	17.4	0.0

法人の種類別にみると、有限会社等は「よいと思わない」、株式会社・社会福祉法人は「よい」がそれぞれ半数を超えています。

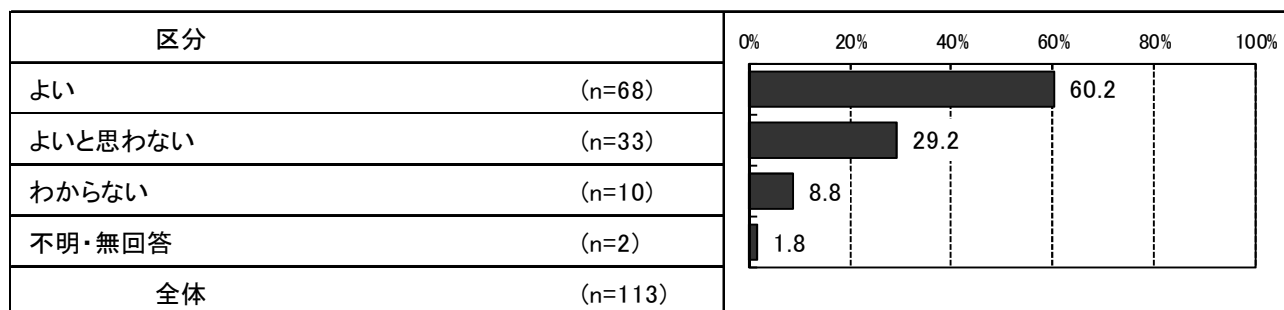
地区別にみると、大庄地区は「よいと思わない」、そのほかの地区は「よい」が最も多くなっています。

利用定員別にみると、利用定員に関わらず「よい」が最も多くなっていますが、利用定員0～10人の事業所のみ40%台と低くなっています。

問 14 利用者ごとの送迎を加算方式とすることについて、どのように思いますか。以下の内容をお読み
 いただいてから回答してください。(1つに〇)

送迎加算の設定

- 本体報酬に含まれていた送迎について、要支援者のうち、送迎を必要とする人に対して実施した
 場合の加算として設定することを検討しています。
- 送迎・入浴をともに提供した場合は、本体報酬と送迎加算・入浴加算を合わせて、現在と同等の
 単価となるように検討しています。



「よい」が60.2%で最も多く、次いで「よいと思わない」が29.2%、「わからない」が8.8%となっ
 ています。

		(n)	よい	よいと思 わない	わからな い	不明・無 回答
全体		113	60.2	29.2	8.8	1.8
法人の 種類	株式会社	56	55.4	30.4	12.5	1.8
	有限会社等	24	75.0	20.8	4.2	0.0
	社会福祉法人	19	73.7	21.1	5.3	0.0
	医療法人	3	33.3	0.0	33.3	33.3
	NPO	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0
地区	中央地区	8	37.5	50.0	12.5	0.0
	小田地区	20	70.0	30.0	0.0	0.0
	大庄地区	21	52.4	28.6	19.0	0.0
	立花地区	26	73.1	19.2	7.7	0.0
	武庫地区	20	50.0	40.0	0.0	10.0
	園田地区	12	58.3	25.0	16.7	0.0
	入浴	行っている	89	65.2	24.7	7.9
行っていない		24	41.7	45.8	12.5	0.0

法人の種類別にみると、「よい」は有限会社等・社会福祉法人で70%台と多くなっています。

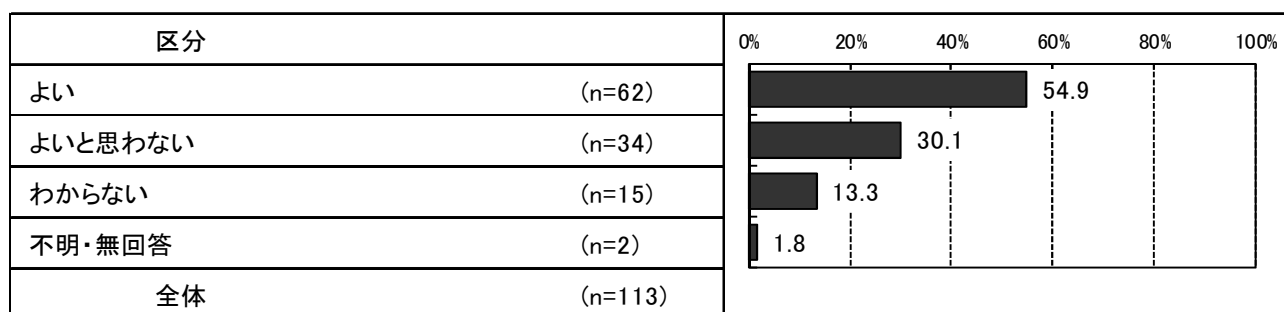
地区別にみると、中央地区は「よいと思わない」、そのほかの地区では「よい」が最も多くなっています。また、小田地区・立花地区では「よい」が70%台と多くなっています。

入浴サービスの実施別にみると、入浴サービスを行っている事業所は「よい」、入浴サービスを行っていない事業所は「よいと思わない」がそれぞれ最も多くなっています。

問 15 利用者ごとの入浴を加算方式とすることについて、どのように思いますか。以下の内容をお読み
 いただいてから回答してください。(1つに〇)

入浴加算の設定

- 本体報酬に含まれていた入浴について、要支援者のうち、入浴を必要とする人に対して実施した
 場合の加算として設定することを検討しています。
- 送迎・入浴をともに提供した場合は、本体報酬と送迎加算・入浴加算を合わせて、現在と同等の
 単価となるように検討しています。



「よい」が54.9%で最も多く、次いで「よいと思わない」が30.1%、「わからない」が13.3%となっ
 ています。

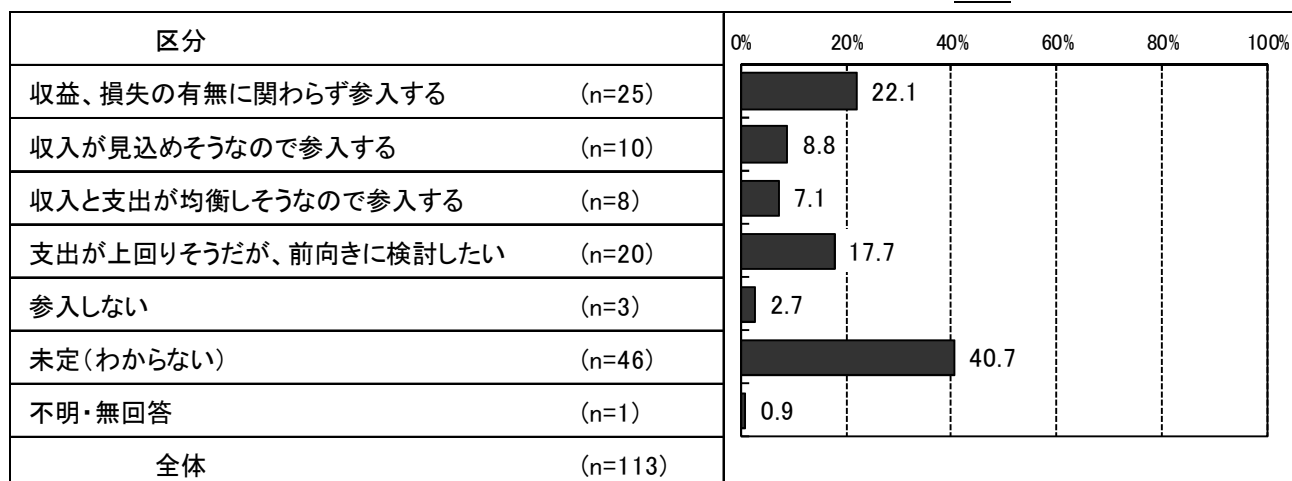
		(n)	よい	よいと思 わ ない	わか ら な い	不明・無 回 答
全体		113	54.9	30.1	13.3	1.8
地区	中央地区	8	62.5	37.5	0.0	0.0
	小田地区	20	70.0	25.0	5.0	0.0
	大庄地区	21	57.1	23.8	19.0	0.0
	立花地区	26	50.0	30.8	15.4	3.8
	武庫地区	20	40.0	45.0	10.0	5.0
	園田地区	12	50.0	25.0	25.0	0.0
利用 定 員	0～10人	43	41.9	30.2	25.6	2.3
	11～18人	19	68.4	21.1	10.5	0.0
	19～29人	28	60.7	32.1	3.6	3.6
	30人以上	23	60.9	34.8	4.3	0.0
入 浴	行っている	89	61.8	29.2	6.7	2.2
	行っていない	24	29.2	33.3	37.5	0.0

地区別にみると、武庫地区のみ「よいと思わない」が最も多くなっています。

利用定員別にみると、利用定員に関わらず「よい」が最も多くなっていますが、利用定員0～10人の
 事業所のみ40%台と低くなっています。

入浴サービスの実施別にみると、入浴サービスを行っている事業所は「よい」、入浴サービスを行っ
 ていない事業所は「わからない」が最も多くなっています。

問 16 「要介護・要支援一体型」への現時点での参入意向はありますか。(1つに○)



「未定(わからない)」が40.7%で最も多く、次いで「収益、損失の有無に関わらず参入する」が22.1%、「支出が上回りそうだが、前向きに検討したい」が17.7%となっています。

	(n)	収益、損失の有無に関わらず参入する	収入が見込めそうなので参入する	収入と支出が均衡しそうなので参入する	支出が上回りそうだが、前向きに検討したい	参入しない	未定(わからない)	不明・無回答	
全体	113	22.1	8.8	7.1	17.7	2.7	40.7	0.9	
地区	中央地区	8	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0
	小田地区	20	45.0	10.0	10.0	5.0	0.0	30.0	0.0
	大庄地区	21	33.3	9.5	0.0	9.5	0.0	47.6	0.0
	立花地区	26	19.2	11.5	7.7	19.2	0.0	42.3	0.0
	武庫地区	20	15.0	15.0	15.0	20.0	0.0	30.0	5.0
	園田地区	12	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	75.0	0.0
収支状況	黒字	25	36.0	8.0	4.0	16.0	4.0	32.0	0.0
	概ね均衡	39	23.1	10.3	7.7	12.8	5.1	38.5	2.6
	赤字	47	14.9	8.5	6.4	23.4	0.0	46.8	0.0

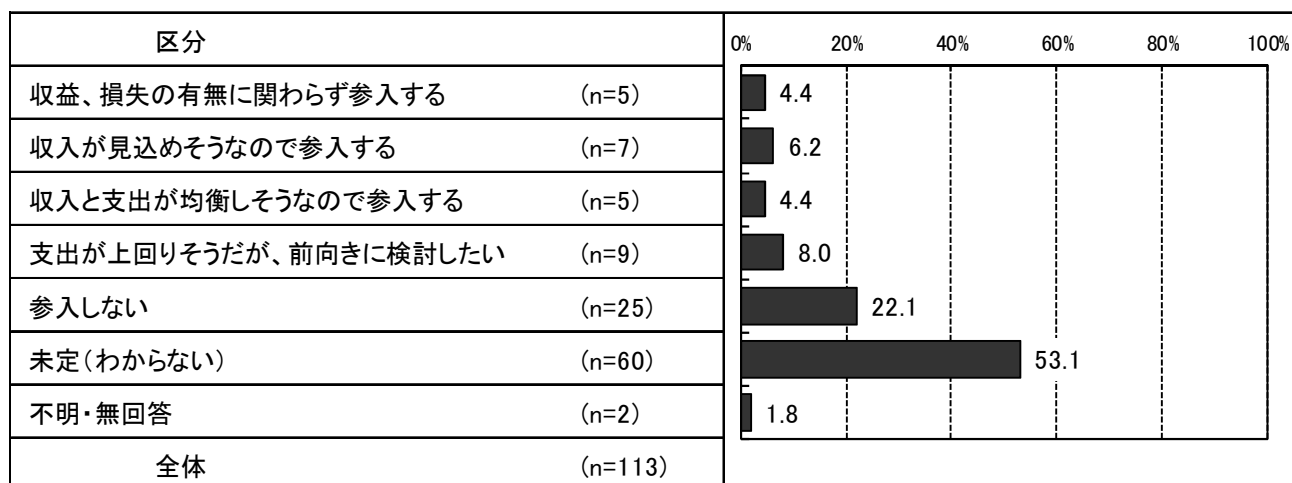
地区別にみると、小田地区は「収益、損失の有無に関わらず参入する」、中央地区は「支出が上回りそうだが、前向きに検討したい」「未定(わからない)」、そのほかの地区は「未定(わからない)」がそれぞれ最も多くなっています。

収支状況別にみると、収支状況が黒字の事業所は「収益、損失の有無に関わらず参入する」、収支状況が概ね均衡・赤字の事業所は「未定(わからない)」が最も多くなっています。

問 17 「要支援特化型」については、単独で事業を実施する場合に人員や設備基準の緩和が可能となりますが、現時点での参入意向はありますか。以下の内容をお読みいただいてから回答してください。(1つに〇)

「要支援特化型」に係る基準緩和

- 人員基準の緩和 (人件費の縮小)
生活相談員、看護師、機能訓練指導員の配置を「必置」から「必要に応じて」に緩和することを検討しています。
- 設備基準の緩和 (利用者の受入枠の拡大)
面積要件を「利用者1人あたり3㎡以上」を「利用者1人あたり2㎡以上」に緩和することを検討しています。



「未定(わからない)」が53.1%で最も多く、次いで「参入しない」が22.1%、「支出が上回りそうだが、前向きに検討したい」が8.0%となっています。

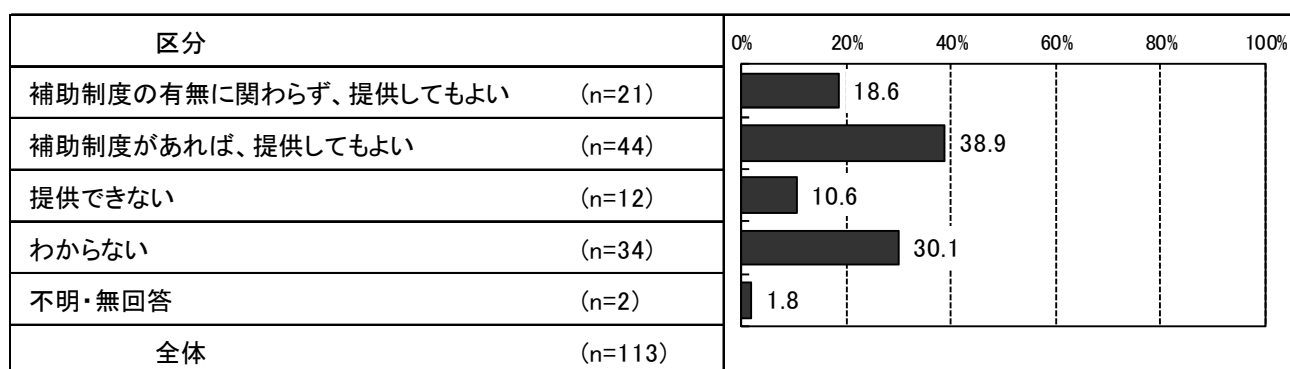
	(n)	収益、損失の有無に関わらず参入する	収入が見込めそうなので参入する	収入と支出が均衡しそうなので参入する	支出が上回りそうだが、前向きに検討したい	参入しない	未定(わからない)	不明・無回答	
全体	113	4.4	6.2	4.4	8.0	22.1	53.1	1.8	
利用定員	0~10人	43	4.7	9.3	4.7	2.3	27.9	48.8	2.3
	11~18人	19	0.0	10.5	5.3	10.5	26.3	47.4	0.0
	19~29人	28	0.0	3.6	3.6	10.7	17.9	60.7	3.6
	30人以上	23	13.0	0.0	4.3	13.0	13.0	56.5	0.0

利用定員別にみると、利用定員に関わらず「未定(わからない)」が最も多くなっていますが、利用定員18人以下の事業所は50%未満となっています。

問 18 地域のサロン活動などに対して、空きスペースや定休日の施設スペースなどを提供することについて、ご協力いただくことは可能ですか。以下の内容をお読みいただきから回答してください。
(1つに〇)

地域活動への協力

●身近な地域での住民主体の集いの場を広げ、地域の支え合い体制づくりを進めるにあたり、活動の場を有していない地域や、場の確保が困難な団体もあるため、通所介護事業所等とタイアップした活動の推進などについても検討しています。



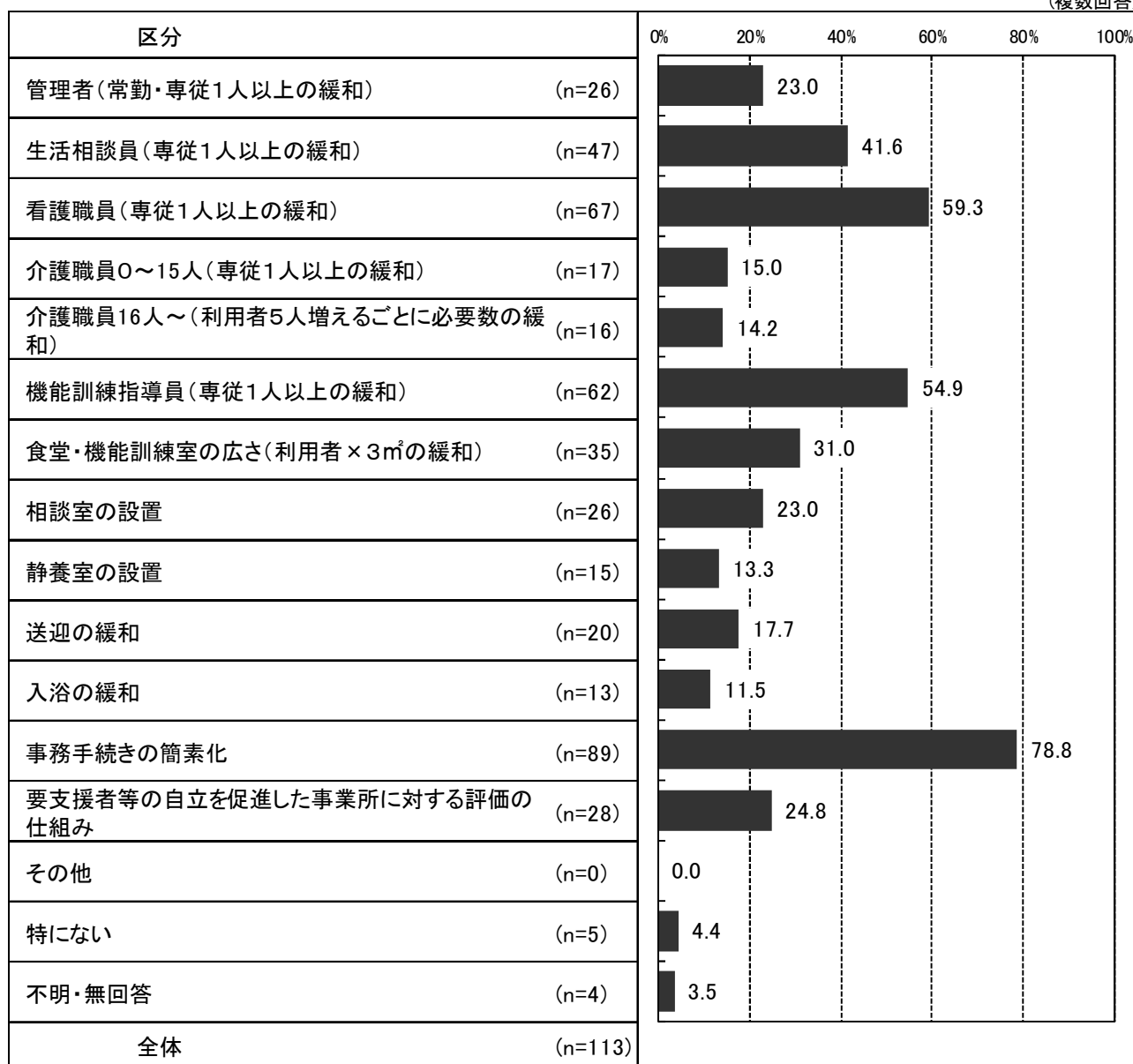
「補助制度があれば、提供してもよい」が38.9%で最も多く、次いで「わからない」が30.1%、「補助制度の有無に関わらず、提供してもよい」が18.6%となっています。

	(n)	補助制度の有無に関わらず、提供してもよい	補助制度があれば、提供してもよい	提供できない	わからない	不明・無回答	
全体	113	18.6	38.9	10.6	30.1	1.8	
地区	中央地区	8	12.5	25.0	25.0	37.5	0.0
	小田地区	20	45.0	20.0	10.0	20.0	5.0
	大庄地区	21	14.3	33.3	9.5	42.9	0.0
	立花地区	26	7.7	50.0	7.7	34.6	0.0
	武庫地区	20	15.0	50.0	0.0	30.0	5.0
	園田地区	12	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

地区別にみると、小田地区は「補助制度の有無に関わらず、提供してもよい」、中央地区・大庄地区は「わからない」、そのほかの地区は「補助制度があれば、提供してもよい」が最も多くなっています。

問 19 総合事業の実施に向け、通所型サービスにかかる人員基準や設備基準等の緩和、サービス提供状況に応じた単価設定など、新たな仕組みを検討していますが、どのような基準緩和等がなされれば、よいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

(複数回答)



「事務手続きの簡素化」が78.8%で最も多く、次いで「看護職員(専従1人以上の緩和)」が59.3%、「機能訓練指導員(専従1人以上の緩和)」が54.9%となっています。

	(n)	管理者 (常勤・ 専従1 人以上 の緩和)	生活相 談員 (専従1 人以上 の緩和)	看護職 員(専 従1人 以上の 緩和)	介護職 員0～ 15人 (専従1 人以上 の緩和)	介護職 員16人 ～(利 用者5 人増え るごと に必要 数の緩和)	機能訓 練指導 員(専 従1人 以上の 緩和)	食堂・ 機能訓 練室の 広さ(利 用者× 3㎡の 緩和)	相談室 の設置	
全体	113	23.0	41.6	59.3	15.0	14.2	54.9	31.0	23.0	
法人の 種類	株式会社	56	19.6	32.1	60.7	12.5	12.5	50.0	32.1	23.2
	有限会社等	24	29.2	54.2	54.2	16.7	8.3	58.3	37.5	25.0
	社会福祉法人	19	36.8	63.2	57.9	26.3	31.6	68.4	26.3	21.1
	医療法人	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	NPO	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0
	その他	2	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	(n)	静養室 の設置	送迎の 緩和	入浴の 緩和	事務手 続きの 簡素化	要支援 者等の 自立を 促進し た事業 所に対 する評 価の仕 組み	その他	特にな い	不明・ 無回答	
全体	113	13.3	17.7	11.5	78.8	24.8	0.0	4.4	3.5	
法人の 種類	株式会社	56	7.1	23.2	16.1	82.1	23.2	0.0	5.4	3.6
	有限会社等	24	8.3	12.5	4.2	70.8	16.7	0.0	4.2	8.3
	社会福祉法人	19	21.1	5.3	5.3	78.9	36.8	0.0	0.0	0.0
	医療法人	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	NPO	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	社団法人・財団法人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	協同組合	4	75.0	50.0	25.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

法人の種類別にみると、株式会社は「送迎の緩和」「入浴の緩和」「事務手続きの簡素化」がほかの法人よりも多くなっています。

有限会社等・社会福祉法人は、「管理者（常勤・専従1人以上の緩和）」「生活相談員（専従1人以上の緩和）」がほかの法人よりも多くなっています。また、社会福祉法人は「介護職員0～15人（専従1人以上の緩和）」「介護職員16人～（利用者5人増えるごとに必要数の緩和）」「静養室の設置」「要支援者等の自立を促進した事業所に対する評価の仕組み」もほかの法人よりも多くなっています。

	(n)	管理者 (常勤・専従1人以上の緩和)	生活相談員(専従1人以上の緩和)	看護職員(専従1人以上の緩和)	介護職員0～15人(専従1人以上の緩和)	介護職員16人～(利用者5人増えるごとに必要数の緩和)	機能訓練指導員(専従1人以上の緩和)	食堂・機能訓練室の広さ(利用者×3㎡の緩和)	相談室の設置	
全体	113	23.0	41.6	59.3	15.0	14.2	54.9	31.0	23.0	
利用定員	0～10人	43	27.9	41.9	60.5	18.6	9.3	46.5	34.9	30.2
	11～18人	19	15.8	47.4	63.2	5.3	5.3	73.7	21.1	10.5
	19～29人	28	14.3	42.9	53.6	10.7	10.7	53.6	28.6	21.4
	30人以上	23	30.4	34.8	60.9	21.7	34.8	56.5	34.8	21.7
	(n)	静養室の設置	送迎の緩和	入浴の緩和	事務手続きの簡素化	要支援者等の自立を促進した事業所に対する評価の仕組み	その他	特にない	不明・無回答	
全体	113	13.3	17.7	11.5	78.8	24.8	0.0	4.4	3.5	
利用定員	0～10人	43	14.0	14.0	7.0	76.7	20.9	0.0	7.0	4.7
	11～18人	19	0.0	21.1	10.5	73.7	21.1	0.0	5.3	5.3
	19～29人	28	7.1	14.3	10.7	78.6	32.1	0.0	0.0	3.6
	30人以上	23	30.4	26.1	21.7	87.0	26.1	0.0	4.3	0.0

利用定員別にみると、利用定員に関わらず「事務手続きの簡素化」が最も多くなっています。また、「機能訓練指導員（専従1人以上の緩和）」は利用定員11～18人の事業所のみ70%台と多くなっています。

尼崎市
介護予防・日常生活支援総合事業実施に向けた
アンケート調査報告書

平成 28 年 3 月発行

発 行：尼崎市
編 集：健康福祉局高齢介護課
電 話：06-6489-6356
住 所：〒660-8501

兵庫県尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号